

III 調査結果の詳細【事業所調査】

1 事業所の概要

問1 貴事業所の概要についてお答えください。

平成30年4月1日時点についてお答えください。(不明な場合は、現時点についてお答えください。)

ア. 事業所の所在地

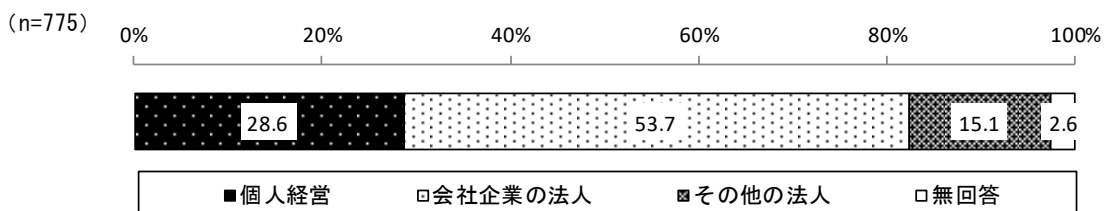
事業所数	上段: 件数、下段: 構成比(%)																		
	さいたま市	川越市	熊谷市	川口市	行田市	秩父市	所沢市	飯能市	加須市	本庄市	東松山市	春日部市	狭山市	羽生市	鴻巣市	深谷市	上尾市	草加市	越谷市
775	128	37	22	51	8	13	26	14	11	12	10	30	13	5	13	17	21	21	34
100.0	16.5	4.8	2.8	6.6	1.0	1.7	3.4	1.8	1.4	1.5	1.3	3.9	1.7	0.6	1.7	2.2	2.7	2.7	4.4

蕨市	戸田市	入間市	朝霞市	志木市	和光市	新座市	桶川市	久喜市	北本市	八潮市	富士見市	三郷市	蓮田市	坂戸市	幸手市	鶴ヶ島市	日高市	吉川市
8	10	23	7	6	6	18	6	20	8	15	9	12	6	6	9	7	7	6
1.0	1.3	3.0	0.9	0.8	0.8	2.3	0.8	2.6	1.0	1.9	1.2	1.5	0.8	0.8	1.2	0.9	0.9	0.8

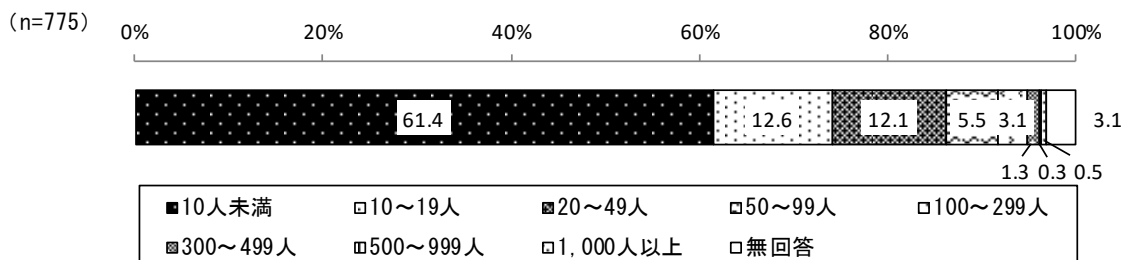
ふじみ野市	白岡市	伊奈町	三芳町	毛呂山町	越生町	滑川町	嵐山町	小川町	川島町	吉見町	鳩山町	ときがわ町	横瀬町	皆野町	長瀨町	小鹿野町	東秩父村	美里町
12	3	6	9	7	1	4	5	5	2	4	1	2	3	1	-	1	-	2
1.5	0.4	0.8	1.2	0.9	0.1	0.5	0.6	0.6	0.3	0.5	0.1	0.3	0.4	0.1	-	0.1	-	0.3

神川町	上里町	寄居町	宮代町	杉戸町	松伏町	無回答
2	1	1	1	4	2	21
0.3	0.1	0.1	0.1	0.5	0.3	2.7

イ. 経営組織



ウ. 従業員規模



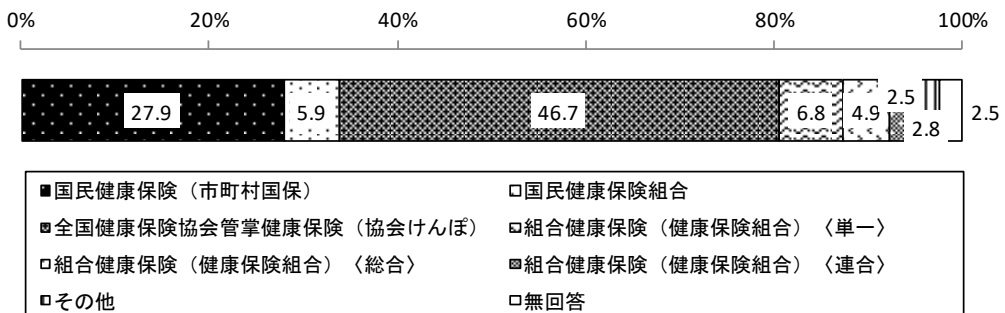
エ. 事業所の主たる業種

(n=775)

	事業所数	構成比
全体	775	100.0%
サービス業（ほかに分類されないもの）	133	17.2%
医療, 福祉	124	16.0%
製造業	104	13.4%
卸売業, 小売業	97	12.5%
建設業	92	11.9%
宿泊業, 飲食サービス業	47	6.1%
不動産業, 物品賃貸業	44	5.7%
学術研究, 専門・技術サービス業	23	3.0%
運輸業, 郵便業	21	2.7%
教育, 学習支援業	21	2.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	17	2.2%
金融業, 保険業	14	1.8%
生活関連サービス業, 娯楽業	10	1.3%
複合サービス業	8	1.0%
情報通信業	5	0.6%
農林漁業, 鉱業	4	0.5%
無回答	11	1.4%

オ. 加入している医療保険の種類

(n=775)



2 がん検診の実施状況

問2 貴事業所のがん検診の実施状況についてお答えください。

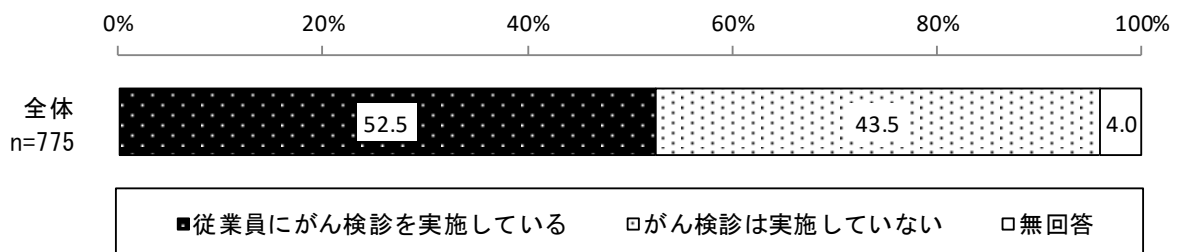
(1) がん検診実施の有無及びがん検診を受診できる従業員の範囲

【全体の傾向】

自らの事業所の<従業員に対しがん検診を実施している>事業所は 52.5%。「がん検診は実施していない」とした事業所は 43.5%で、全体の半数以上ががん検診を実施している。

がん検診を受診できる従業員の範囲として選択があったのは「正社員」が 46.8%、「正社員以外」が 25.3%、「正社員の家族」は 11.2%となっている。

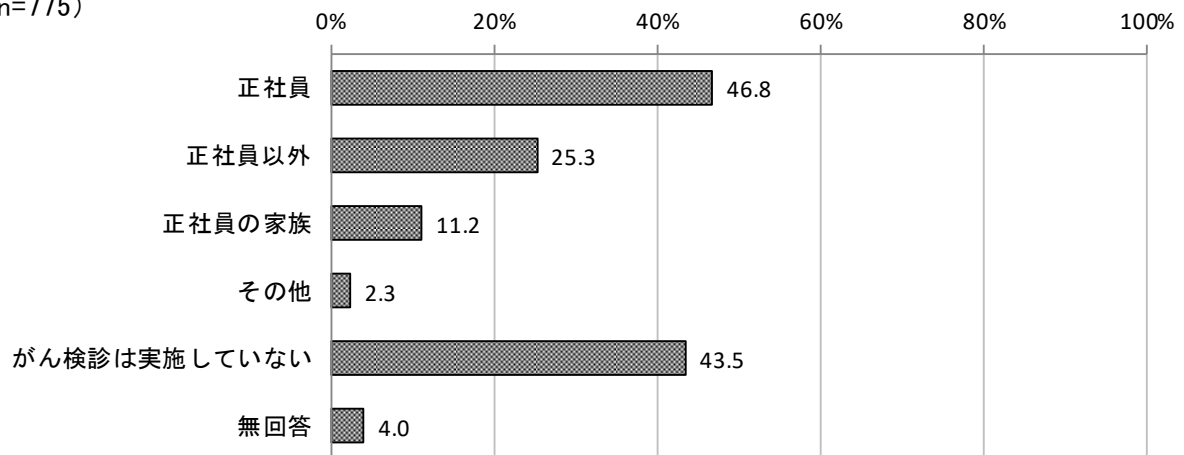
問2 (1) より 事業所従業員へのがん検診実施の有無※



※<従業員に対しがん検診を実施している>は、問2 (1) において「がん検診を受診できる従業員の範囲」の「正社員」から「その他」までに1つ以上の選択があった事業所数より算出。

問2 (1) 検診を受診できる従業員の範囲 (該当すべてに○)

(n=775)



【経営組織別・従業員規模別の傾向】

＜経営組織別＞

上段：件数、下段：構成比（％）

	事業所数	てがん検診を実施し 計					てがん検診は実施し ない	無回答
			正社員	正社員以外	正社員の家族	その他		
個人経営	222 100.0	94 42.3	65 29.3	33 14.9	19 8.6	6 2.7	113 50.9	15 6.8
会社企業の法人	416 100.0	253 60.8	241 57.9	124 29.8	62 14.9	11 2.6	155 37.3	8 1.9
その他の法人	117 100.0	52 44.4	49 41.9	35 29.9	4 3.4	1 0.9	60 51.3	5 4.3

経営組織別にみると、＜従業員に対しがん検診を実施している＞割合は、【会社企業の法人】は60.8%、【その他の法人】は44.4%、【個人経営】は42.3%。

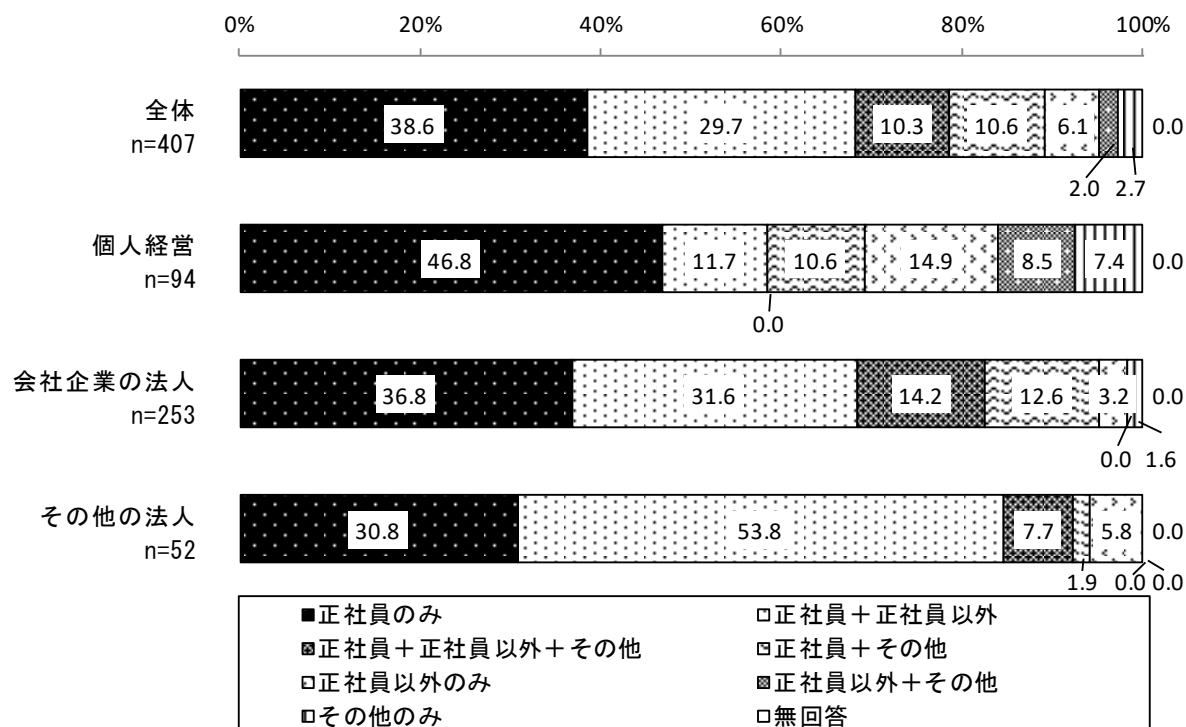
＜従業員規模別＞

上段：件数、下段：構成比（％）

	事業所数	てがん検診を実施し 計					てがん検診は実施し ない	無回答
			正社員	正社員以外	正社員の家族	その他		
10人未満	476 100.0	225 47.3	189 39.7	71 14.9	43 9.0	8 1.7	229 48.1	22 4.6
10～19人	98 100.0	66 67.4	62 63.3	36 36.7	17 17.3	1 1.0	31 31.6	1 1.0
20～49人	94 100.0	53 56.4	51 54.3	35 37.2	13 13.8	2 2.1	38 40.4	3 3.2
50人以上	83 100.0	54 65.1	53 63.9	48 57.8	14 16.9	7 8.4	28 33.7	1 1.2

従業員規模別でみると、＜従業員に対しがん検診を実施している＞割合は、【10～19人】で67.4%、【50人以上】で65.1%と6割台となっている。【10人未満】では47.3%と半数以下となっている。

【がん検診を受診できる従業員の範囲の組み合わせ（参考）】



がん検診を受診できる従業員の範囲について、組み合わせをみると、全体では「正社員のみ」が38.6%で最も多く、次いで「正社員+正社員以外」が29.7%となっている。

経営組織別でみると、【その他の法人】では「正社員+正社員以外」が最も多く、53.8%と半数以上となっている。

(1-2) がん検診を受診できる正社員以外の範囲

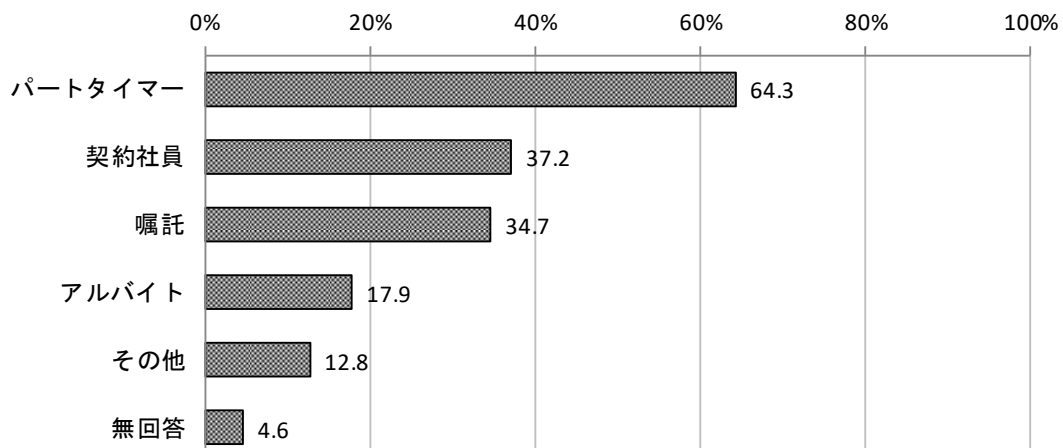
【全体の傾向】

「正社員以外」に選択があった事業所について、受診できる正社員以外の範囲を伺ったところ、「パートタイマー」が64.3%で最も多く、次いで、「契約社員」が37.2%、「嘱託」が34.7%などとなっている。

問2(1)で「正社員以外」に○をつけた方

受診できる正社員以外の従業員にすべて○をつけてください。

(n=196)

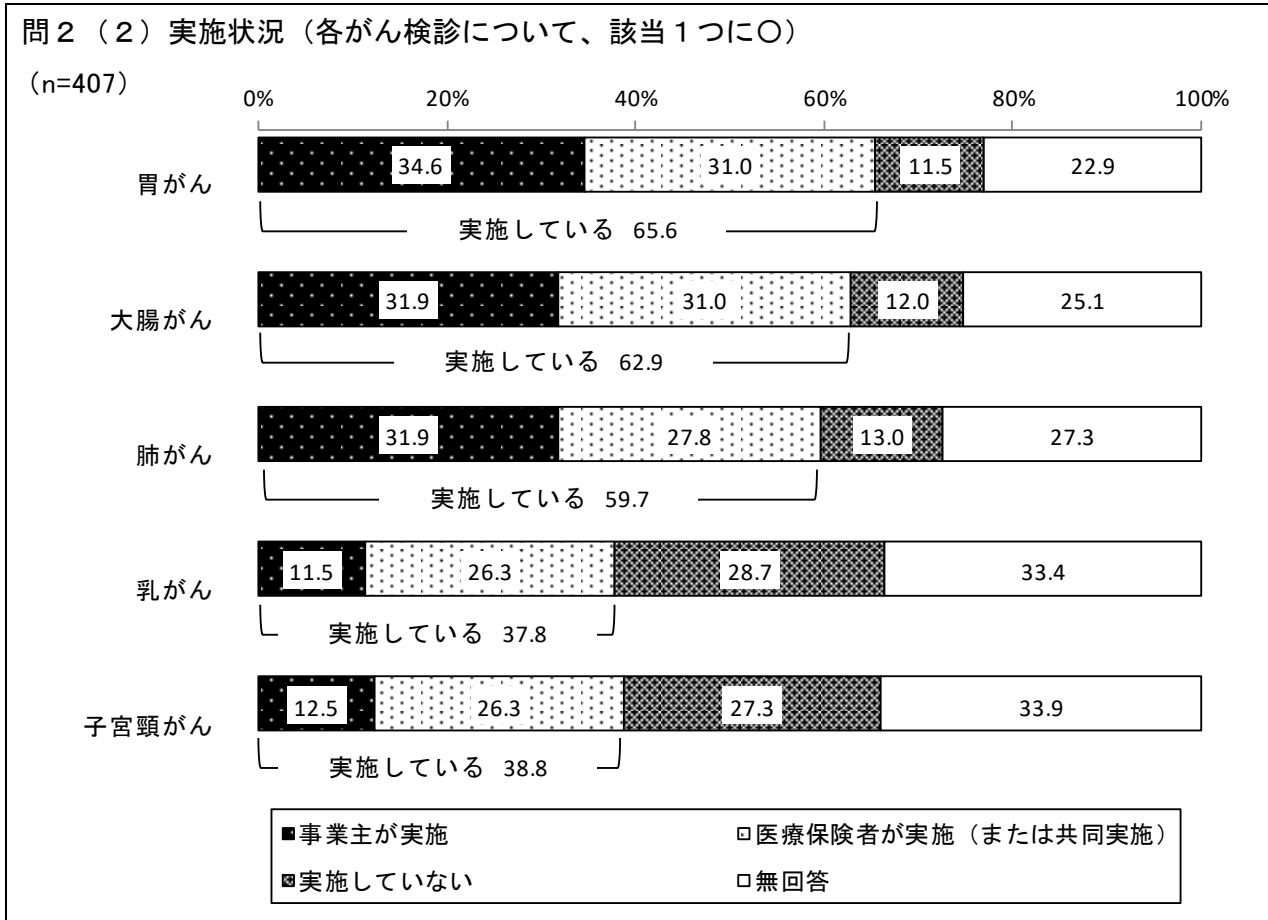


(2) 各がんの検診実施の有無及び実施主体

【全体の傾向】

＜従業員に対しがん検診を実施している＞事業所に、各がん検診の実施主体を伺ったところ、正社員・正社員以外とも、[胃がん] [大腸がん] [肺がん] は「事業主が実施」、「医療保険者が実施（または共同実施）」がほぼ同じ割合で、[乳がん] [子宮頸がん] は「医療保険者が実施（または共同実施）」が多くなっている。

【正社員】

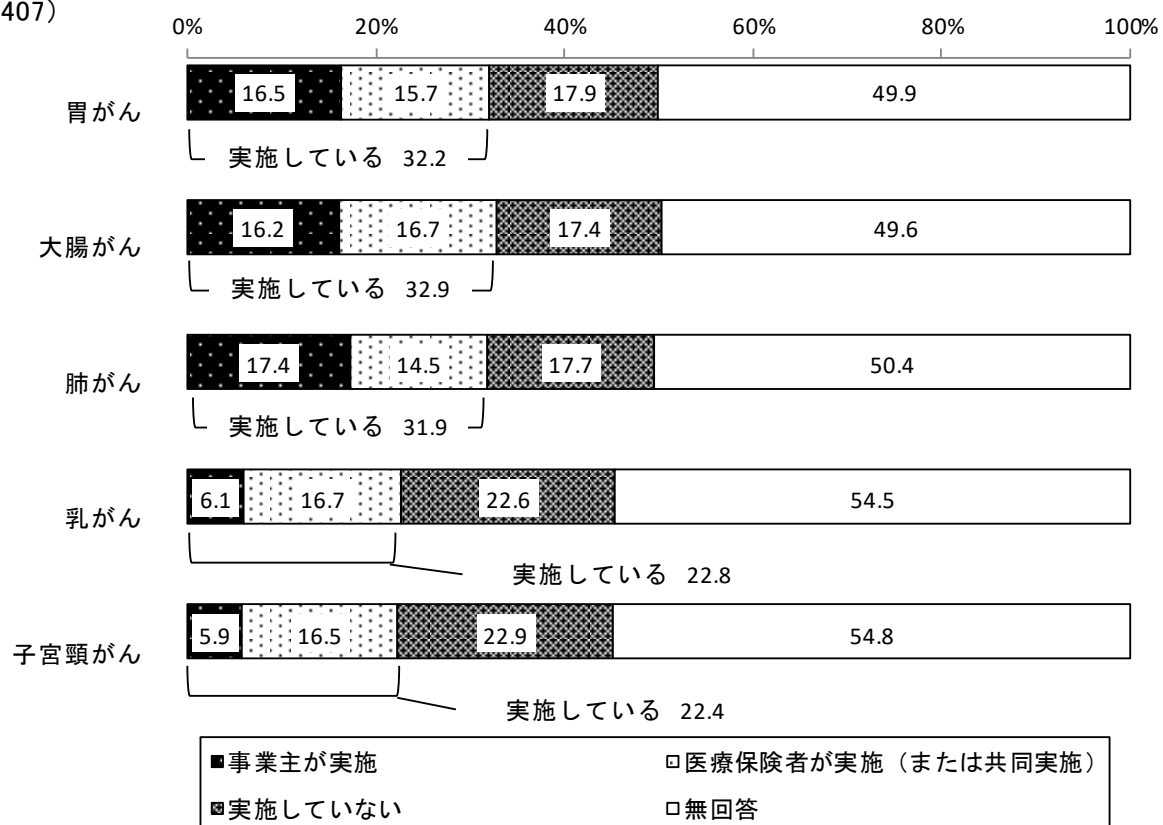


正社員では、「事業主が実施」と「医療保険者が実施（または共同実施）」を合計した、各がん検診を＜実施している＞事業所は、[胃がん] [大腸がん] [肺がん] で半数を超えており、[乳がん] [子宮頸がん] は3割台となっている。

[正社員以外]

問2 (2) 実施状況 (各がん検診について、該当1つに○)

(n=407)

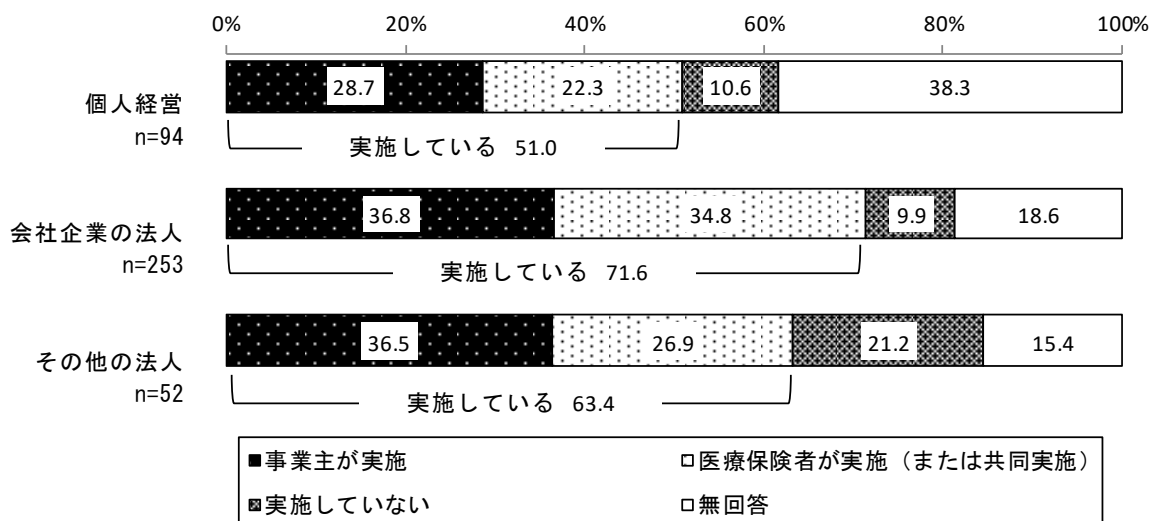


正社員以外では、各がん検診を<実施している>事業所は、[胃がん][大腸がん][肺がん]で3割台、[乳がん][子宮頸がん]は2割台となっている。

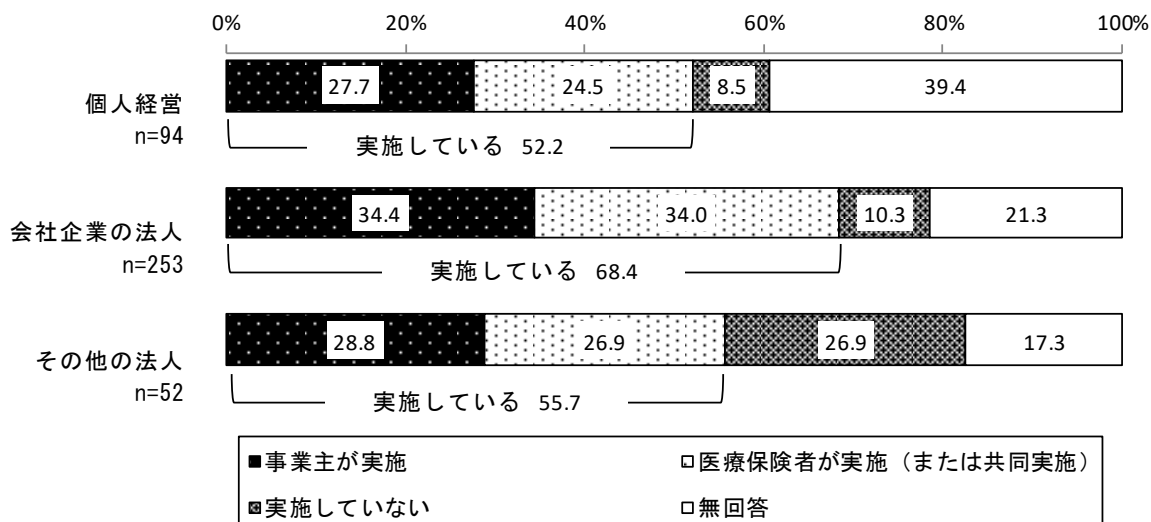
【経営組織別・従業員規模別の傾向】

<経営組織別（正社員）>

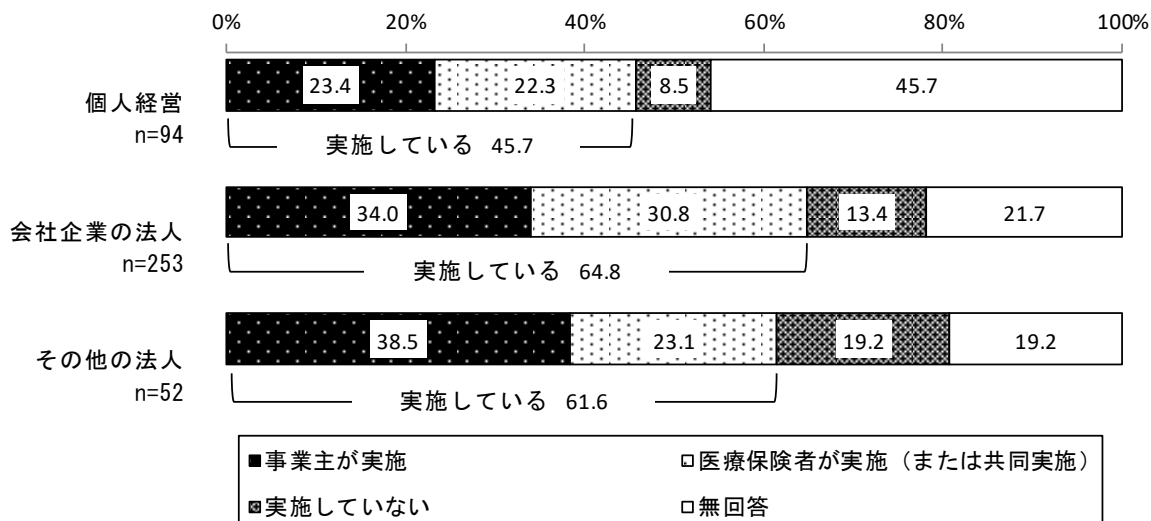
[胃がん]



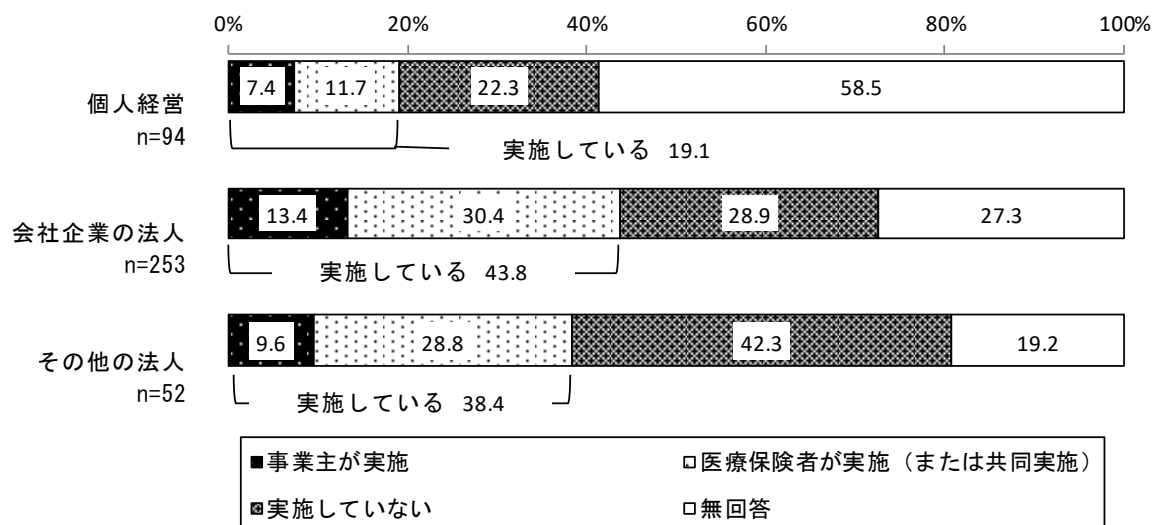
[大腸がん]



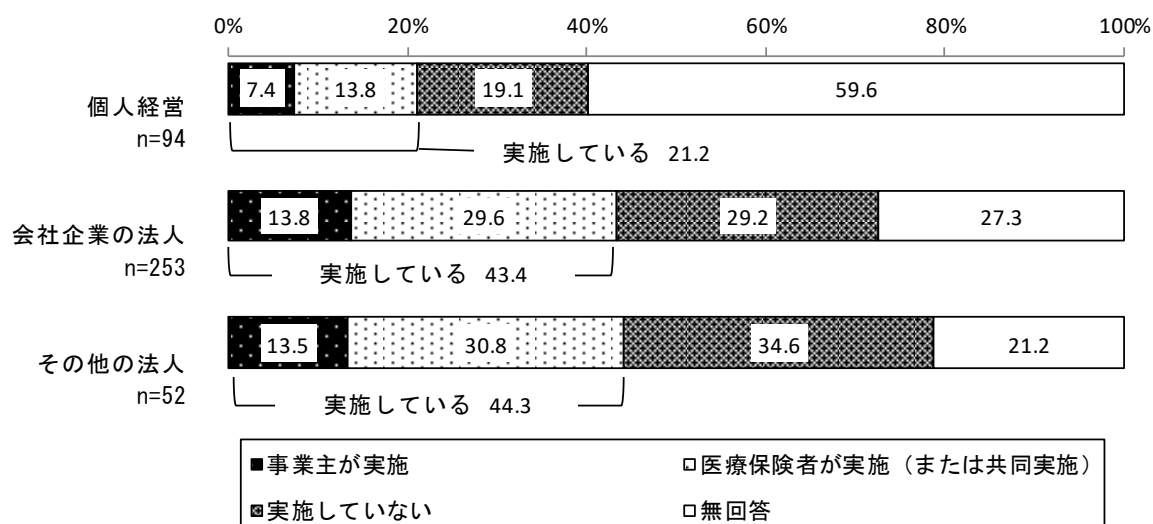
[肺がん]



[乳がん]



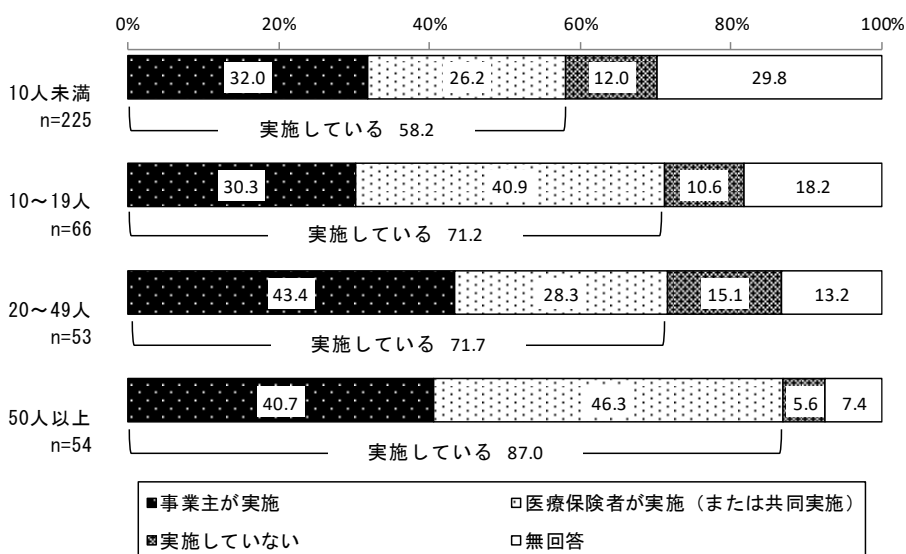
[子宮頸がん]



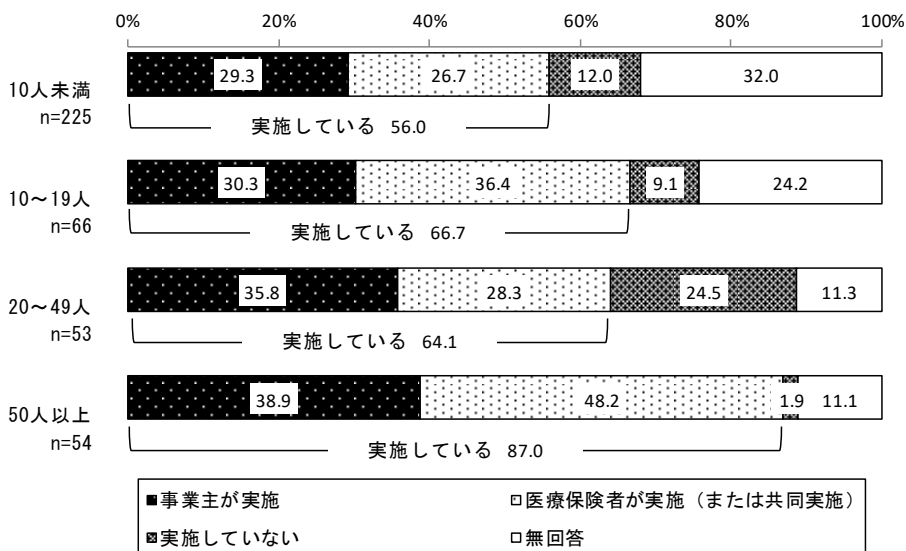
正社員での状況を経営組織別にみると、各がん検診を<実施している>事業所は、【会社企業の法人】では[胃がん][大腸がん][肺がん]が6～7割台、[乳がん][子宮頸がん]は4割台となっている。一方、【個人経営】では[胃がん][大腸がん][肺がん]が4～5割台、[乳がん][子宮頸がん]は2割前後となっている。

<従業員規模別（正社員）>

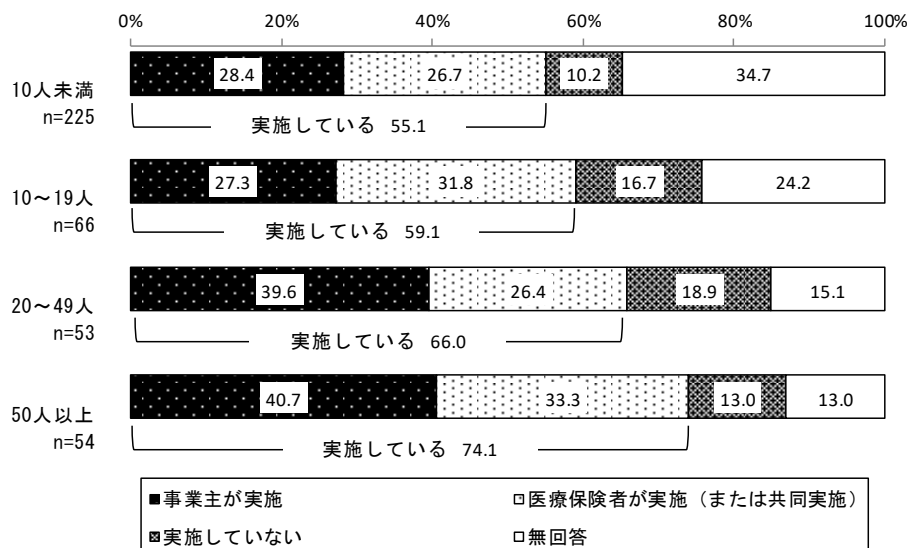
[胃がん]



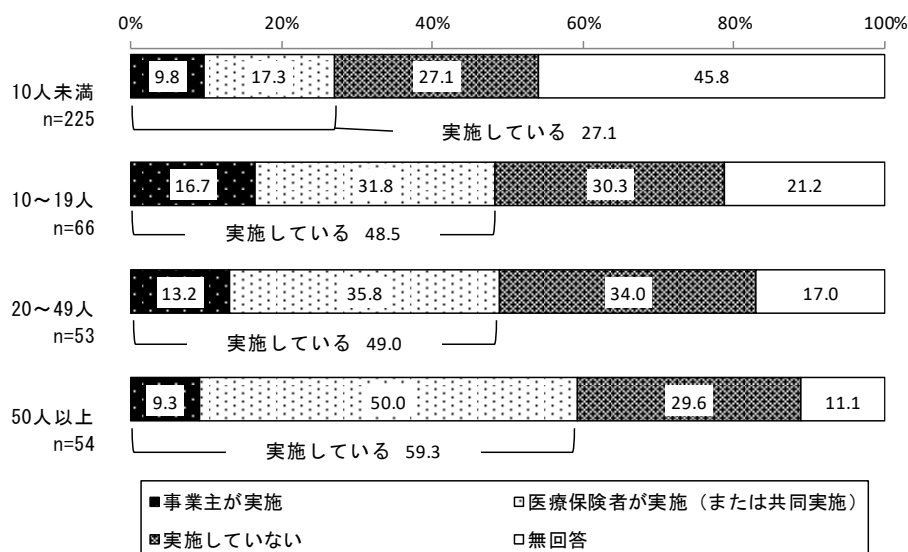
[大腸がん]



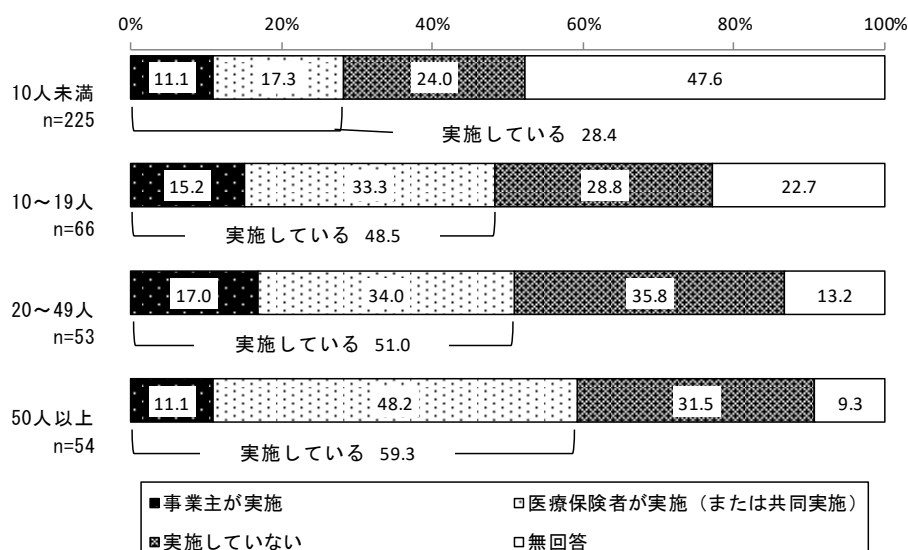
[肺がん]



[乳がん]



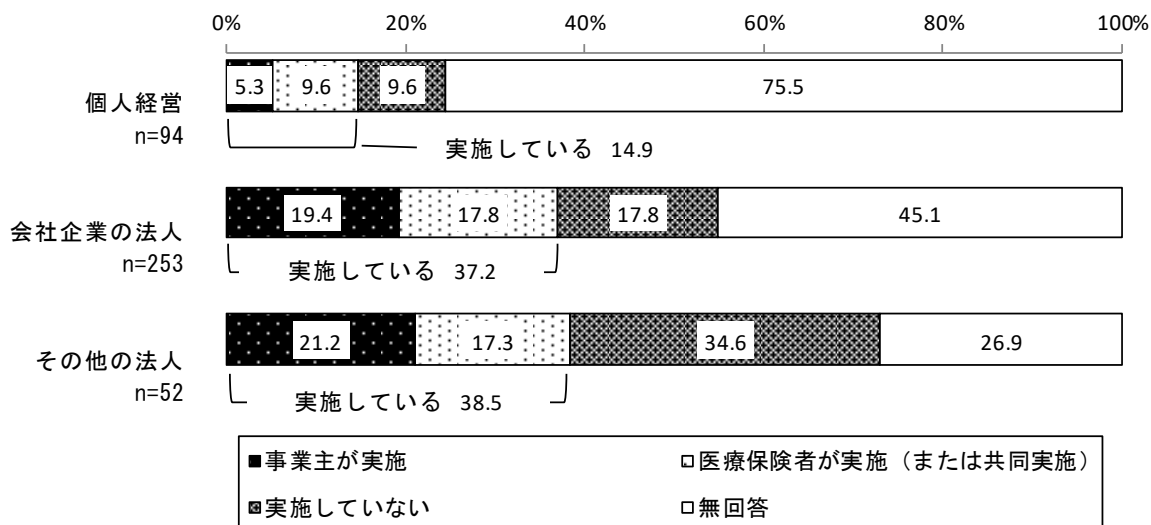
[子宮頸がん]



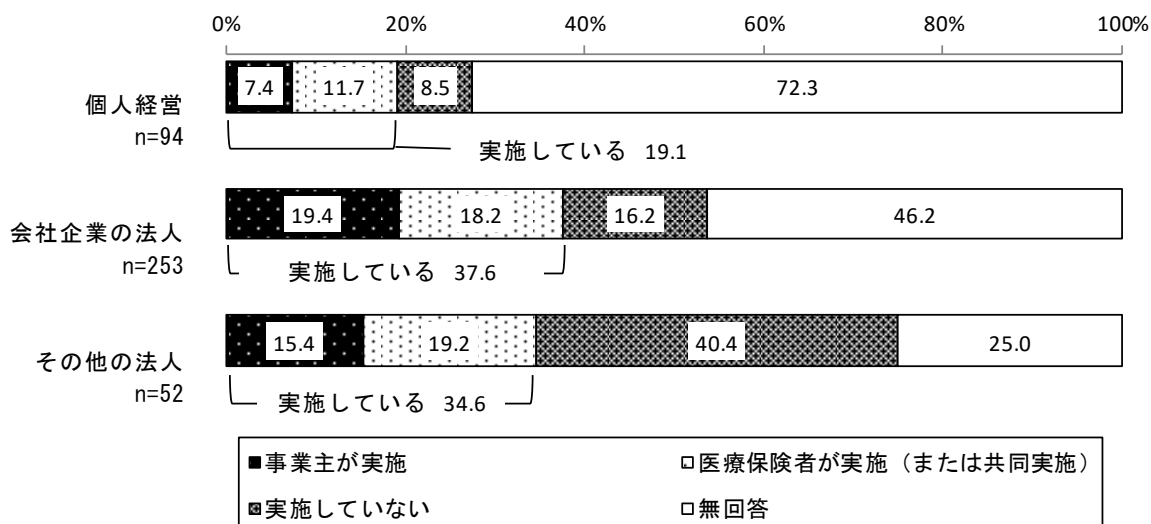
正社員での状況を従業員規模別にみると、各がん検診を<実施している>事業所は、5つのがんすべてにおいて、従業員規模が大きいほど<実施している>が多い傾向にある。各がん検診について<実施している>事業所は、[胃がん][大腸がん][肺がん]は【50人以上】で7~8割台で最も多く、すべての従業員規模で半数以上となっている。一方、[乳がん]は【50人以上】で、[子宮頸がん]は【20~49人】【50人以上】で半数以上となっている。

<経営組織別（正社員以外）>

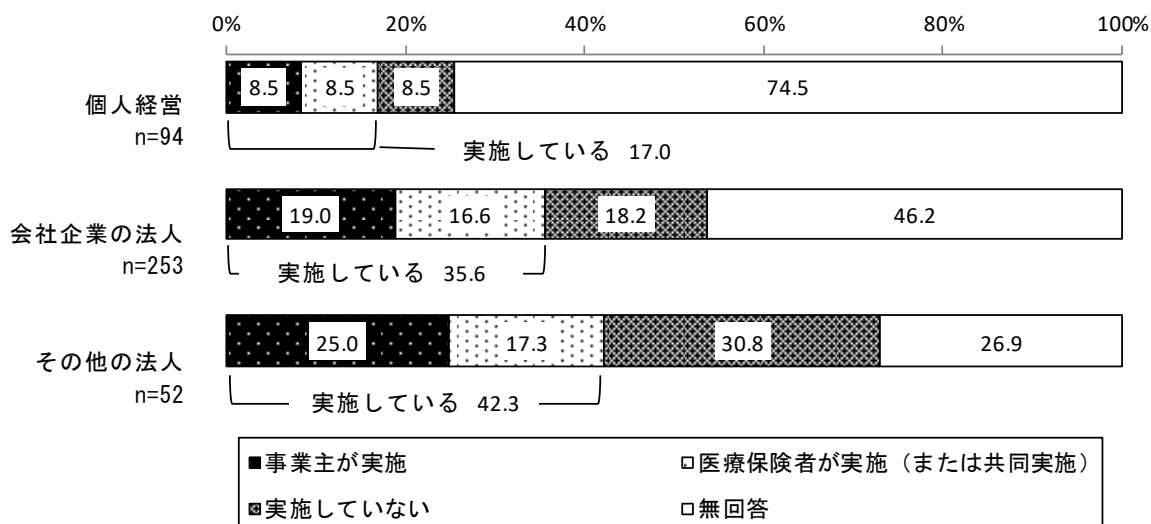
[胃がん]



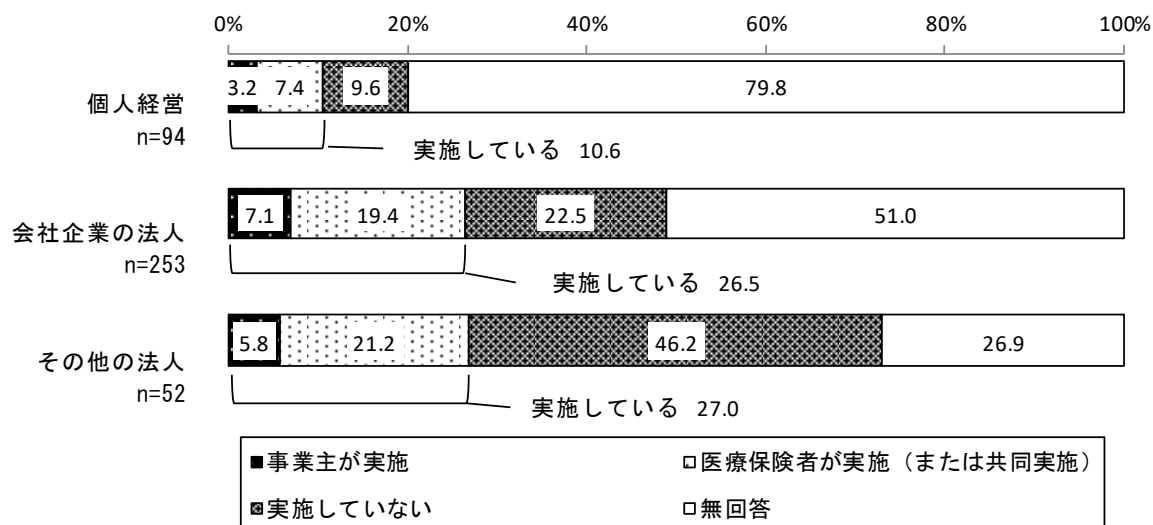
[大腸がん]



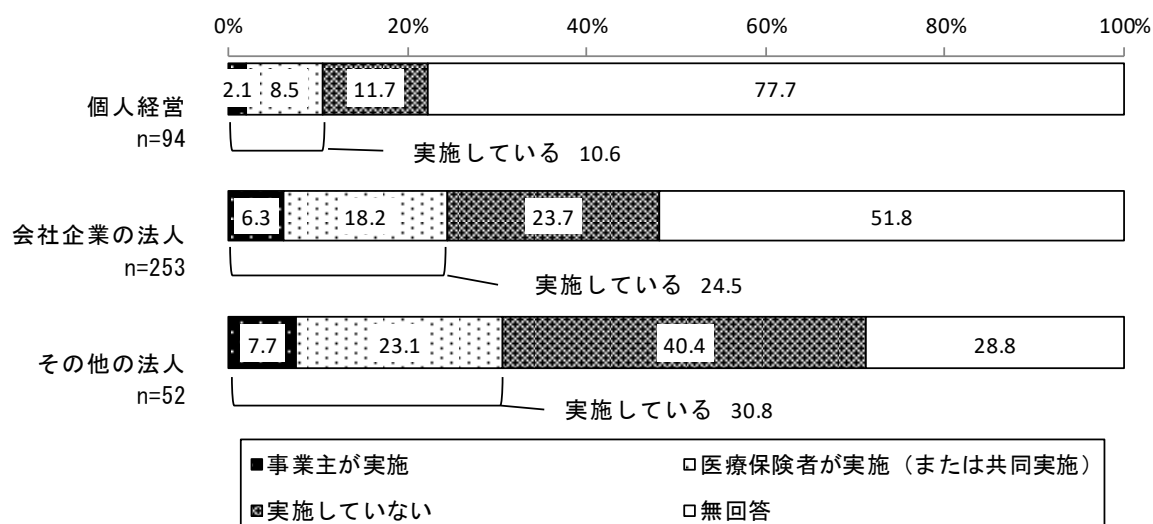
[肺がん]



[乳がん]



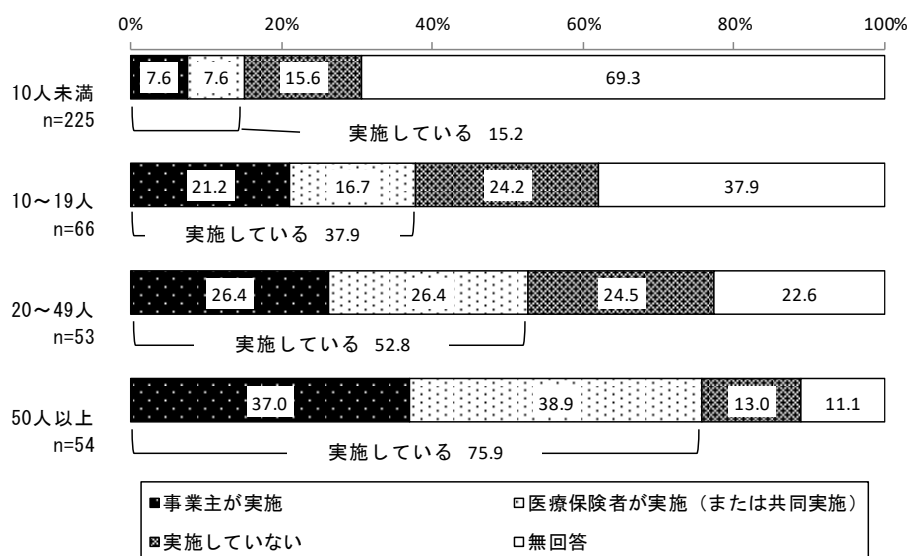
[子宮頸がん]



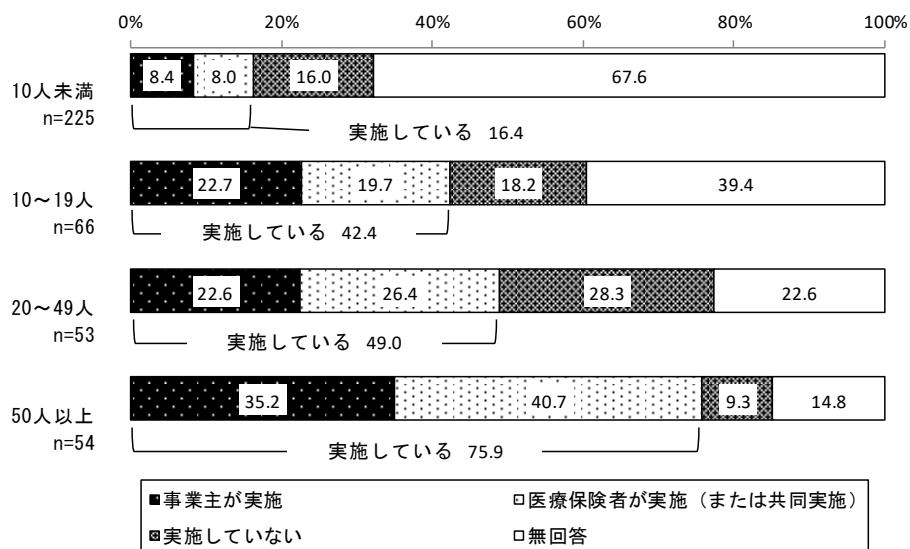
正社員以外での状況を経営組織別にみると、各がん検診を<実施している>事業所は、【会社企業の法人】では[胃がん][大腸がん][肺がん]が3割台、[乳がん][子宮頸がん]は2割台となっている。一方、【個人経営】では5つのがんすべてにおいて1割台となっている。

<従業員規模別（正社員以外）>

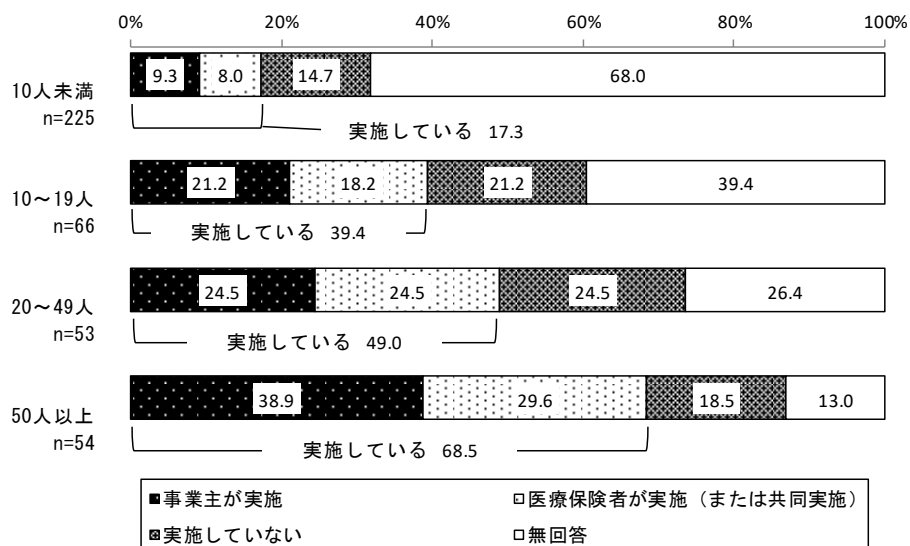
[胃がん]



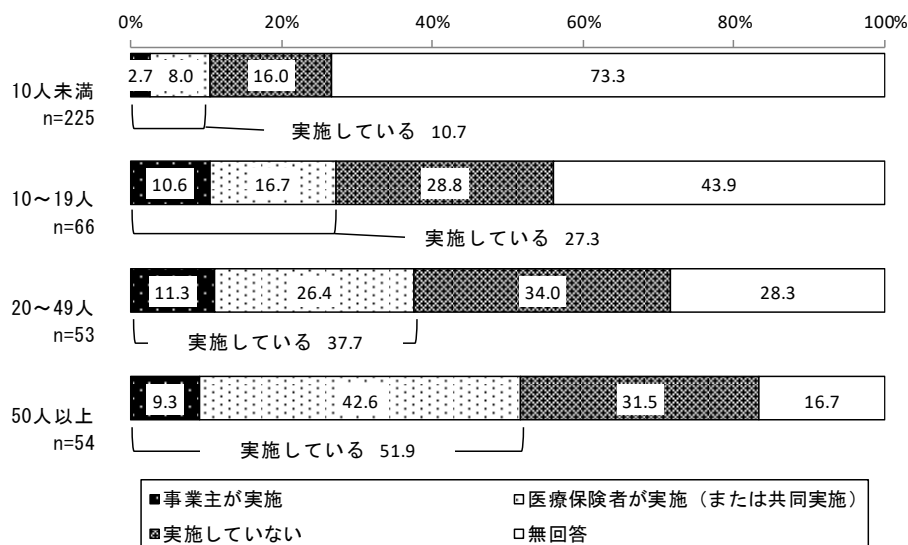
[大腸がん]



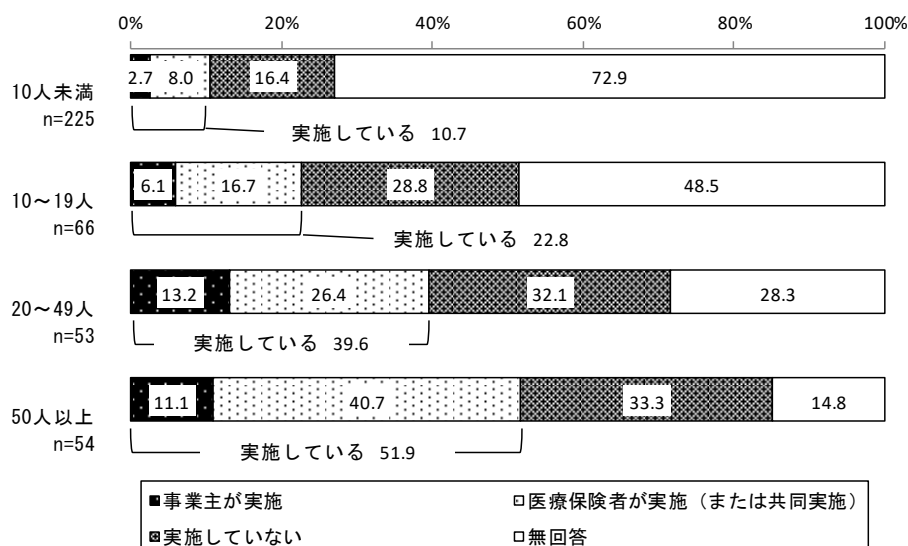
[肺がん]



[乳がん]



[子宮頸がん]



正社員以外での状況を従業員規模別にみると、各がん検診を<実施している>事業所は、5つのがんすべてにおいて、従業員規模が大きいほど<実施している>が多い傾向にある。各がん検診について<実施している>事業所は、[胃がん] [大腸がん] [肺がん] は【50人以上】で6~7割台となっている。[乳がん] [子宮頸がん] は【50人以上】で5割台と最も多くなっている。一方、【10人未満】では5つのがんすべてにおいて1割台となっている。

(2-1) (参考) 実施しているがんの組み合わせ

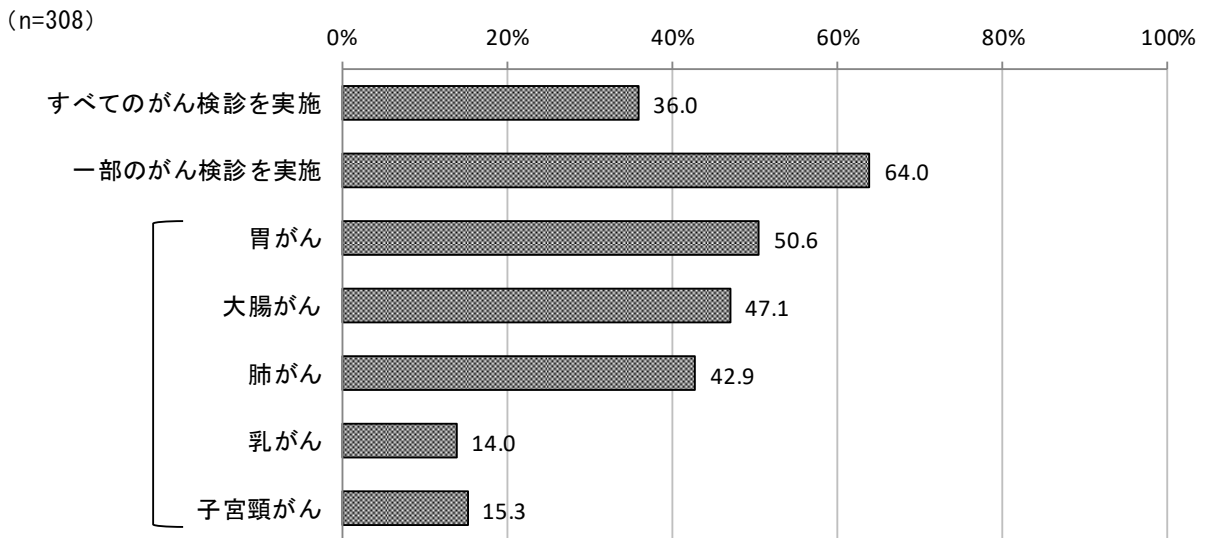
【全体の傾向】

がん検診を実施している事業所における、実施しているがんの組み合わせをみると、正社員・正社員以外ともに、「一部のがん検診を実施」がそれぞれ64.0%、62.0%で多く、「すべてのがん検診を実施」はそれぞれ36.0%、38.0%となっている。

「一部のがん検診を実施」している場合の実施しているがんの種類は、正社員では[胃がん]が50.6%で最も多く、次いで[大腸がん]が47.1%となっている。正社員以外では[大腸がん]が42.8%で最も多く、次いで[胃がん]が41.0%となっている。[乳がん][子宮頸がん]は正社員・正社員以外ともに1割台となっている。

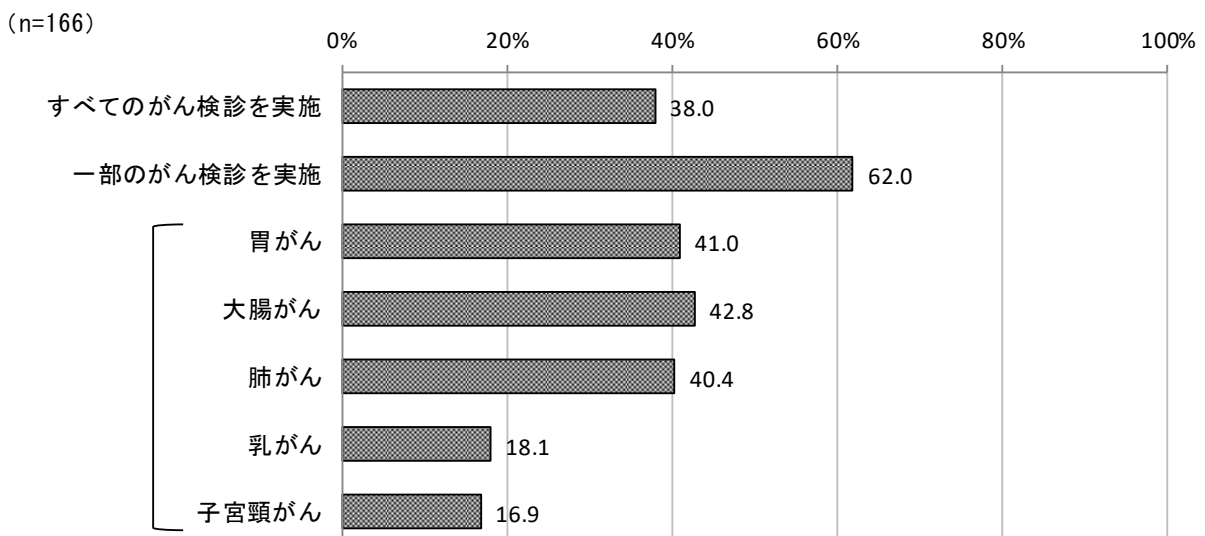
【正社員】

問2 (2-2) 実施しているがんの組み合わせ (実施主体より作成)



【正社員以外】

問2 (2-2) 実施しているがんの組み合わせ (実施主体より作成)



【経営組織別・従業員規模別の傾向】

<経営組織別（正社員）>

上段：件数、下段：構成比（%）

	事業所数	をすべてのがん検診を実施	実一部のがんを検診	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
				件数	構成比（%）	件数	構成比（%）	件数
個人経営	58	10	48	38	39	33	8	10
	100.0	17.2	82.8	65.5	67.2	56.9	13.8	17.2
会社企業の法人	203	84	119	97	89	80	27	26
	100.0	41.4	58.6	47.8	43.8	39.4	13.3	12.8
その他の法人	41	15	26	18	14	17	5	8
	100.0	36.6	63.4	43.9	34.1	41.5	12.2	19.5

正社員の状況を経営組織別で見ると、「すべてのがん検診を実施」は【会社企業の法人】で41.4%、【その他の法人】で36.6%、【個人経営】で17.2%となっている。

<従業員規模別（正社員）>

上段：件数、下段：構成比（%）

	事業所数	をすべてのがん検診を実施	実一部のがんを検診	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
				件数	構成比（%）	件数	構成比（%）	件数
10人未満	155	44	111	87	82	80	17	20
	100.0	28.4	71.6	56.1	52.9	51.6	11.0	12.9
10～19人	52	22	30	25	22	17	10	10
	100.0	42.3	57.7	48.1	42.3	32.7	19.2	19.2
20～49人	45	19	26	19	15	16	7	8
	100.0	42.2	57.8	42.2	33.3	35.6	15.6	17.8
50人以上	49	25	24	22	22	15	7	7
	100.0	51.0	49.0	44.9	44.9	30.6	14.3	14.3

正社員の状況を従業員規模別で見ると、おおむね従業員規模が大きいほど「すべてのがん検診を実施」は多くなっている。【50人以上】で「すべてのがん検診を実施」は51.0%と半数以上となっている。

<経営組織別（正社員以外）>

上段：件数、下段：構成比（%）

	事業所数	すべてのがん検診を実施	実一部のがんを検診	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
個人経営	22 100.0	6 27.3	16 82.8	8 36.4	12 54.5	10 45.5	4 18.2	4 18.2
会社企業の法人	112 100.0	47 42.0	65 58.6	47 42.0	48 42.9	43 38.4	20 17.9	15 13.4
その他の法人	29 100.0	9 31.0	20 63.4	11 37.9	9 31.0	13 44.8	5 17.2	7 24.1

正社員以外の状況を経営組織別でみると、「すべてのがん検診を実施」は【会社企業の法人】で42.0%となっている。

<従業員規模別（正社員以外）>

上段：件数、下段：構成比（%）

	事業所数	すべてのがん検診を実施	実一部のがんを検診	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
10人未満	50 100.0	13 26.0	37 71.6	21 42.0	24 48.0	26 52.0	11 22.0	11 22.0
10～19人	32 100.0	13 40.6	19 57.7	12 37.5	15 46.9	13 40.6	5 15.6	2 6.3
20～49人	34 100.0	15 44.1	19 57.8	13 38.2	11 32.4	11 32.4	5 14.7	6 17.6
50人以上	46 100.0	21 42.9	25 51.0	20 40.8	20 40.8	16 32.7	7 14.3	7 14.3

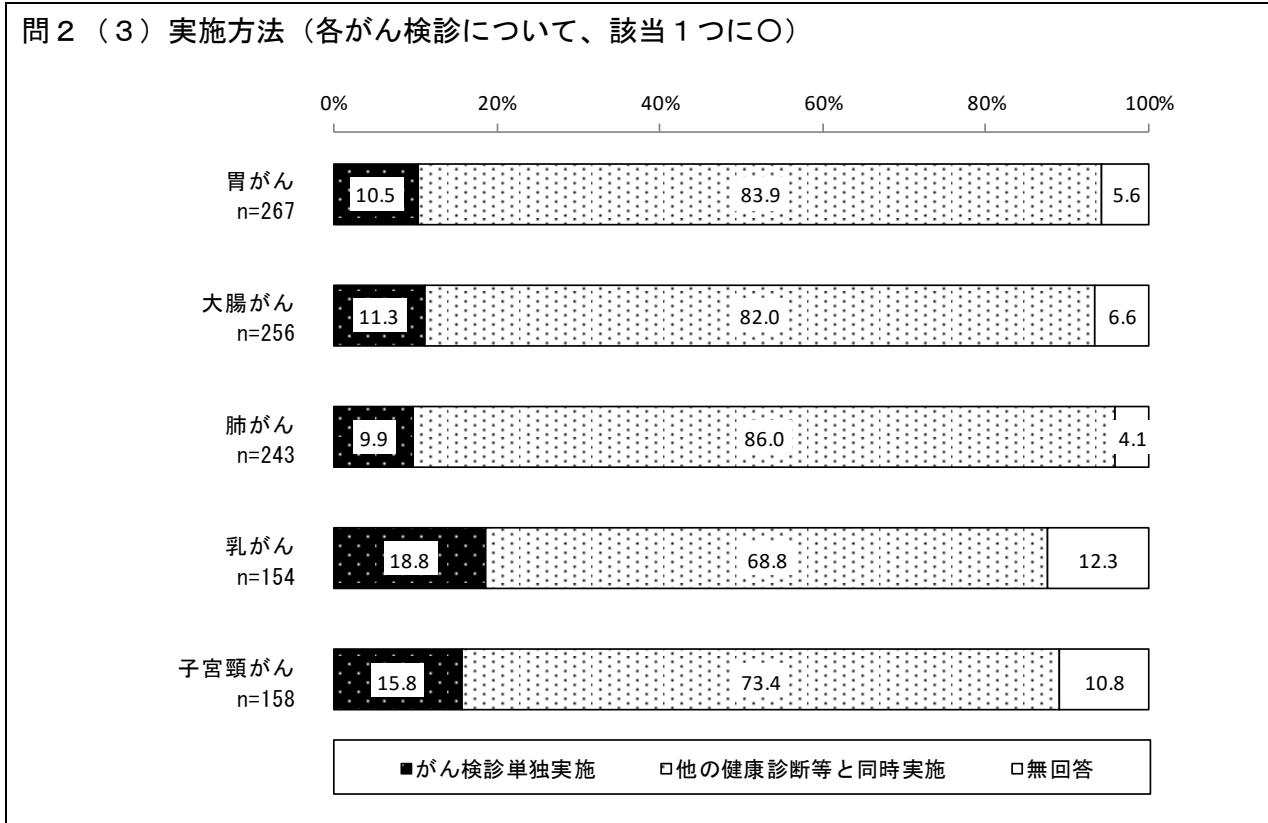
正社員以外の状況を従業員規模別でみると、「すべてのがん検診を実施」は10人以上の規模では4割台となっているが、【10人未満】では26.0%となっている。

(3) がん検診実施方法

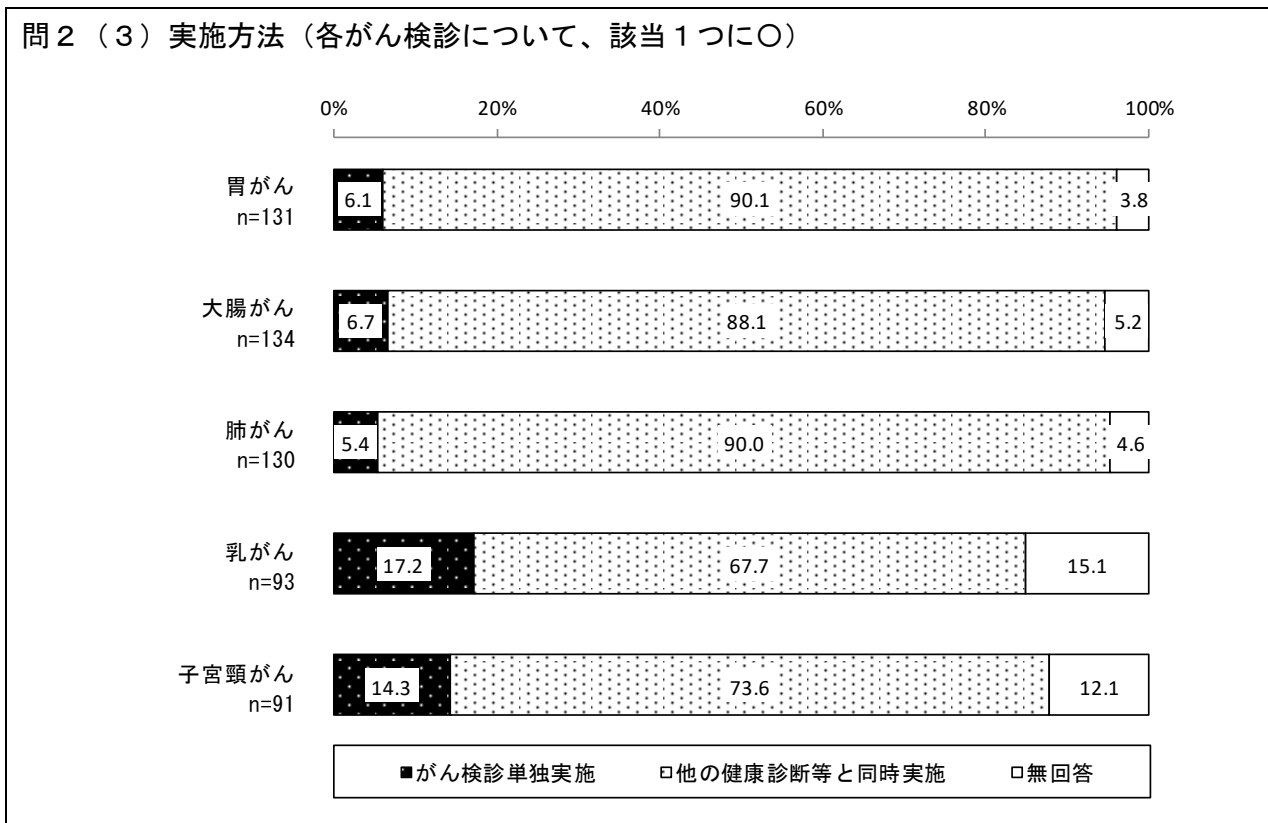
【全体の傾向】

正社員・正社員以外とも、5つのがんすべてにおいて「他の健康診断等と同時実施」が多く、[胃がん] [大腸がん] [肺がん] は8～9割台、[子宮頸がん] が7割台、[乳がん] は6割台となっている。「がん検診単独実施」は[乳がん] が最も多く、1割後半となっている。

【正社員】



【正社員以外】

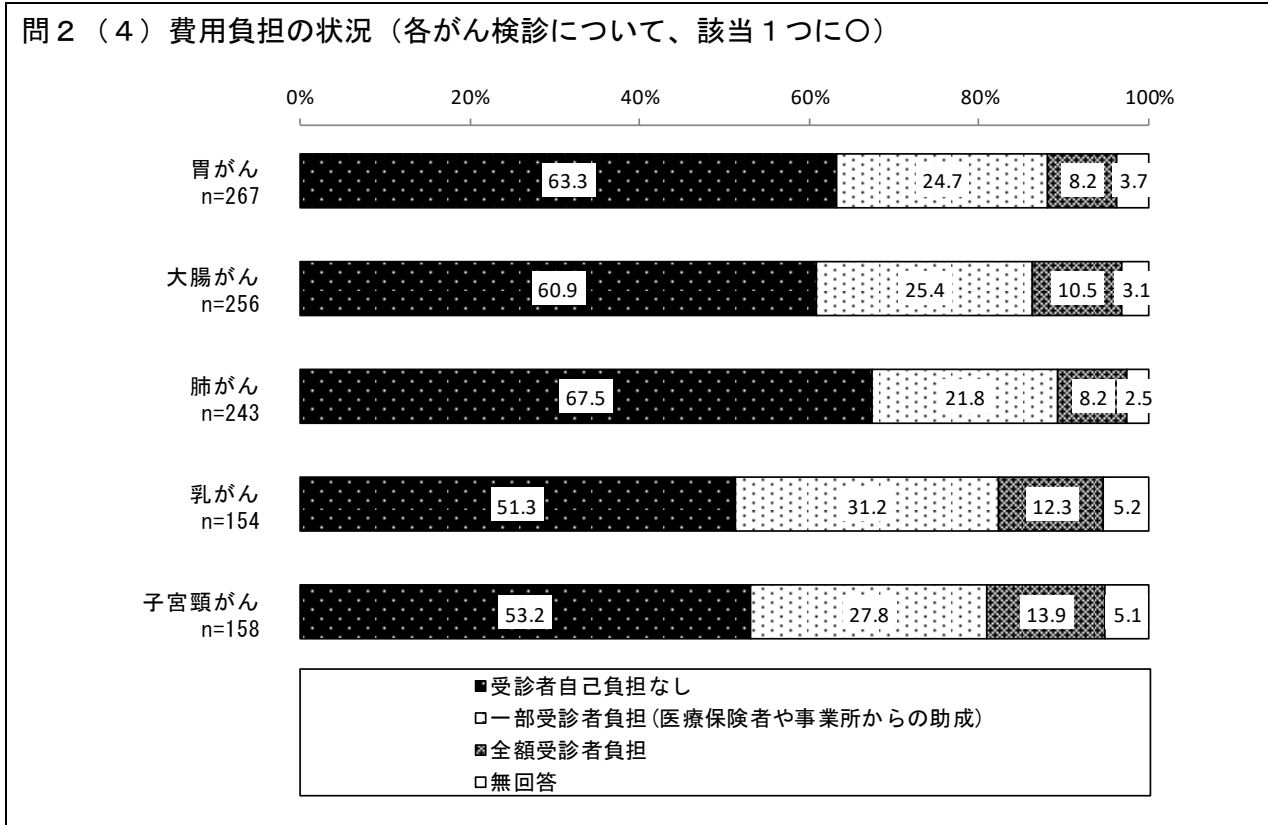


(4) がん検診の費用負担の状況

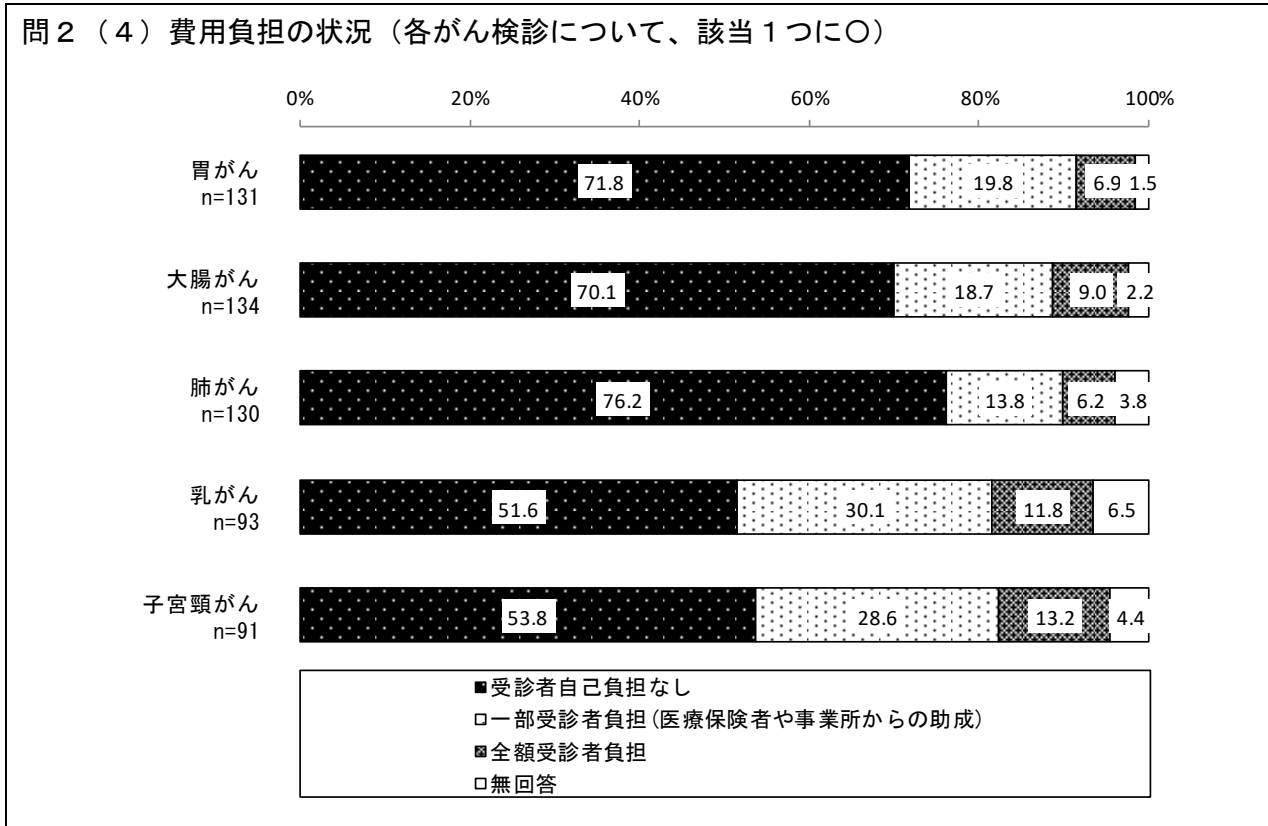
【全体の傾向】

各がん検診の費用負担の状況を伺ったところ、正社員・正社員以外とも、5つのがんすべてにおいて「受診者自己負担なし」が最も多く、[胃がん][大腸がん][肺がん]は6割以上、[乳がん][子宮頸がん]は5割台となっている。

【正社員】



【正社員以外】

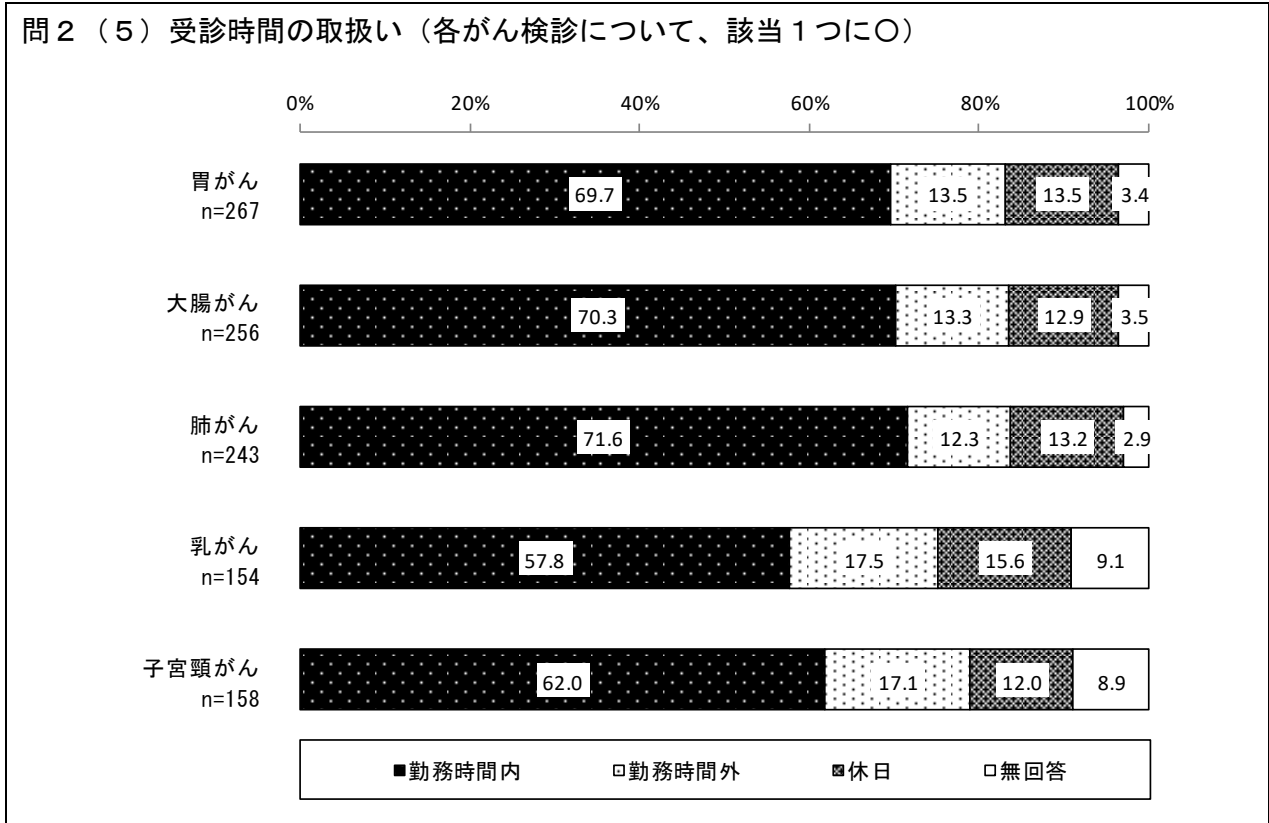


(5) がん検診の受診時間の取扱い

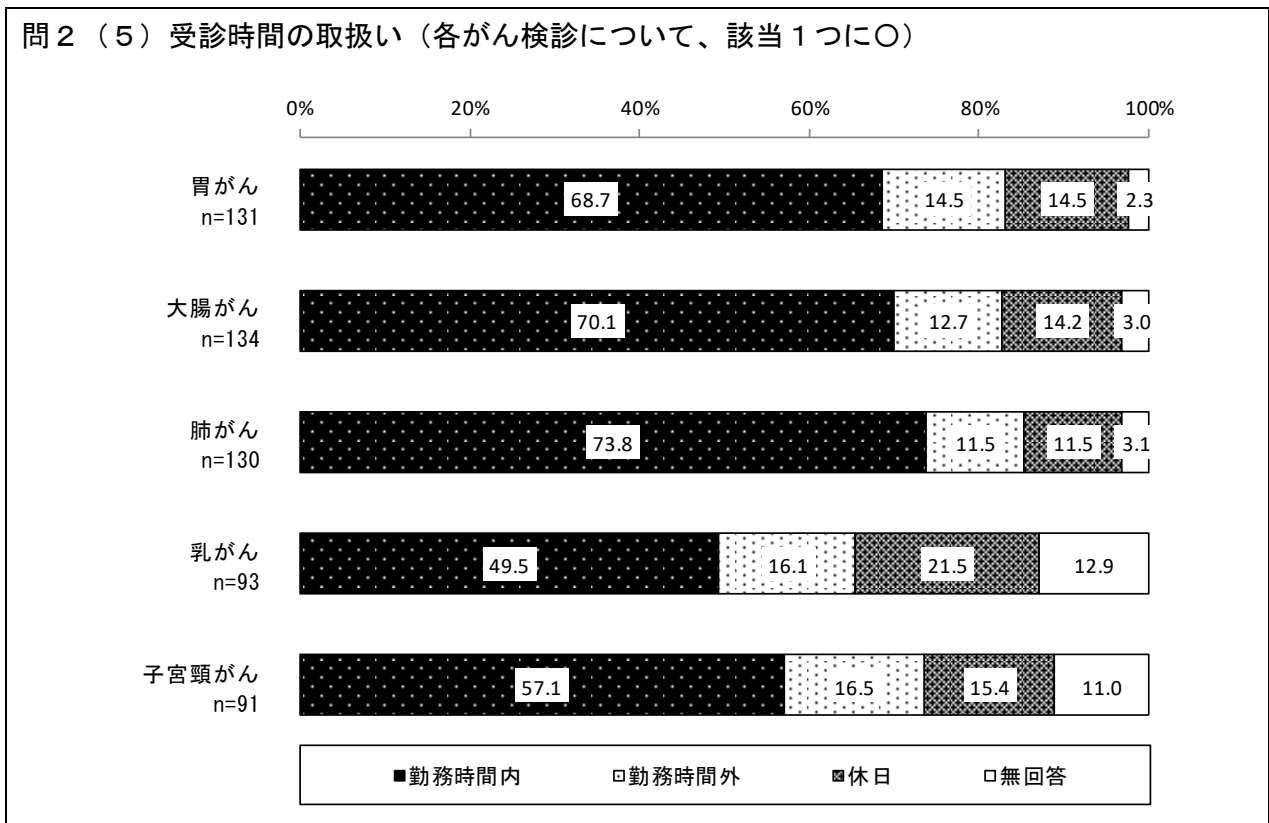
【全体の傾向】

各がん検診の受診時間の取扱いを伺ったところ、正社員・正社員以外とも、5つのがんすべてにおいて「勤務時間内」が最も多く、[胃がん] [大腸がん] [肺がん] は7割前後、[乳がん] [子宮頸がん] は4～6割台となっている。

【正社員】



【正社員以外】



(6) (実施していないがん検診について) 実施していない理由

【全体の傾向】

正社員・正社員以外ともに〔胃がん〕〔肺がん〕〔乳がん〕〔子宮頸がん〕で「特に理由はない」が最も多いが、正社員以外の〔乳がん〕〔子宮頸がん〕は「法律の義務付けがない」も同率で最も多くなっている。また、〔大腸がん〕では「法律の義務付けがない」が最も多くなっている。

【正社員】

問2(6) がん検診を実施していない理由(各がんについて、該当すべてに○)

	事業所数	上段:件数、下段:構成比(%)							
		い法律の義務付けがない	足予算・人員・設備不	を事業所で行う必要性を感じない	し他の主体で既に実施している	い施検診すべきかわからな	特に理由はない	その他	無回答
胃がん	47 100.0	7 14.9	8 17.0	1 2.1	3 6.4	2 4.3	17 36.2	5 10.6	5 10.6
大腸がん	49 100.0	16 32.7	5 10.2	2 4.1	1 2.0	3 6.1	15 30.6	5 10.2	2 4.1
肺がん	53 100.0	11 20.8	8 15.1	4 7.5	3 5.7	2 3.8	16 30.2	6 11.3	3 5.7
乳がん	117 100.0	20 17.1	13 11.1	5 4.3	9 7.7	3 2.6	34 29.1	25 21.4	8 6.8
子宮頸がん	111 100.0	20 18.0	9 8.1	5 4.5	9 8.1	2 1.8	32 28.8	26 23.4	8 7.2

【正社員以外】

問2(6) がん検診を実施していない理由(各がんについて、該当すべてに○)

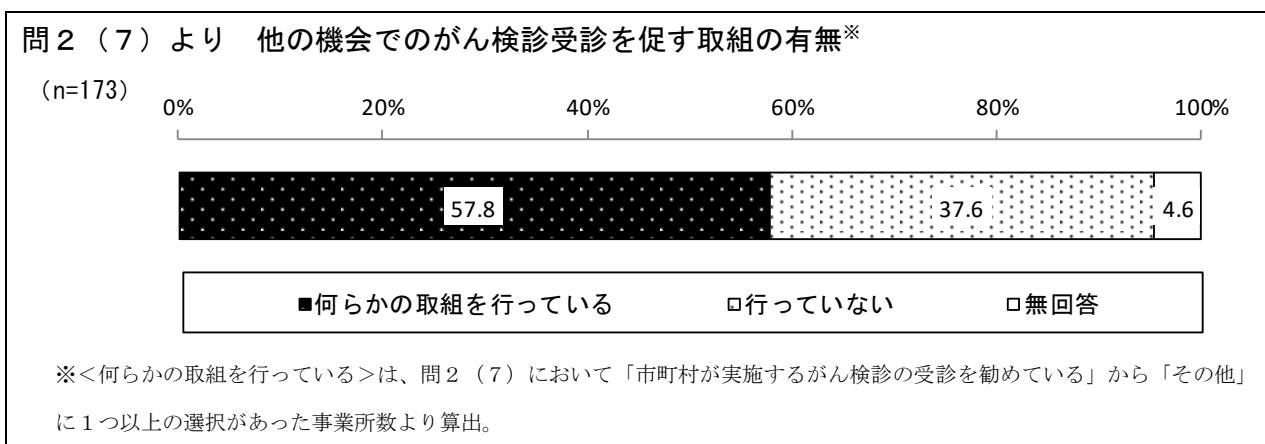
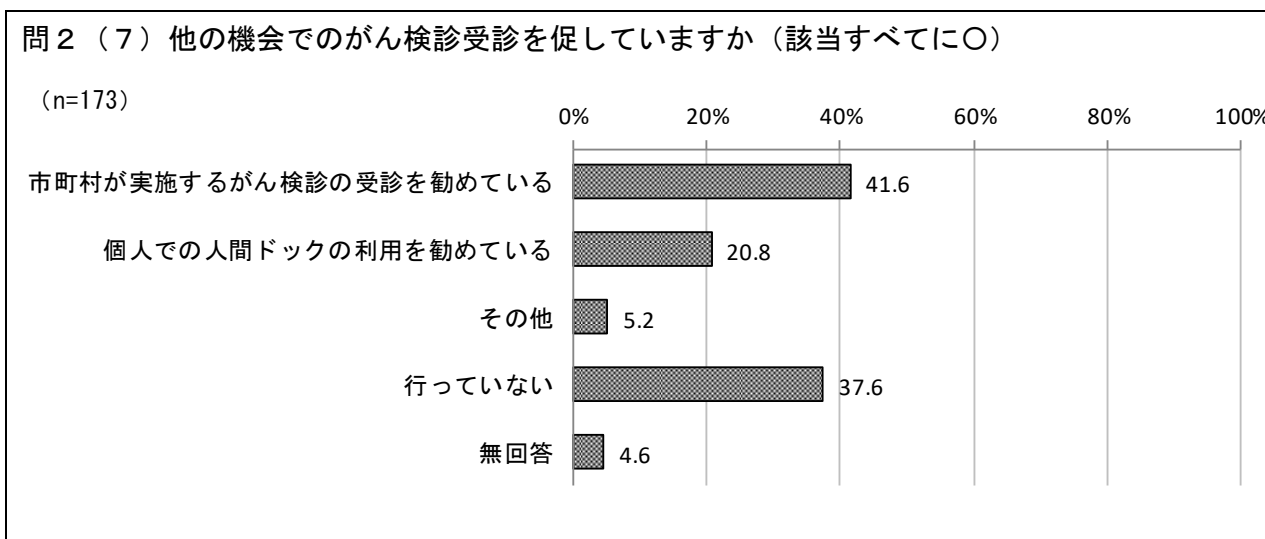
	事業所数	上段:件数、下段:構成比(%)							
		い法律の義務付けがない	足予算・人員・設備不	を事業所で行う必要性を感じない	し他の主体で既に実施している	い施検診すべきかわからな	特に理由はない	その他	無回答
胃がん	73 100.0	12 16.4	13 17.8	4 5.5	8 11.0	-	16 21.9	7 9.6	14 19.2
大腸がん	71 100.0	16 22.5	11 15.5	4 5.6	6 8.5	1 1.4	14 19.7	8 11.3	12 16.9
肺がん	72 100.0	13 18.1	11 15.3	5 6.9	6 8.3	-	16 22.2	9 12.5	13 18.1
乳がん	92 100.0	20 21.7	19 20.7	3 3.3	8 8.7	-	20 21.7	9 9.8	13 14.1
子宮頸がん	93 100.0	20 21.5	16 17.2	4 4.3	8 8.6	-	20 21.5	12 12.9	13 14.0

(7) (実施していないがん検診について) 他の機会受診を促す取組

【全体の傾向】

実施していないがん検診について、他の機会でのがん検診受診を促すために、<何らかの取組を行っている>事業所は57.8%と半数以上となっており、取組を「行っていない」は37.6%となっている。

取組としては「市町村が実施するがん検診の受診を勧めている」が41.6%、「個人での人間ドックの利用を勧めている」が20.8%となっている。



3 各がん検診の検査実施方法及び受診状況

問3 貴事業所で実施した各がん検診の検査実施方法及び実施状況についてお答えください。

(1) 各がん検診の検査方法

ア. 胃がん

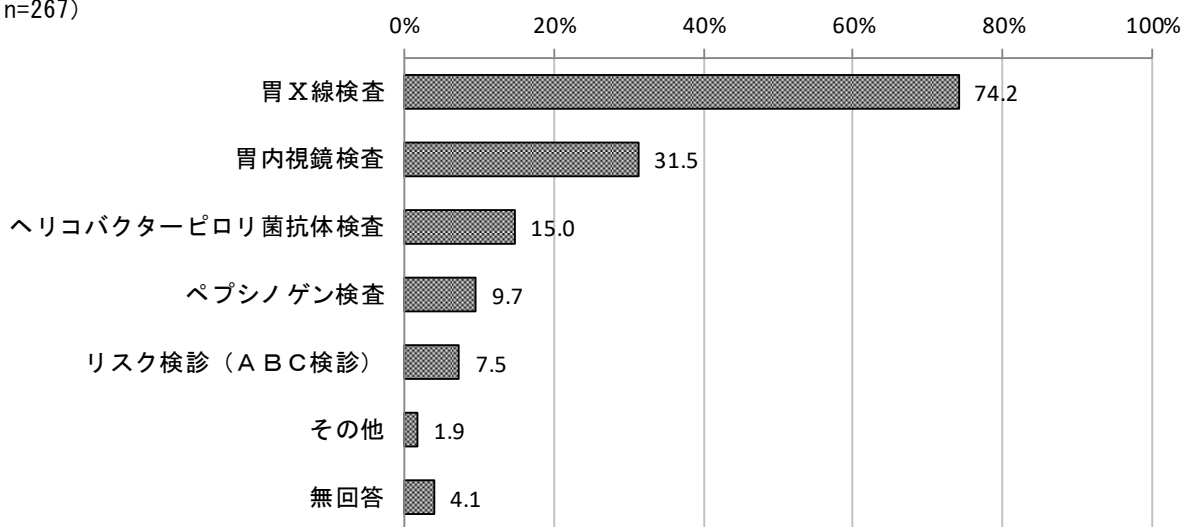
【全体の傾向】

胃がん検診の（一次検診）の検査方法は、正社員・正社員以外ともに「胃X線検査」がそれぞれ74.2%、78.6%で最も多くなっている。次いで、「胃内視鏡検査」がそれぞれ31.5%、27.5%となっている。

[正社員]

問3 (1) 検診方法（一次検診）

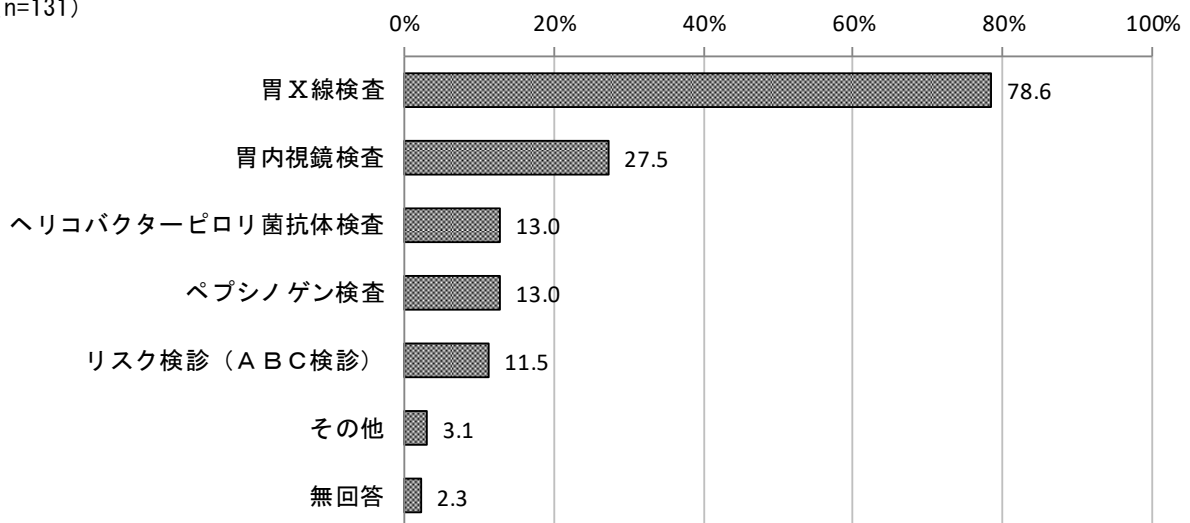
(n=267)



[正社員以外]

問3 (1) 検診方法（一次検診）

(n=131)

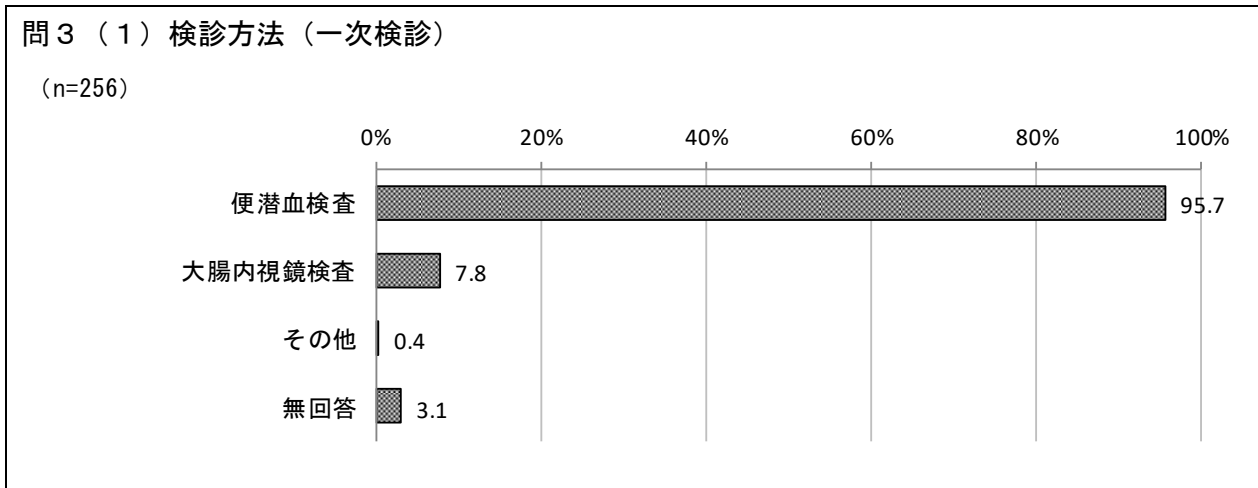


イ. 大腸がん

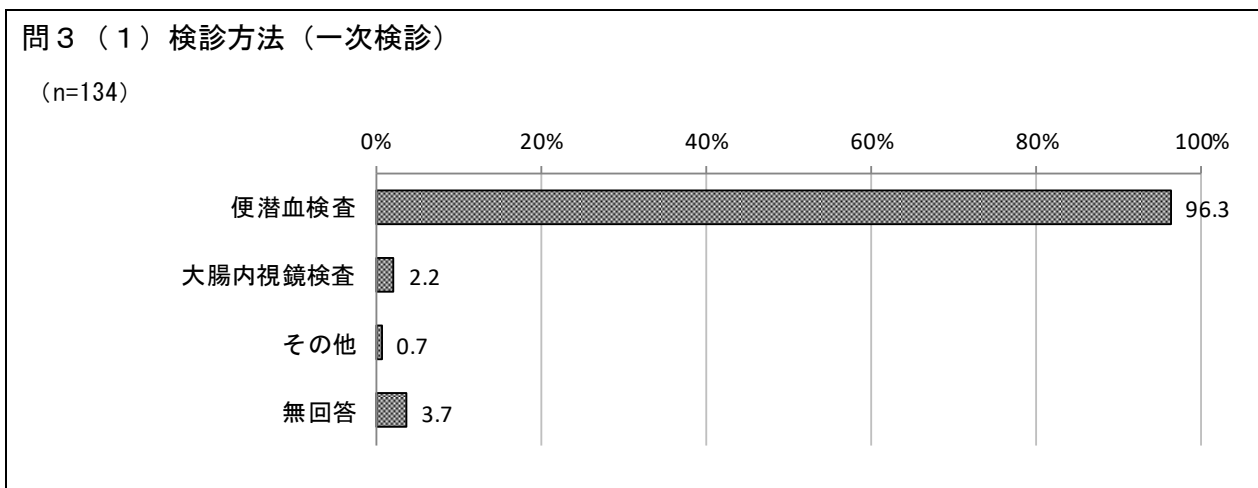
【全体の傾向】

大腸がん検診の（一次検診）の検査方法は、正社員・正社員以外ともに「便潜血検査」がそれぞれ 95.7%、96.3%で最も多く、いずれも 9 割半ばとなっている。

【正社員】



【正社員以外】

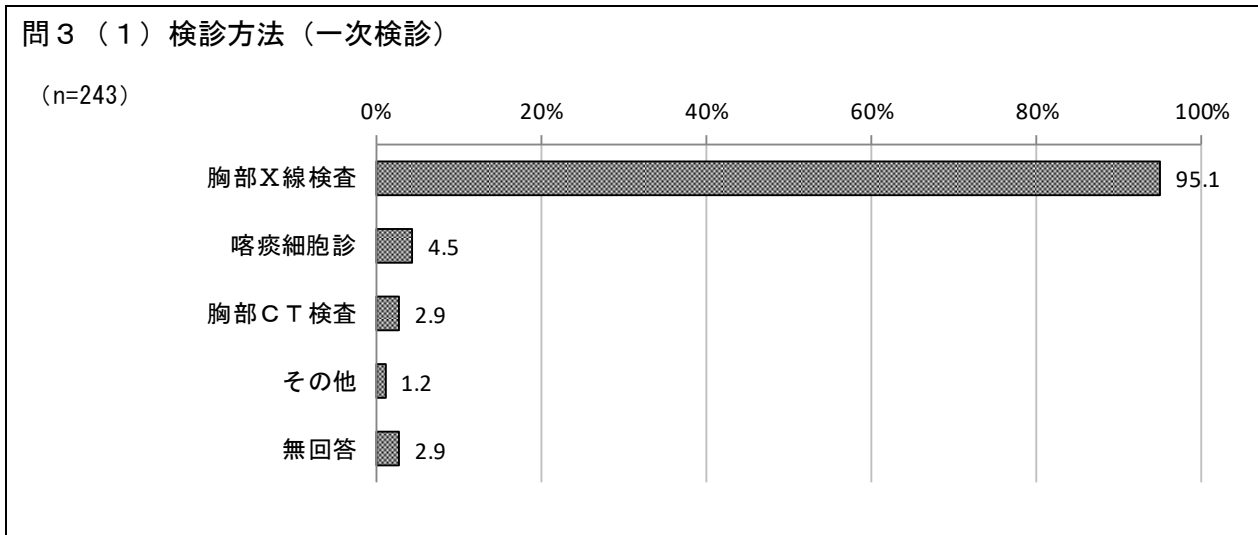


ウ. 肺がん

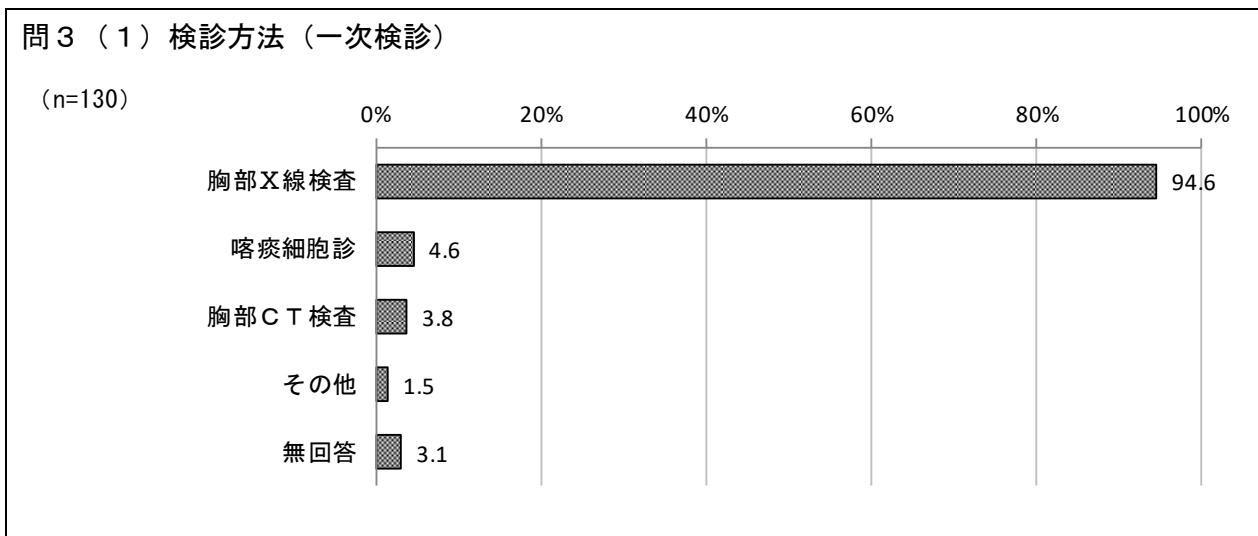
【全体の傾向】

肺がん検診の（一次検診）の検査方法は、正社員・正社員以外ともに「胸部X線検査」がそれぞれ95.1%、94.9%で最も多く、いずれも9割半ばとなっている。

[正社員]



[正社員以外]

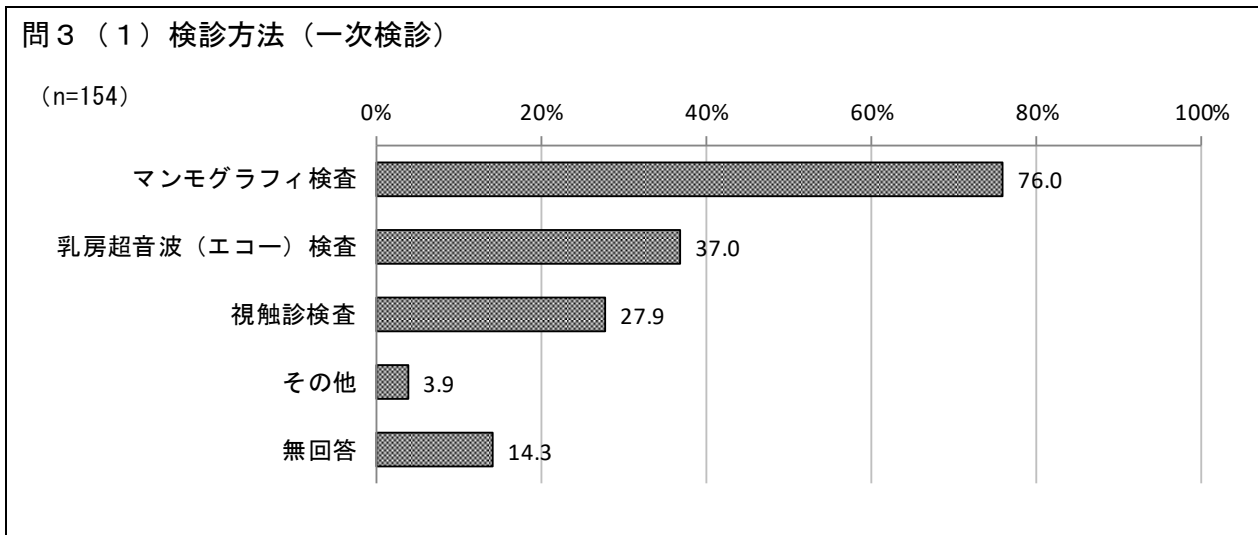


エ. 乳がん

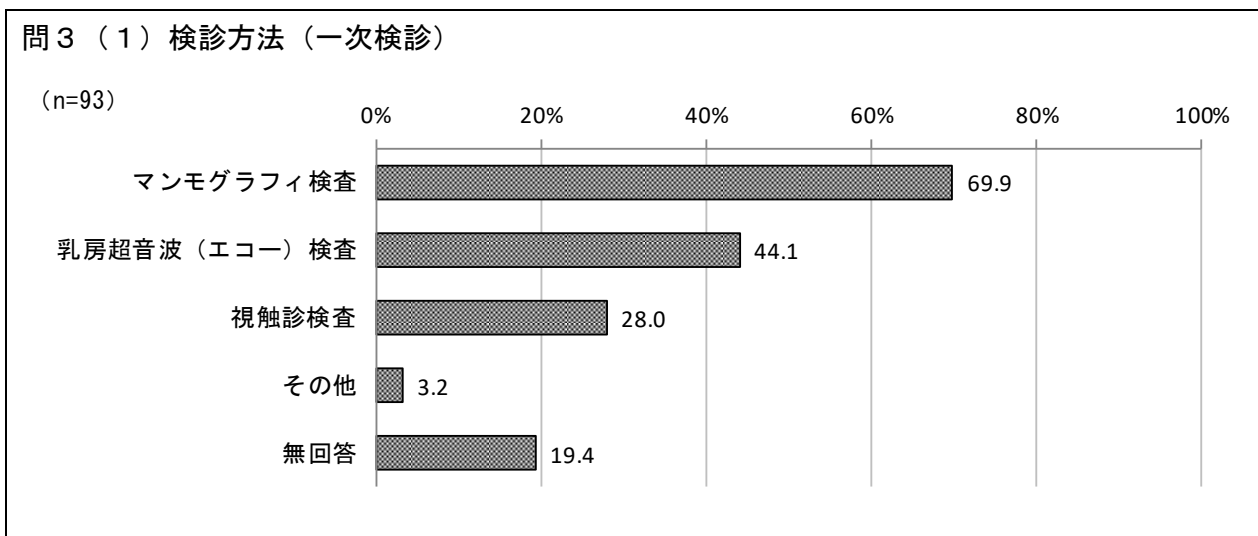
【全体の傾向】

乳がん検診の（一次検診）の検査方法は、正社員・正社員以外ともに「マンモグラフィ検査」がそれぞれ76.0%、69.9%で最も多く、次いで「乳房超音波（エコー）検査」がそれぞれ37.0%、44.1%となっている。

[正社員]



[正社員以外]

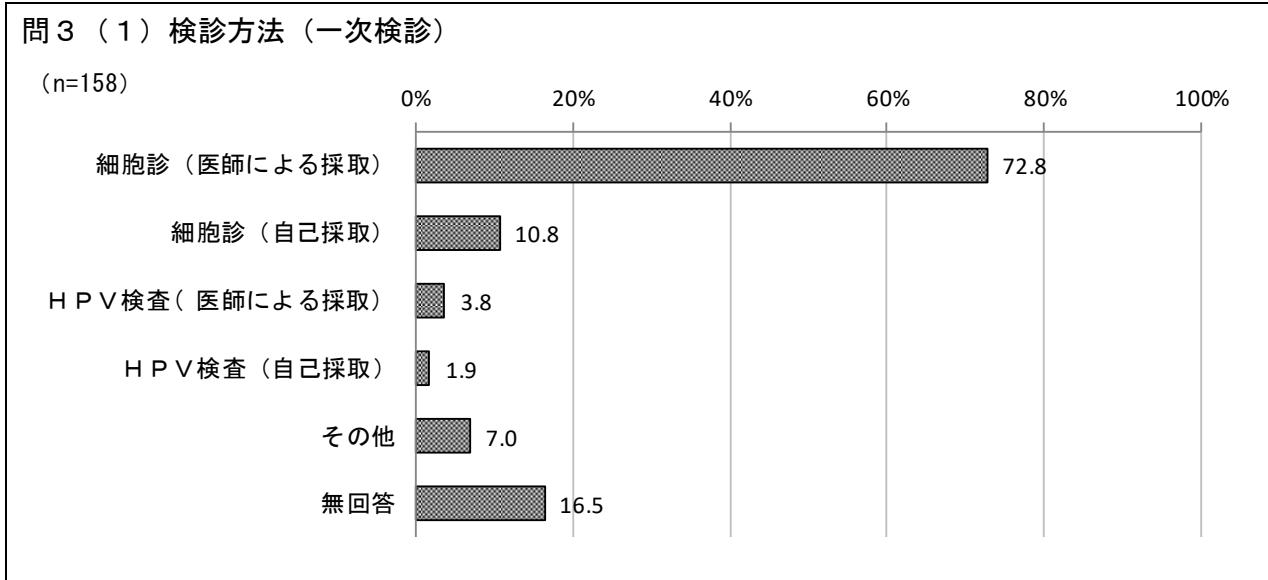


オ. 子宮頸がん

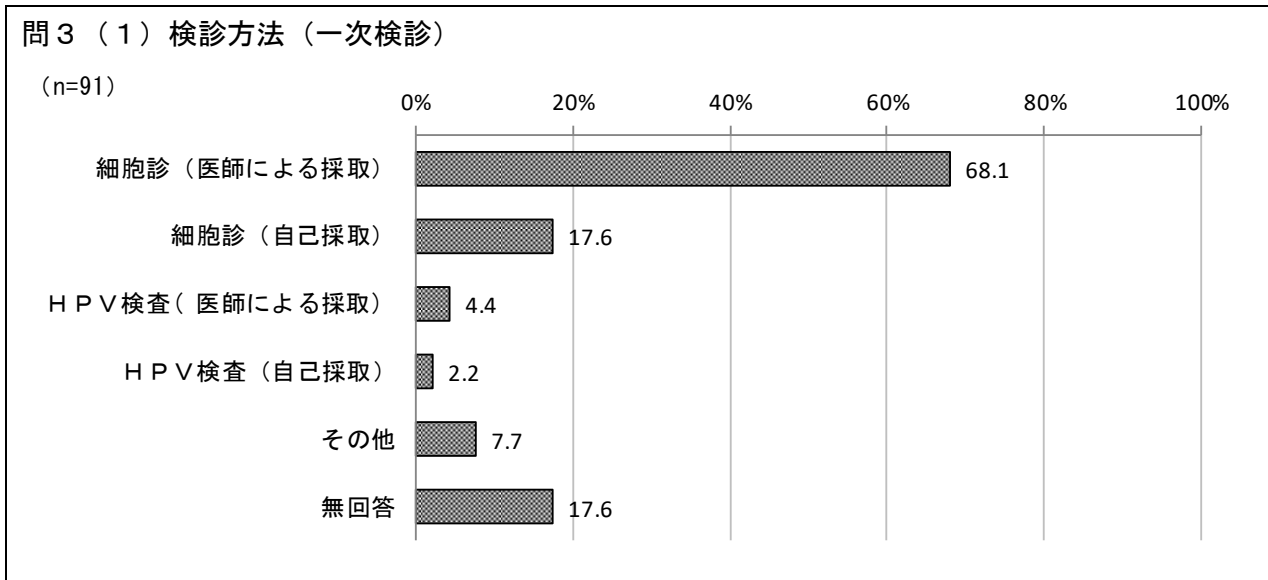
【全体の傾向】

子宮頸がん検診の（一次検診）の検査方法は、正社員・正社員以外ともに「細胞診（医師による採取）」がそれぞれ72.8%、68.1%で最も多く、次いで「細胞診（自己採取）」がそれぞれ10.8%、17.6%となっている。

[正社員]



[正社員以外]



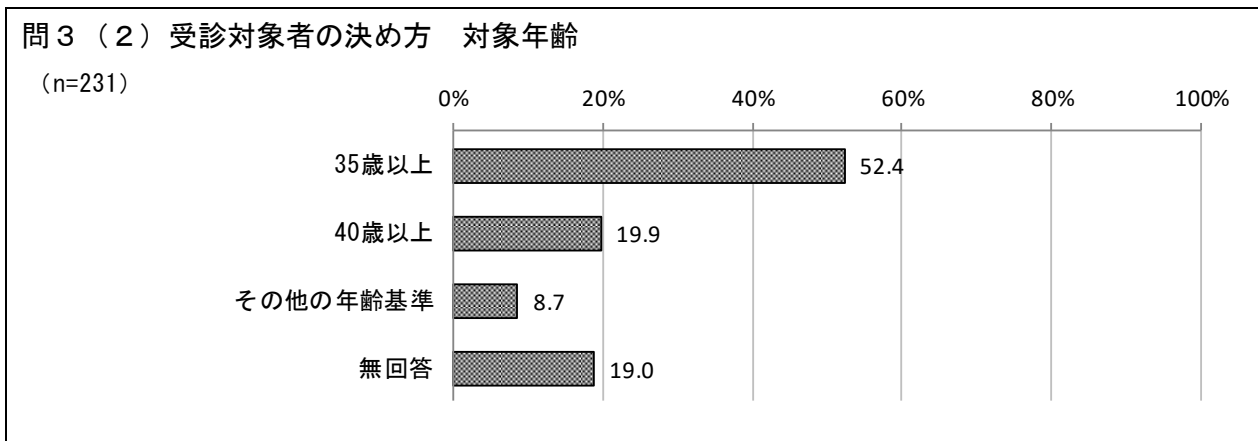
(2) 受診対象者の決め方

ア. 胃がん

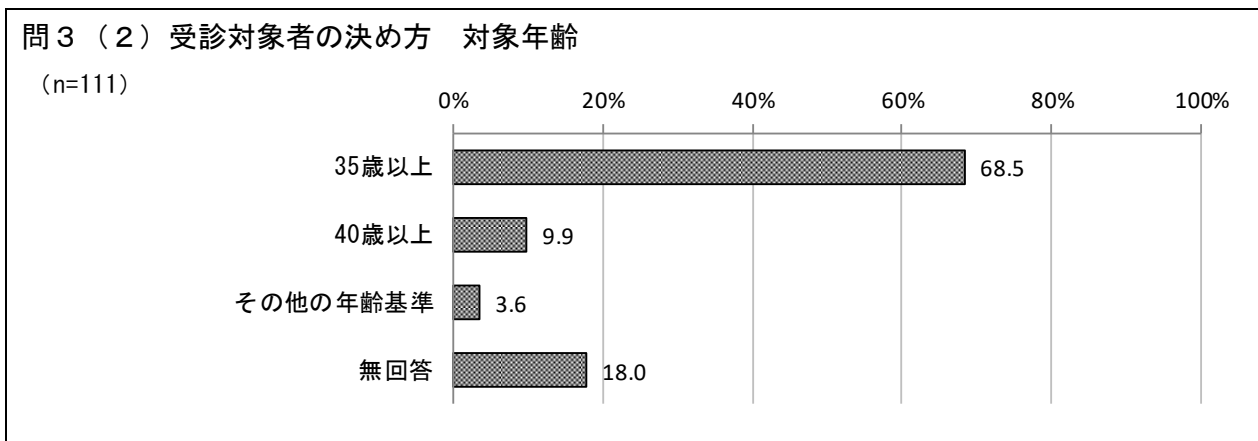
【全体の傾向】

胃がん検診の受診対象者の決め方について、対象年齢は、正社員・正社員以外ともに「35歳以上」がそれぞれ52.4%、68.5%で最も多くなっている。

【正社員】



【正社員以外】

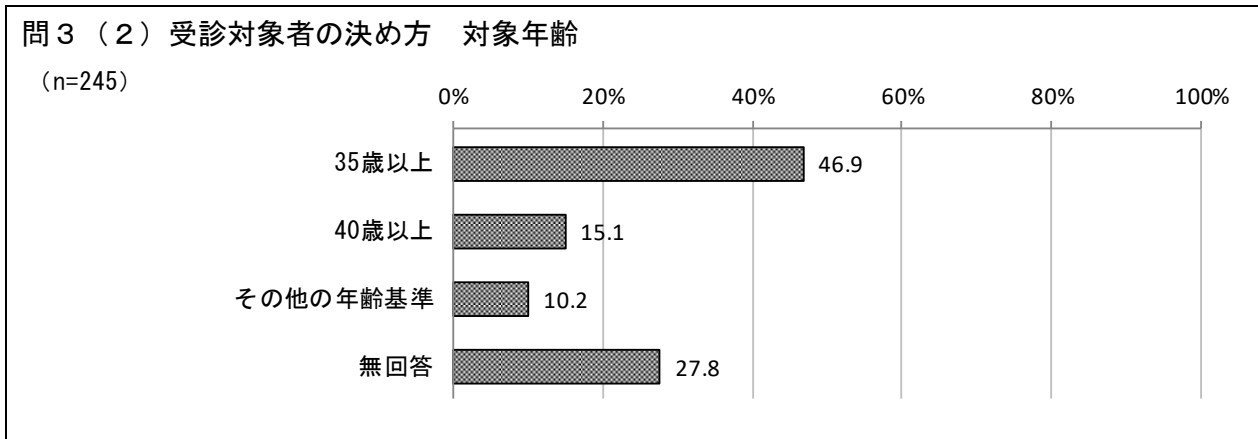


イ. 大腸がん

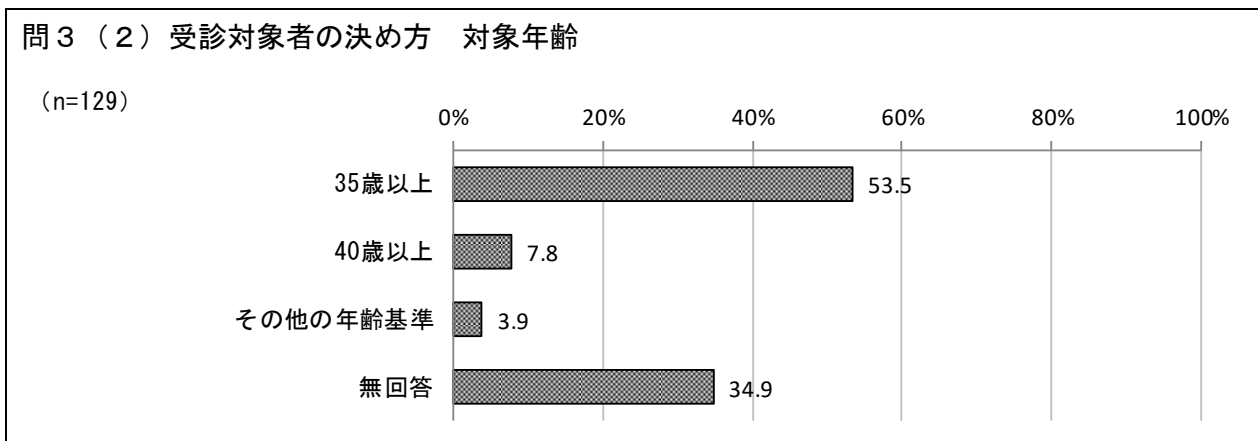
【全体の傾向】

大腸がん検診の受診対象者の決め方について、対象年齢は、正社員・正社員以外ともに「35歳以上」がそれぞれ46.9%、53.5%で最も多くなっている。

[正社員]



[正社員以外]

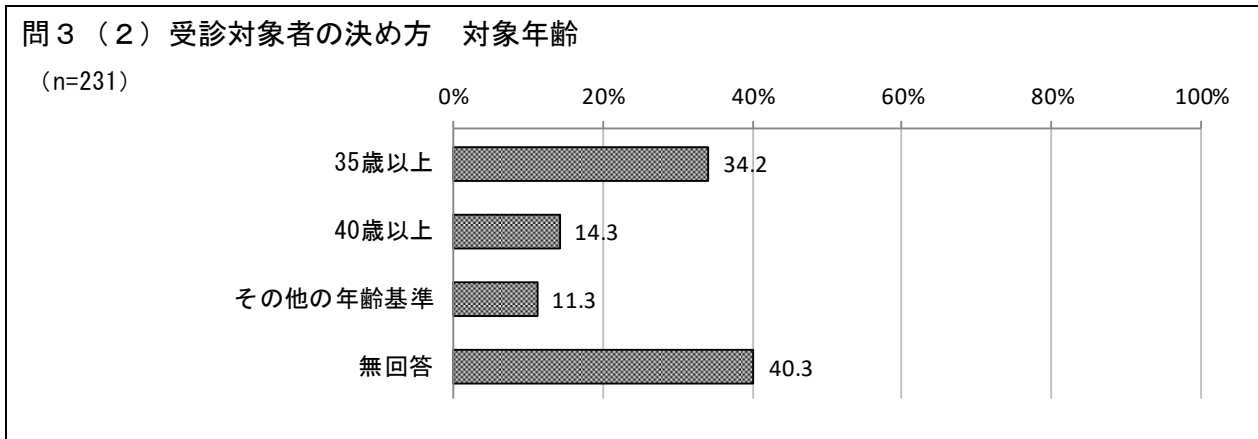


ウ. 肺がん

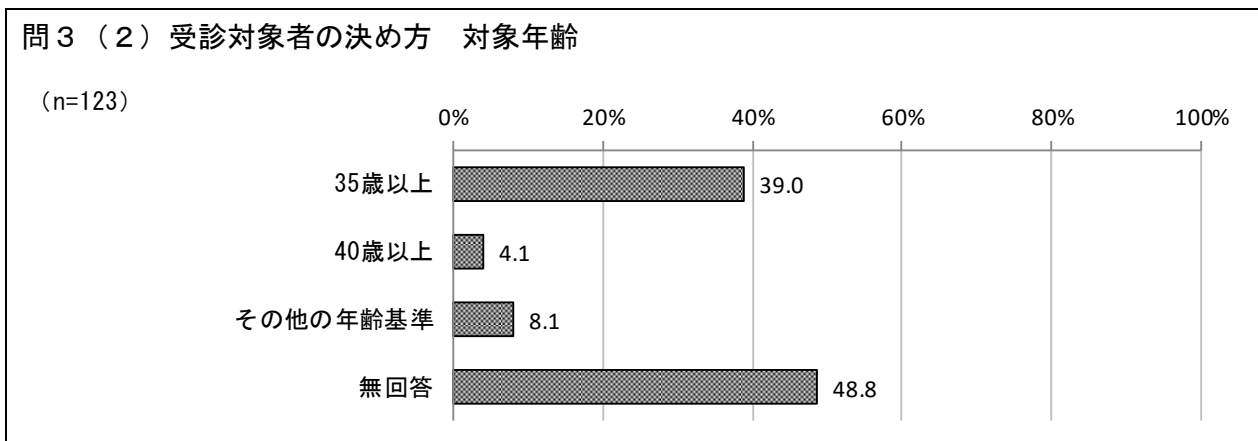
【全体の傾向】

肺がん検診の受診対象者の決め方について、対象年齢は、正社員・正社員以外ともに「35歳以上」がそれぞれ34.2%、39.0%で最も多くなっている。

[正社員]



[正社員以外]

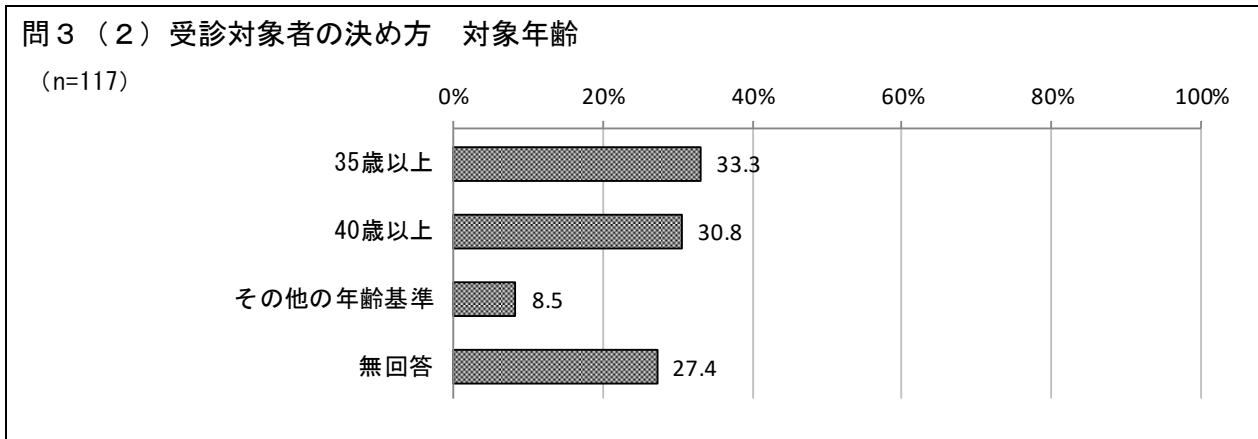


エ. 乳がん

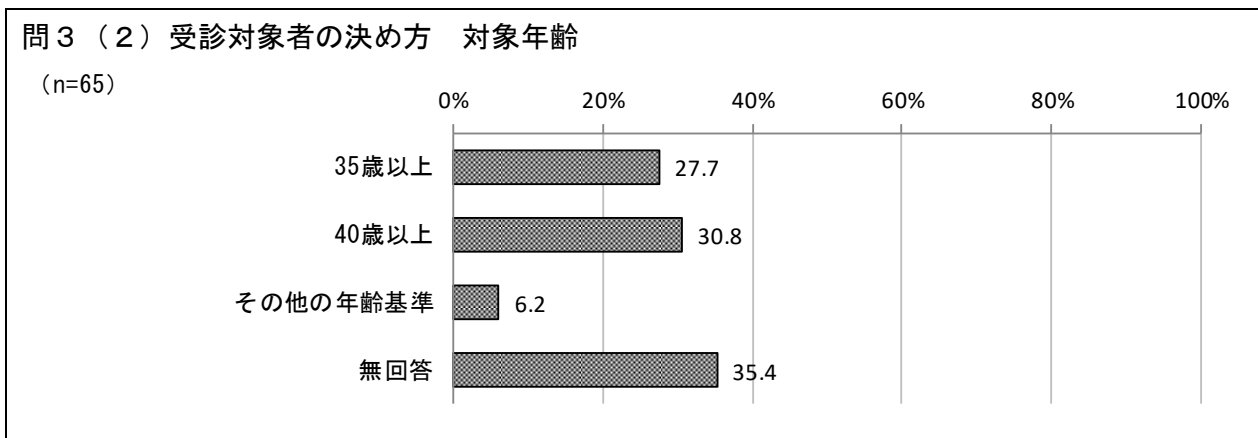
【全体の傾向】

乳がん検診の受診対象者の決め方について、対象年齢は、正社員では「35歳以上」が33.3%で、正社員以外では「40歳以上」が30.8%で最も多くなっている。

[正社員]



[正社員以外]

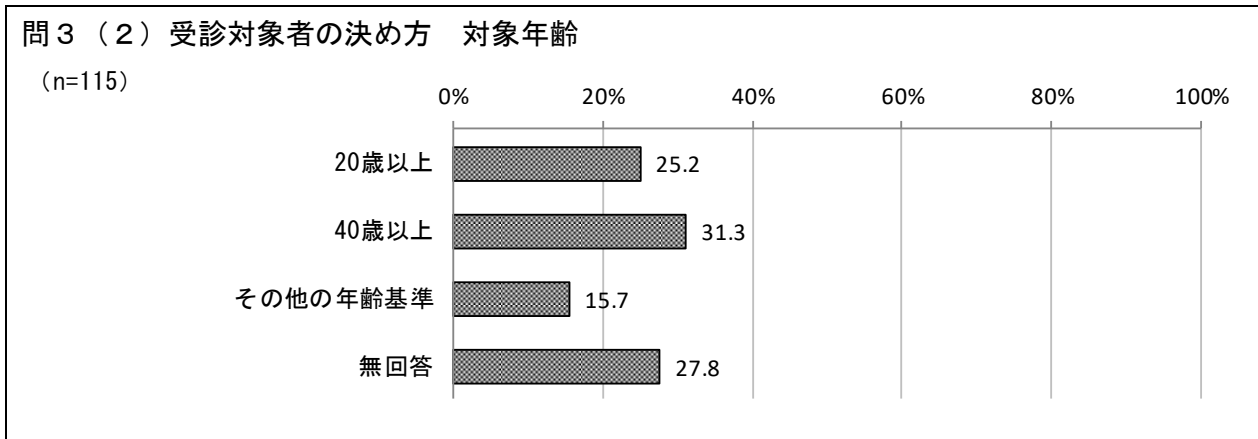


オ. 子宮頸がん

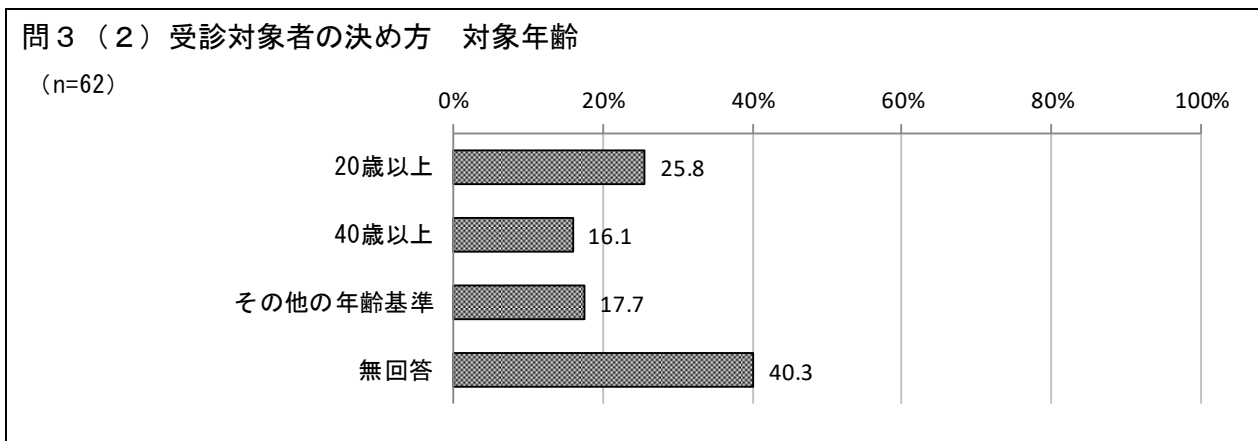
【全体の傾向】

子宮頸がん検診の受診対象者の決め方について、対象年齢は、正社員では「40歳以上」が31.3%で、正社員以外では「20歳以上」が25.8%で最も多くなっている。

[正社員]



[正社員以外]



(3) がん検診受診率

ア. 各事業所のがん検診対象者における受診率

※対象者数・受診者数双方に記載のあった事業所を集計対象とし、各人数の総和から算出した。なお、それぞれ無回答であった箇所は計算から除いた。

【全体の傾向】

各がんの事業所でのがん検診対象者における受診率は、正社員・正社員以外ともに〔肺がん〕がそれぞれ 98.0%、93.2%で最も高く、次いで正社員では〔大腸がん〕が 77.0%、正社員以外では〔胃がん〕が 75.3%となっている。

〔乳がん〕〔子宮頸がん〕の受診率は、正社員で 4 割台、正社員以外で 2 割台と他のがんに比べて受診率が低い。

〔正社員〕

問3より 各事業所のがん検診対象者における受診率

検診の種類	事業所数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	133	3,788人	2,533人	66.9%
大腸がん	146	2,043人	1,574人	77.0%
肺がん	147	2,587人	2,534人	98.0%
乳がん	62	482人	229人	47.5%
子宮頸がん	66	484人	201人	41.5%

〔正社員以外〕

問3より 各事業所のがん検診対象者における受診率

検診の種類	事業所数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	48	535人	403人	75.3%
大腸がん	55	645人	387人	60.0%
肺がん	61	1,226人	1,142人	93.2%
乳がん	28	288人	78人	27.1%
子宮頸がん	27	320人	71人	22.2%

【経営組織別・従業員規模別の傾向】

<経営組織別（正社員）>

検診の種類	経営組織	事業所数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	個人経営	18	42人	42人	100.0%
	会社企業の法人	102	3,696人	2,452人	66.3%
	その他の法人	12	48人	37人	77.1%
大腸がん	個人経営	23	57人	54人	94.7%
	会社企業の法人	106	1,808人	1,434人	79.3%
	その他の法人	16	176人	84人	47.7%
肺がん	個人経営	24	61人	60人	98.4%
	会社企業の法人	102	2,249人	2,219人	98.7%
	その他の法人	20	275人	253人	92.0%
乳がん	個人経営	4	5人	5人	100.0%
	会社企業の法人	50	405人	158人	39.0%
	その他の法人	6	70人	64人	91.4%
子宮頸がん	個人経営	6	8人	8人	100.0%
	会社企業の法人	48	381人	128人	33.6%
	その他の法人	11	94人	64人	68.1%

<経営組織別（正社員以外）>

検診の種類	経営組織	事業所数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	個人経営	5	11人	11人	100.0%
	会社企業の法人	38	494人	362人	73.3%
	その他の法人	5	30人	30人	100.0%
大腸がん	個人経営	10	17人	16人	94.1%
	会社企業の法人	38	559人	338人	60.5%
	その他の法人	7	69人	33人	47.8%
肺がん	個人経営	10	17人	17人	100.0%
	会社企業の法人	40	998人	939人	94.1%
	その他の法人	11	211人	186人	88.2%
乳がん	個人経営	5	6人	6人	100.0%
	会社企業の法人	18	265人	61人	23.0%
	その他の法人	5	17人	11人	64.7%
子宮頸がん	個人経営	5	11人	8人	72.7%
	会社企業の法人	15	261人	53人	20.3%
	その他の法人	7	48人	10人	20.8%

<従業員規模別（正社員）>

検診の種類	従業員規模	事業所数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	10人未満	71	219人	200人	91.3%
	10～19人	23	130人	122人	93.9%
	20～49人	20	337人	278人	82.5%
	50人以上	18	3,101人	1,932人	62.3%
大腸がん	10人未満	77	235人	207人	88.1%
	10～19人	25	183人	164人	89.6%
	20～49人	22	370人	303人	81.9%
	50人以上	19	1,252人	897人	71.7%
肺がん	10人未満	82	261人	242人	92.7%
	10～19人	20	173人	170人	98.3%
	20～49人	24	438人	421人	96.1%
	50人以上	19	1,713人	1,699人	99.2%
乳がん	10人未満	25	44人	40人	90.9%
	10～19人	13	30人	28人	93.3%
	20～49人	12	56人	24人	42.9%
	50人以上	10	349人	134人	38.4%
子宮頸がん	10人未満	30	55人	44人	80.0%
	10～19人	13	27人	22人	81.5%
	20～49人	12	60人	22人	36.7%
	50人以上	9	339人	110人	32.5%

<従業員規模別（正社員以外）>

検診の種類	従業員規模	事業所数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	10人未満	15	25人	24人	96.0%
	10～19人	8	46人	40人	87.0%
	20～49人	11	94人	64人	68.1%
	50人以上	14	370人	275人	74.3%
大腸がん	10人未満	17	22人	20人	90.9%
	10～19人	11	44人	41人	93.2%
	20～49人	12	108人	66人	61.1%
	50人以上	14	470人	259人	55.1%
肺がん	10人未満	19	26人	25人	96.2%
	10～19人	11	46人	43人	93.5%
	20～49人	16	161人	124人	77.0%
	50人以上	15	993人	950人	95.7%
乳がん	10人未満	10	11人	11人	100.0%
	10～19人	3	7人	7人	100.0%
	20～49人	8	15人	8人	53.3%
	50人以上	5	252人	49人	19.4%
子宮頸がん	10人未満	8	9人	9人	100.0%
	10～19人	5	14人	10人	71.4%
	20～49人	8	44人	5人	11.4%
	50人以上	4	250人	44人	17.6%

イ. がん検診対象年齢・性別における受診率

※問1 40歳以上の男女（20歳以上の女性）の従業員数・受診者数双方に記載のあった事業所を集計対象とし、各人数の総和から算出した。なお、それぞれ無回答であった箇所は計算から除いた。

【全体の傾向】

がん検診対象年齢・性別における受診率は、正社員・正社員以外ともに40歳以上男性では「肺がん」が最も高くなっている。40歳以上女性では正社員・正社員以外ともに「肺がん」が最も高くなっている。

「乳がん」は正社員では8割台である一方で、正社員以外では3割台と受診率が低くなっている。「子宮頸がん」の受診率は、正社員・正社員以外ともに3割台と他のがんに比べて受診率が低い。

【正社員】

問3より がん検診対象年齢・性別における受診率

検診の種類	対象年齢・性別	事業所数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	40歳以上男性	141	2,218人	1,586人	71.5%
	40歳以上女性	97	795人	673人	84.7%
大腸がん	40歳以上男性	147	2,182人	1,885人	86.4%
	40歳以上女性	109	965人	805人	83.4%
肺がん	40歳以上男性	143	1,983人	2,002人	101.0%
	40歳以上女性	91	843人	862人	102.3%
乳がん	40歳以上女性	60	673人	549人	81.6%
子宮頸がん	20歳以上女性	66	2,127人	758人	35.6%

【正社員以外】

問3より がん検診対象年齢・性別における受診率

検診の種類	対象年齢・性別	事業所数	対象者数	受診者数	受診率
胃がん	40歳以上男性	30	675人	407人	60.3%
	40歳以上女性	41	2,513人	978人	38.9%
大腸がん	40歳以上男性	30	650人	521人	80.2%
	40歳以上女性	44	2,523人	1,262人	50.0%
肺がん	40歳以上男性	31	614人	544人	88.6%
	40歳以上女性	44	2,566人	1,404人	54.7%
乳がん	40歳以上女性	26	2,326人	841人	36.2%
子宮頸がん	20歳以上女性	29	2,498人	784人	31.4%

4 がん検診の周知

問4 貴事業所のがん検診の周知についてお答えください。

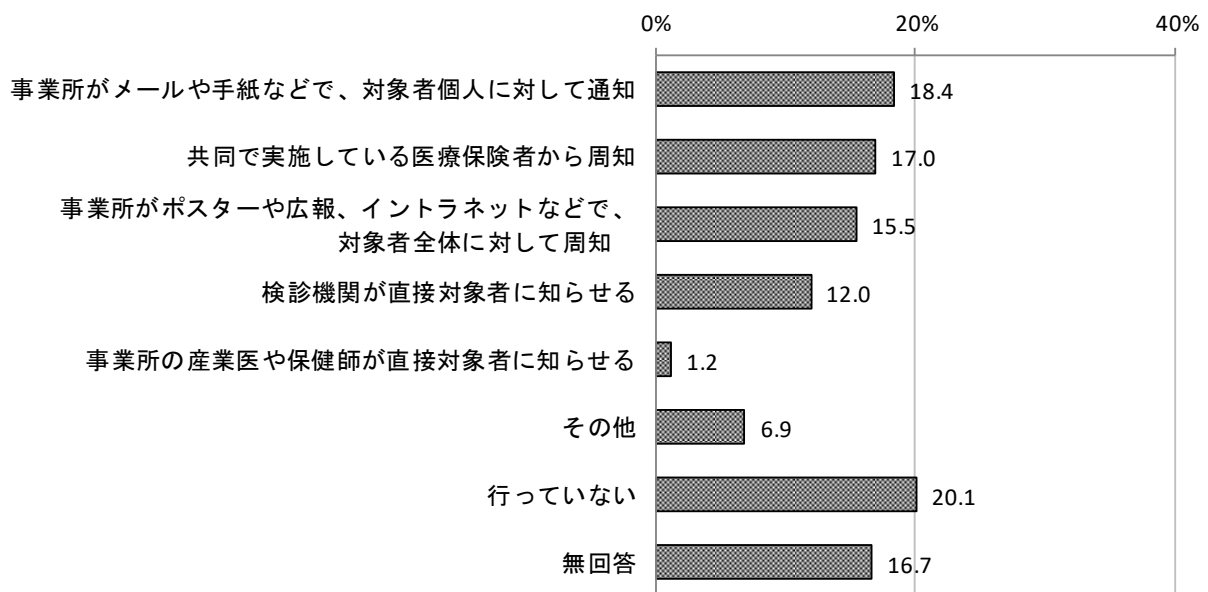
(1) がん検診の周知の方法

【全体の傾向】

がん検診の周知の方法を伺ったところ、「事業所がメールや手紙などで、対象者個人に対して通知」が18.4%で最も多く、次いで「共同で実施している医療保険者から周知」が17.0%などとなっている。「行っていない」は20.1%となっている。

問4 (1) がん検診の周知はどのように行っていますか（該当すべてに○）

(n=407)



【経営組織別の傾向】

経営組織別でみると、周知の方法は【会社企業の法人】【その他の法人】では「事業所がメールや手紙などで、対象者個人に対して通知」がそれぞれ22.5%、28.8%で最も高く、次いで「事業所がポスターや広報、イントラネットなどで、対象者全体に対して周知」がそれぞれ19.0%、21.2%となっている。【個人経営】では「検診機関が直接対象者に知らせる」が最も高くなっている。「行っていない」は、【個人経営】【会社企業の法人】で約2割となっている。

上段：件数、下段：構成比 (%)

	事業所数	体ト広事 になど業 対して、所 周知対象 者全者 がポ ス ター や ネ ッ ツ や	人紙事 に業 対所 して、 通メ 知ル 者 個 手	保業 に業 知所 ら直 せ業 る業 者医 の 産 業 医 や	か ら 周 知	共 同 で 実 施 し て	る 対 象 者 に 関 し て	検 診 機 関 が 直 接	そ の 他	行 っ て い な い	無 回 答
個人経営	94	3	3	2	14	18	9	19	28		
	100.0	3.2	3.2	2.1	14.9	19.1	9.6	20.2	29.8		
会社企業の法人	253	48	57	2	41	24	18	54	32		
	100.0	19.0	22.5	0.8	16.2	9.5	7.1	21.3	12.6		
その他の法人	52	11	15	1	10	7	1	8	6		
	100.0	21.2	28.8	1.9	19.2	13.5	1.9	15.4	11.5		

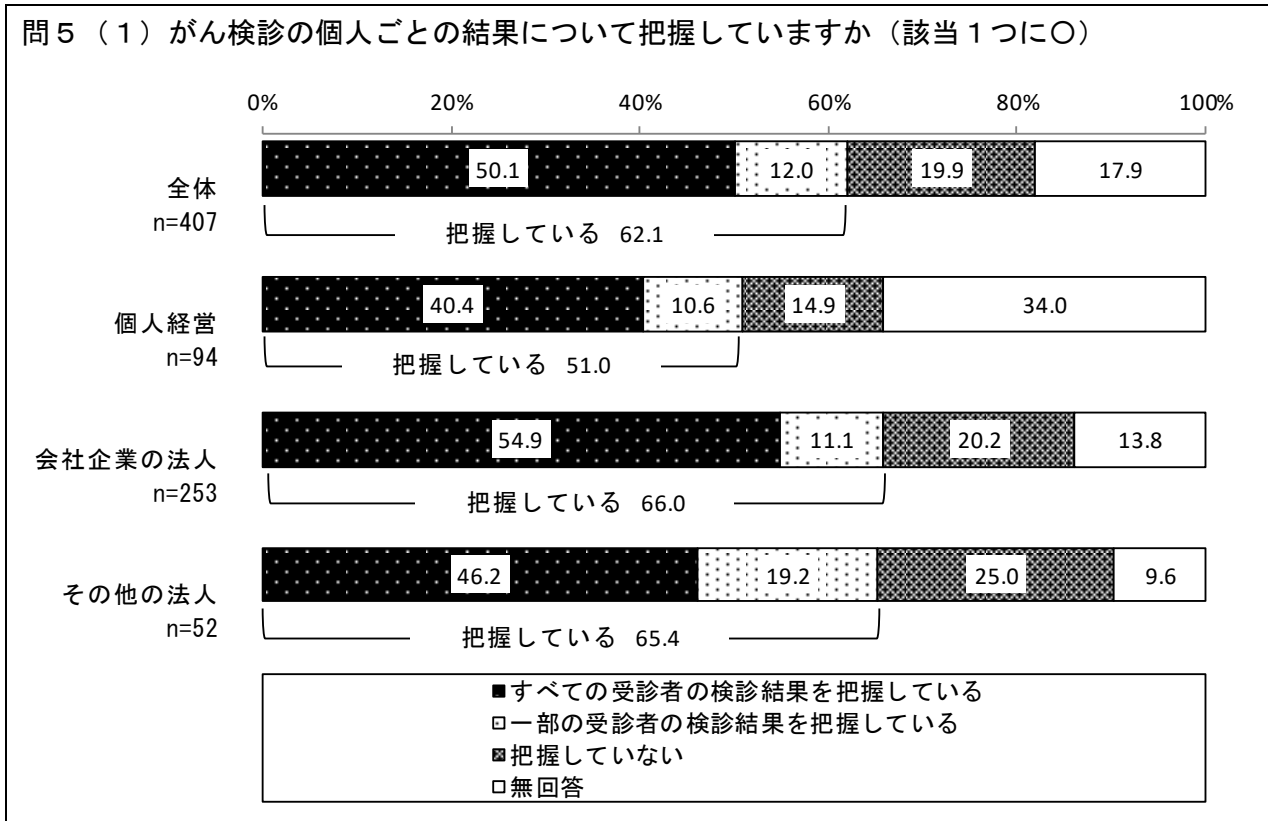
5 結果の把握状況

問5 貴事業所のがん検診一次検診結果の把握状況についてお答えください。

(1) 結果の把握状況

【全体の傾向】

がん検診の受診結果を<把握している>事業所は62.1%で、うち「すべての受診者の検診結果を把握している」は50.1%、「一部の受診者の検診結果を把握している」は12.0%となっている。



【経営組織別の傾向】

経営組織別で見ると、いずれの経営組織でも「すべての受診者の検診結果を把握している」が最も多く、【会社企業の法人】で54.9%と半数以上となっている。

(2) 結果の把握方法

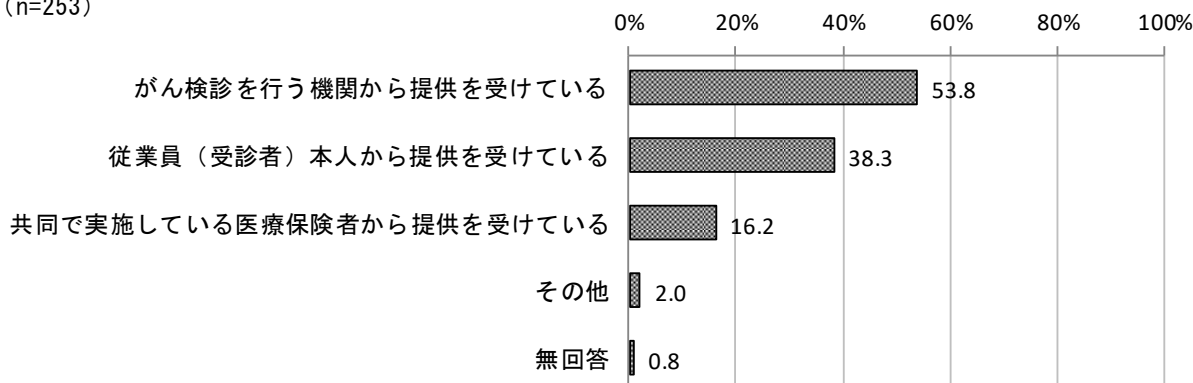
【全体の傾向】

がん検診の受診結果の把握方法は、「がん検診を行う機関から提供を受けている」が53.8%で最も多く、次いで「従業員（受診者）本人から提供を受けている」が38.3%となっている。

問5（1）で「すべての受診者の検診結果を把握している」、「一部の受診者の検診結果を把握している」に○をつけた方

問5（2）がん検診の個人ごとの結果はどのように把握していますか（該当すべてに○）

(n=253)



(3) 結果を把握していない理由

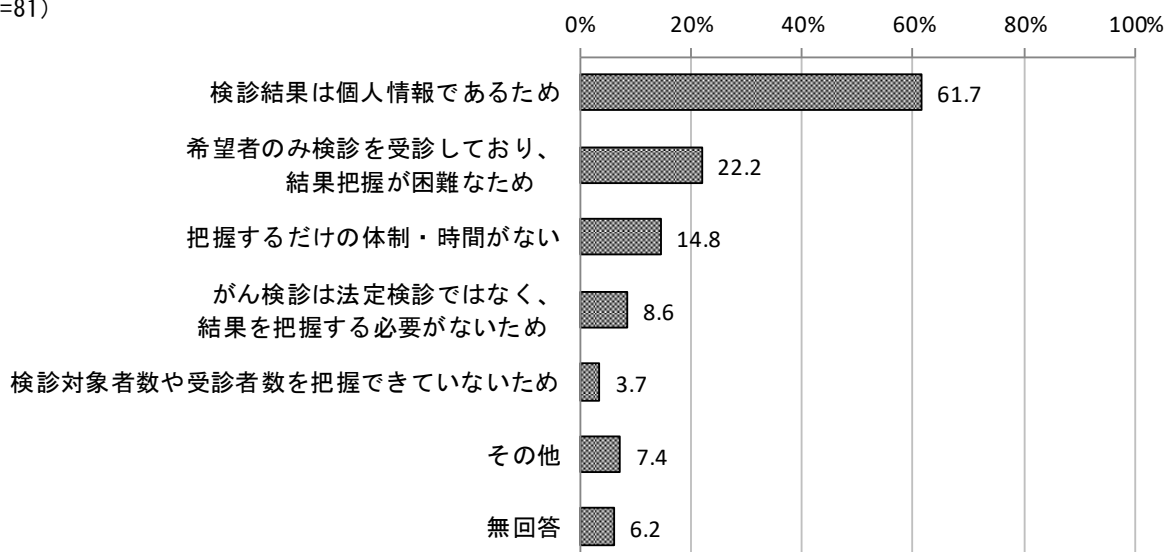
【全体の傾向】

がん検診の受診結果を把握していない理由は、「検診結果は個人情報であるため」が61.7%で最も多く、次いで「希望者のみ検診を受診しており、結果把握が困難なため」が22.2%となっている。

問5（1）で「把握していない」に○をつけた方

問5（3）がん検診の個人ごとの結果を把握していない理由を教えてください（該当すべてに○）

(n=81)



6 がん検診の要精検者の把握状況

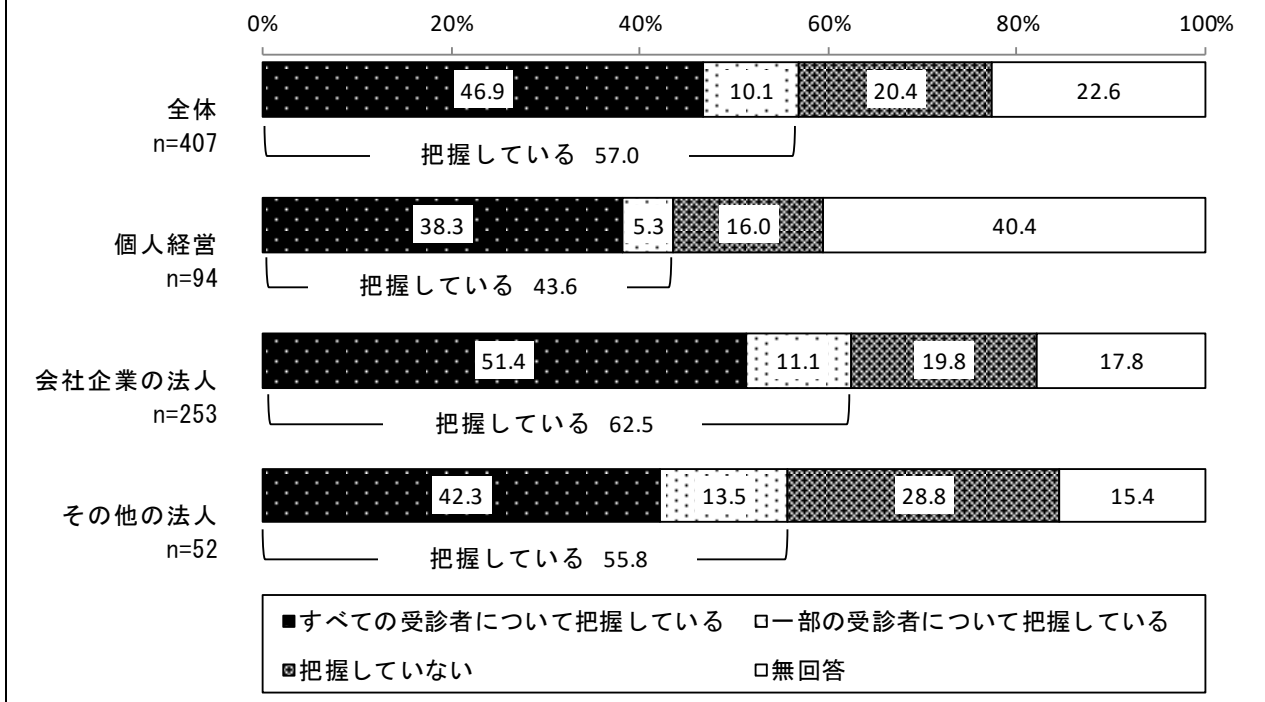
問6 貴事業所のがん検診において、精密検査が必要となった方（要精検者）の把握状況についてお答えください。

(1) 精密検査が必要となった方（要精検者）の把握状況

【全体の傾向】

がん検診の要精検者をく把握している>事業所は57.0%で、うち「すべての受診者を把握している」は46.9%、「一部の受診者について把握している」は10.1%となっている。

問6 (1) がん検診の要精検者を把握していますか（該当1つに○）



【経営組織別の傾向】

経営組織別でみると、いずれの経営組織でも「すべての受診者を把握している」が最も多く、【会社企業の法人】で51.4%と半数以上となっている。

(2) 要精検者の把握方法

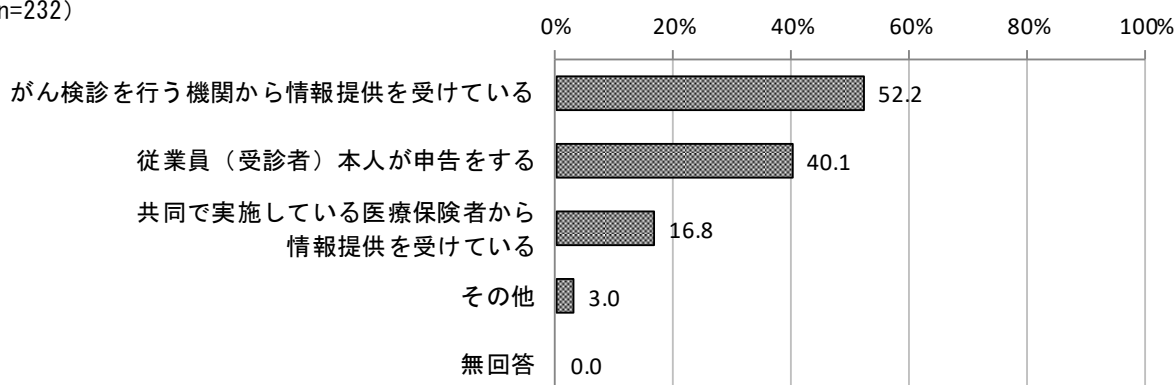
【全体の傾向】

がん検診の要精検者の把握方法は、「がん検診を行う機関から提供を受けている」が52.2%で最も多く、次いで「従業員（受診者）本人が申告する」が40.1%となっている。

問6(1)で「すべての受診者について把握している」、「一部の受診者について把握している」に○をつけた方

問6(2) がん検診の要精検者をどのように把握していますか（該当すべてに○）

(n=232)



(3) 要精検者を把握していない理由

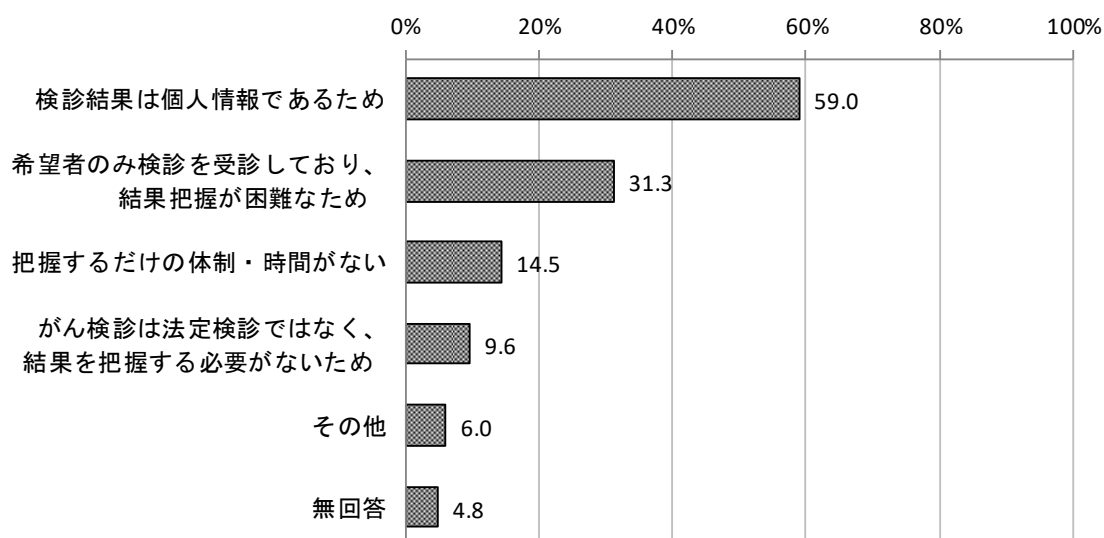
【全体の傾向】

がん検診の要精検者を把握していない理由は、「検診結果は個人情報であるため」が59.0%で最も多く、次いで「希望者のみ検診を受診しており、結果把握が困難なため」が31.3%となっている。

問6(1)で「把握していない」に○をつけた方

問6(3) がん検診の要精検者を把握していない理由をお答えください（該当すべてに○）

(n=83)



7 要精検者への受診を促す取組

問7 貴事業所においてがん検診の要精検者に対して受診を促す取組の状況についてお答えください。

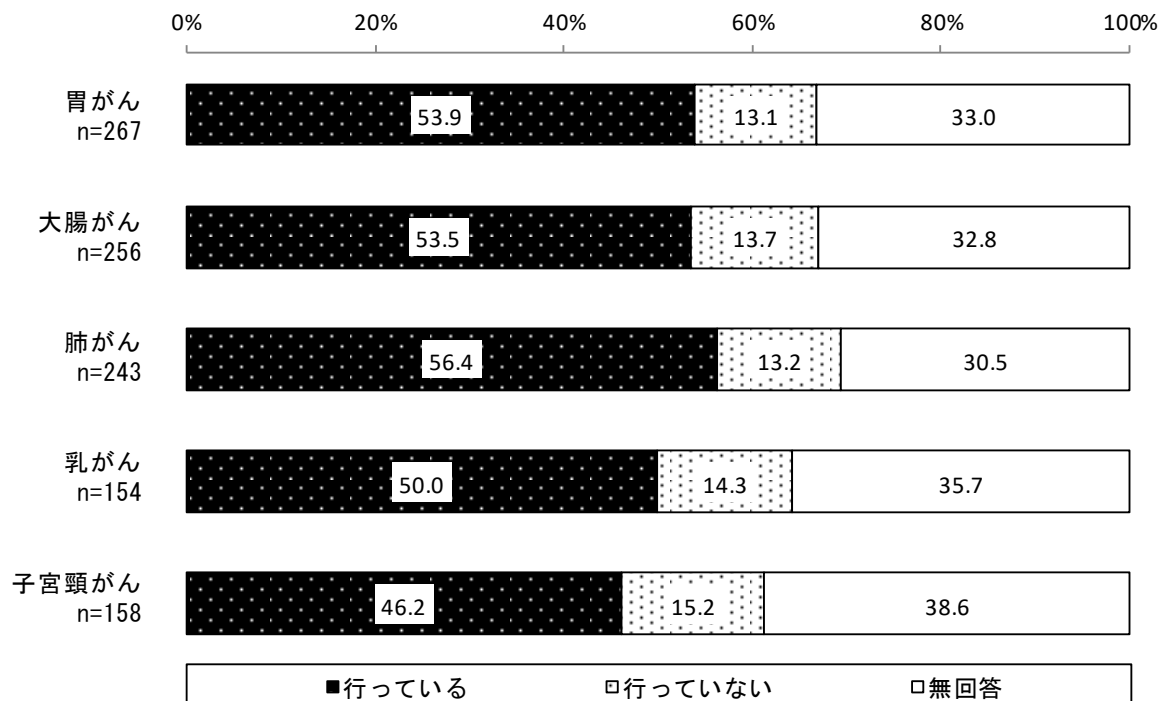
(1) 要精検者に対して受診を促す取組の実施の有無

【全体の傾向】

がん検診の要精検者に対して受診を促す取組を行っているか伺ったところ、「行っている」は[胃がん][大腸がん][肺がん]は正社員・正社員以外ともに5割台となっている。また、正社員では[乳がん]が50.0%、[子宮頸がん]が46.2%、正社員以外では[乳がん][子宮頸がん]のいずれも48.4%となっている。

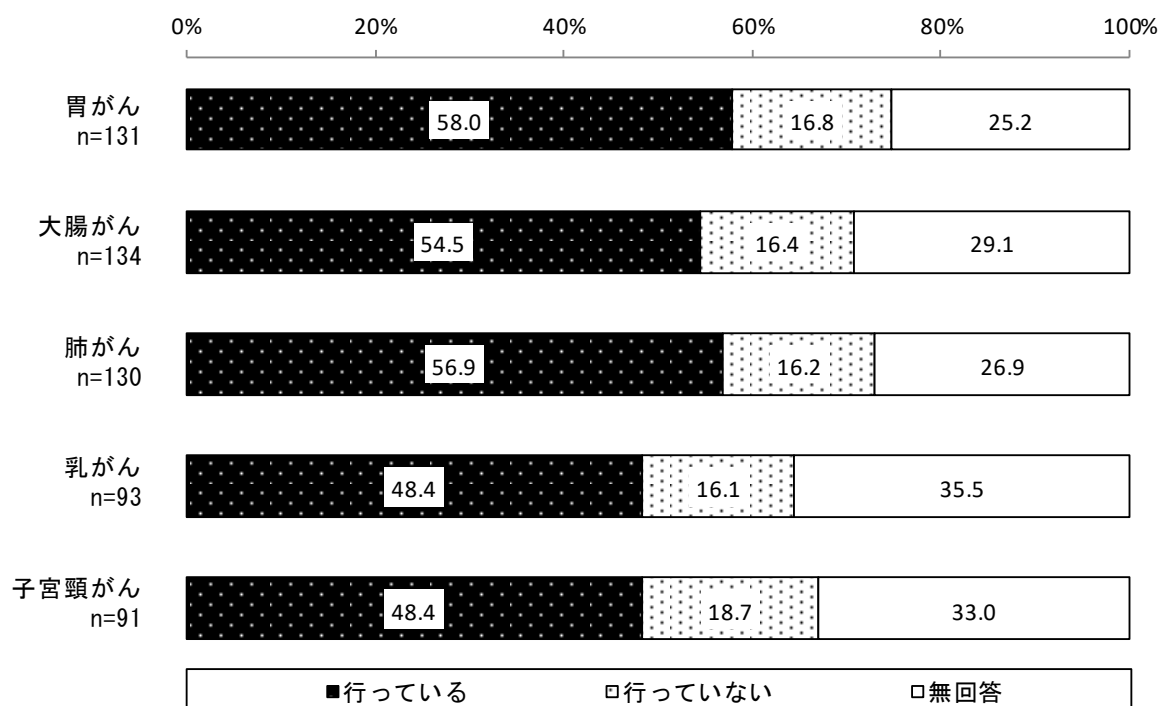
【正社員】

問7 (1) 要精検者に対し、検査結果通知のほかに精密検査の受診を促す取組を行っていますか。(各がんについて、該当1つに○)



[正社員以外]

問7 (1) 要精検者に対し、検査結果通知のほかに精密検査の受診を促す取組を行っていますか。(各がんについて、該当1つに○)



(2) 精密検査受診の勧奨方法

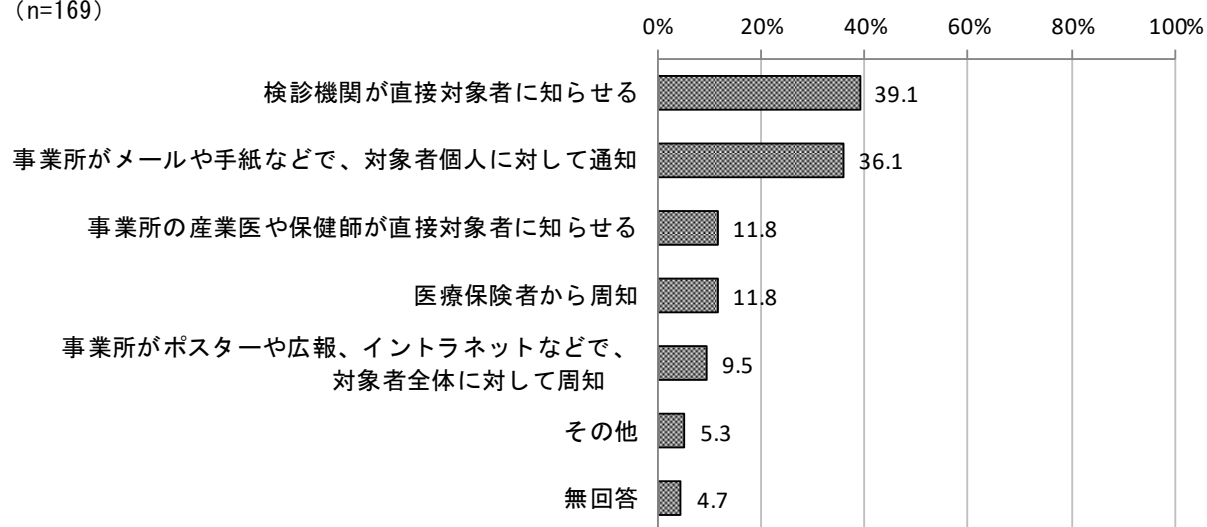
【全体の傾向】

実施している受診勧奨方法は、「検診機関が直接対象者に知らせる」が39.1%で最も多く、次いで「事業所がメールや手紙などで、対象者個人に対して通知」が36.1%などとなっている。

問7(1) のがん検診のいずれかで「行っている」に○をつけた方

問7(2) 要精検者への精密検査の受診勧奨の方法を教えてください(該当すべてに○)

(n=169)



8 がん検診の受診者を増やす取組

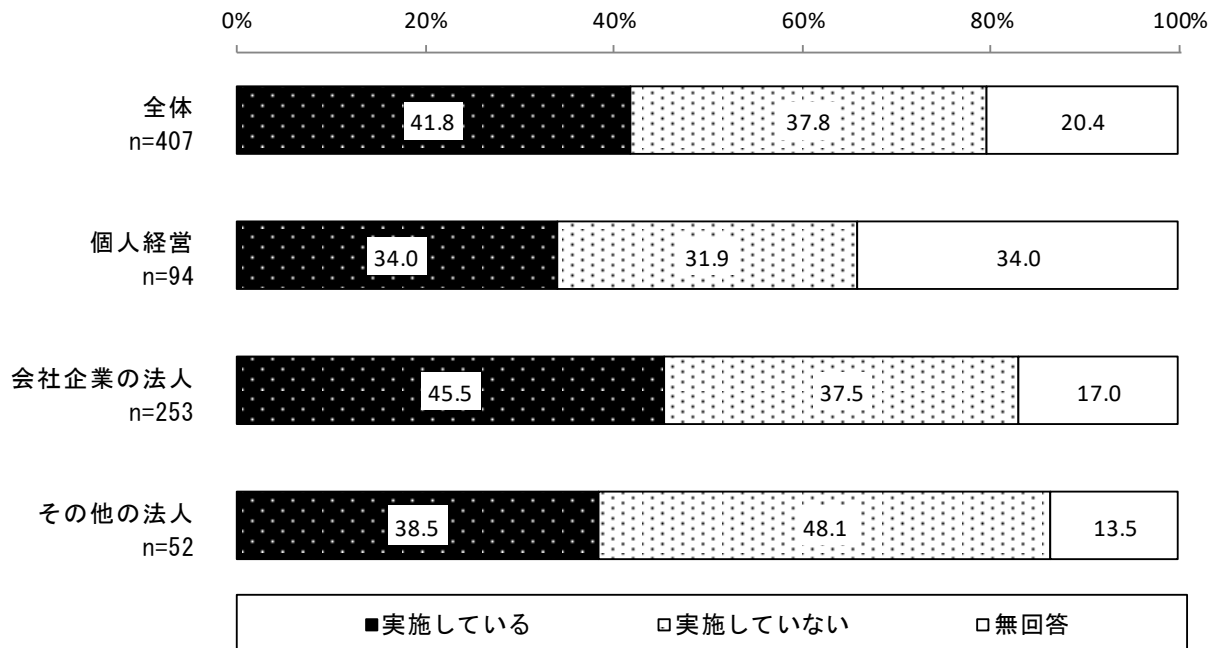
問8 貴事業所で実施しているがん検診の受診者を増やす取組についてお答えください。

(1) がん検診の受診者を増やす取組の実施状況

【全体の傾向】

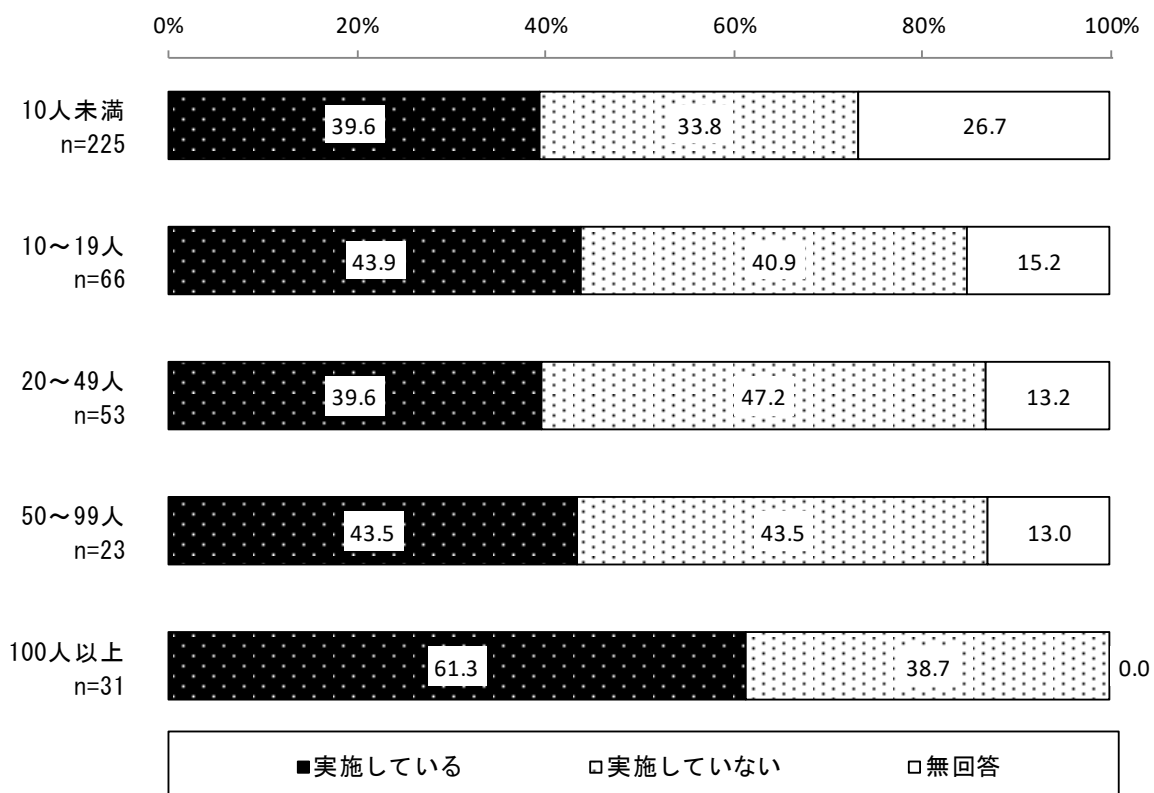
がん検診の受診者を増やす取組を「実施している」事業所は 41.8%、「実施していない」は 37.8%となっている。

問8 (1) がん検診の受診者を増やす取組を実施していますか (該当1つに○)



【経営組織別の傾向】

経営組織別で見ると、「実施している」は【個人経営】【会社企業の法人】で「実施していない」を上回っている。



【従業員規模別の傾向】

従業員規模別で見ると、「実施している」は【100人以上】で61.3%、100人未満の事業所では4割前後となっている。

(2) がん検診の受診者を増やす取組方法

【全体の傾向】

実施しているがん検診の受診者を増やす取組は「受診費用の補助」が 70.0%で最も多く、次いで「受診時間を就労扱いとするなど、がん検診を受けやすい勤務環境づくり」が 42.9%、「上司から部下への受診勧奨など、職場内でのコミュニケーションによる受診勧奨」が 24.1%などとなっている。

また、最も効果があると思われるものにおいても「受診費用の補助」が 31.8%で最も多くなっている。

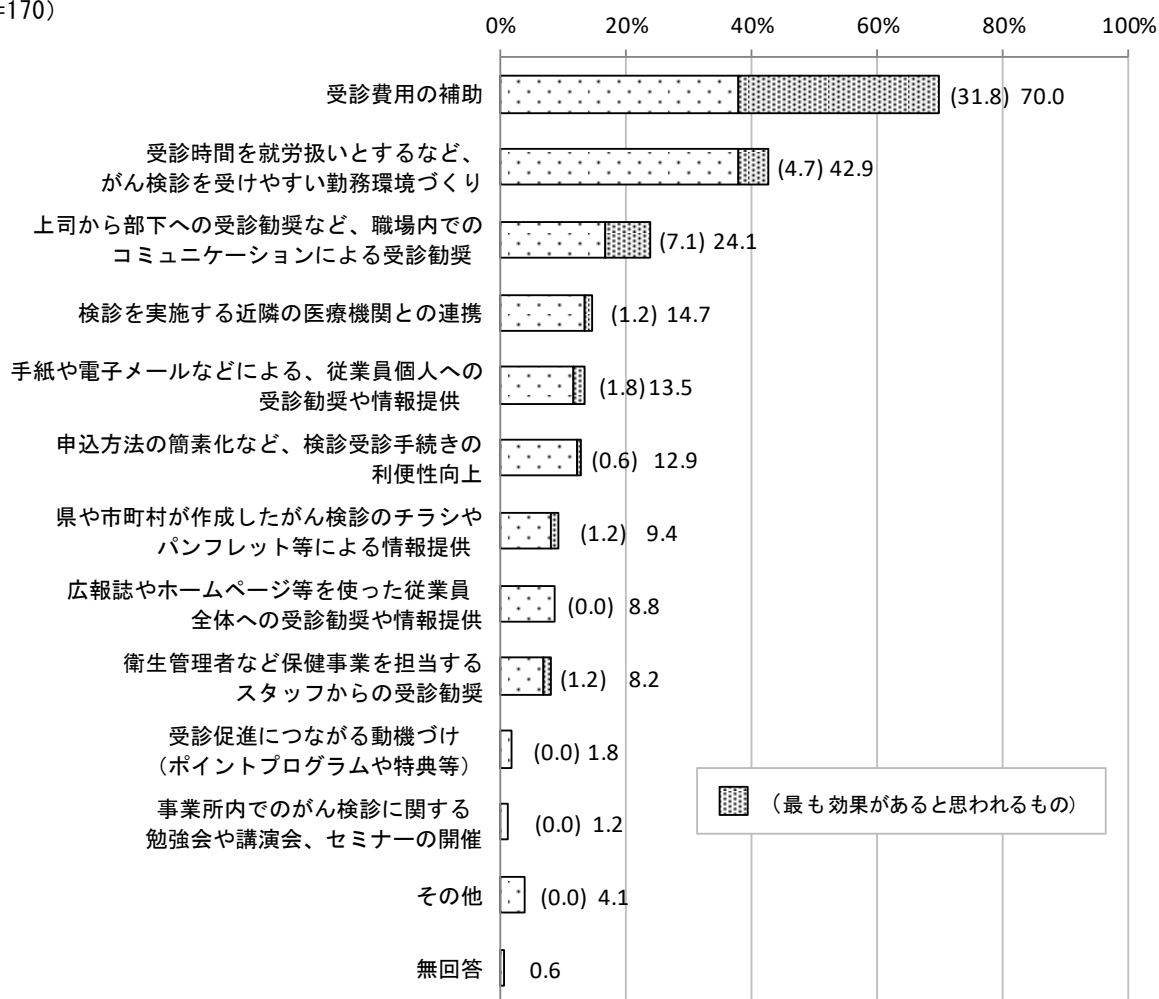
問 8 (1) で「実施している」に○をつけた方

問 8 (2) 実施しているがん検診の受診者を増やす取組について教えてください。

(該当すべてに○)

そのうち最も効果があると思われるものに1つ◎をつけてください

(n=170)



9 がん患者への支援の取組

(1) がん患者への支援の取組

【全体の傾向】

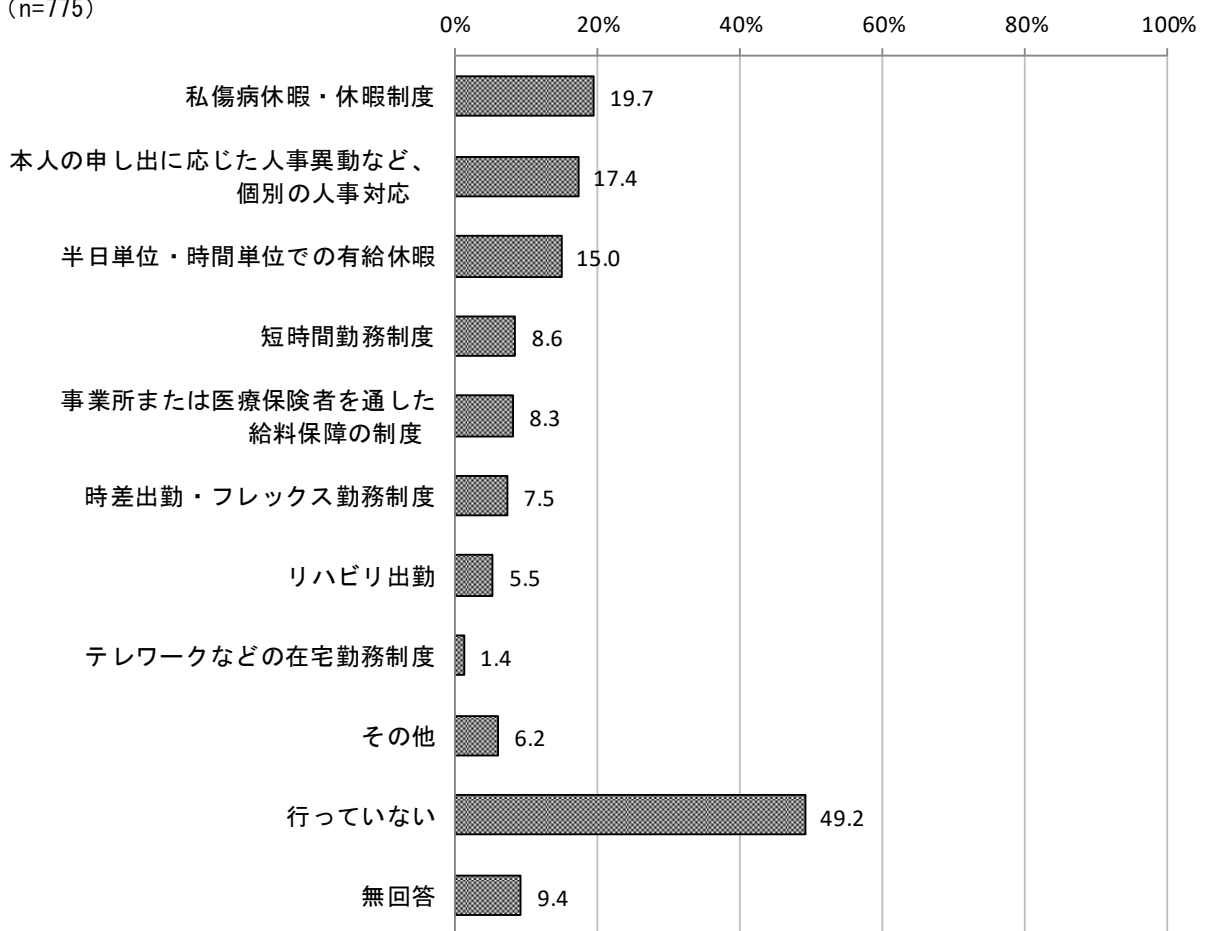
がん患者への支援の取組について、＜何らかの取組を行っている＞事業所は41.4%で、「私傷病休暇・休暇制度」が19.7%で最も多く、次いで「本人の申し出に応じた人事異動など、個別の人事対応」が17.4%、「半日単位・時間単位での有給休暇」が15.0%などとなっている。

「行っていない」は49.2%となっている。

問9 貴事業所のがん患者への支援の取組についてお答えください。

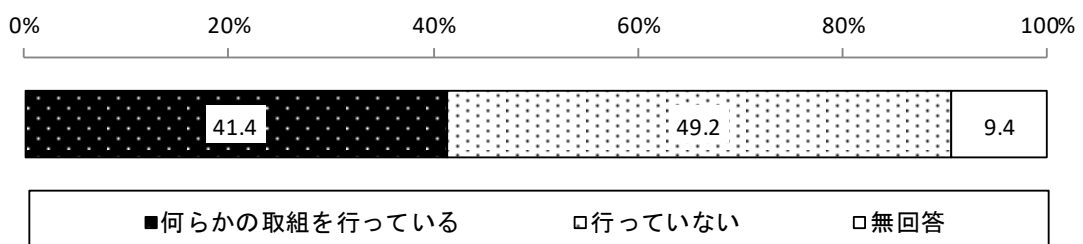
(1) 貴事業所のがん患者への支援の取組についてお答えください（該当すべてに○）

(n=775)



問9 (1) より がん患者への支援の取組の有無※

(n=775)



※＜何らかの取組を行っている＞は、問9 (1) において「私傷病休暇・休暇制度」から「その他」に1つ以上の選択があった事業所数より算出。

【経営組織別・従業員規模別の傾向】

<経営組織別>

上段：件数、下段：構成比（%）

	事業所数	何らかの取組みを行っている	制度									行っていない	無回答
			私傷病休暇・休暇制度	本人の申し出に応じた人事異動など、個別の人事対応	給休日単位・時間単位での有給休暇	短時間勤務制度	事業所または医療保険者を通じた給料保障の制度	時差出勤・フレックス勤務制度	リハビリ出勤	テレワークなどの在宅勤務制度	その他		
個人経営	222 100.0	44 19.8	13 5.9	9 4.1	5 2.3	6 2.7	7 3.2	7 3.2	4 1.8	-	14 6.3	140 63.1	38 17.1
会社企業の法人	416 100.0	214 51.4	104 25.0	93 22.4	76 18.3	43 10.3	39 9.4	40 9.6	30 7.2	9 2.2	29 7.0	180 43.3	22 5.3
その他の法人	117 100.0	54 46.2	31 26.5	32 27.4	32 27.4	15 12.8	14 12.0	11 9.4	7 6.0	2 1.7	3 2.6	51 43.6	12 10.3

経営組織別にみると、【個人経営】では「行っていない」が63.1%で6割前半となっている。【会社企業の法人】【その他の法人】では「行っていない」は4割前半で、【会社企業の法人】で「私傷病休暇・休暇制度」、「本人の申し出に応じた人事異動など、個別の人事対応」がそれぞれ25.0%、22.4%、【その他の法人】で「本人の申し出に応じた人事異動など、個別の人事対応」「半日単位・時間単位での有給休暇」が同率で27.4%、「私傷病休暇・休暇制度」が26.5%となっている。

<従業員規模別>

上段：件数、下段：構成比（%）

	事業所数	何らかの取組みを行っている	制度									行っていない	無回答
			私傷病休暇・休暇制度	本人の申し出に応じた人事異動など、個別の人事対応	給休日単位・時間単位での有給休暇	短時間勤務制度	事業所または医療保険者を通じた給料保障の制度	時差出勤・フレックス勤務制度	リハビリ出勤	テレワークなどの在宅勤務制度	その他		
10人未満	476 100.0	145 30.5	51 10.7	41 8.6	36 7.6	25 5.3	24 5.0	24 5.0	19 4.0	8 1.7	35 7.4	274 57.6	57 12.0
10～19人	98 100.0	55 56.1	30 30.6	25 25.5	23 23.5	14 14.3	11 11.2	14 14.3	7 7.1	1 1.0	3 3.1	37 37.8	6 6.1
20～49人	94 100.0	52 55.3	25 26.6	30 31.9	22 23.4	12 12.8	12 12.8	5 5.3	6 6.4	1 1.1	5 5.3	37 39.4	5 5.3
50人以上	83 100.0	63 75.9	45 54.2	38 45.8	33 39.8	16 19.3	17 20.5	14 16.9	1 1.2	1 1.2	3 3.6	20 24.1	-

従業員規模別にみると、【10人未満】では「行っていない」が57.6%で半数以上となっている。【10～19人】【20～49人】では「行っていない」は3割台、【50人以上】で24.1%と2割台となっている。【10人未満】【10～19人】【50人以上】では「私傷病休暇・休暇制度」が、【20～49人】では「本人の申し出に応じた人事異動など、個別の人事対応」が最も多くなっている。

10 県や市町村への要望

(1) 県や市町村への要望

【全体の傾向】

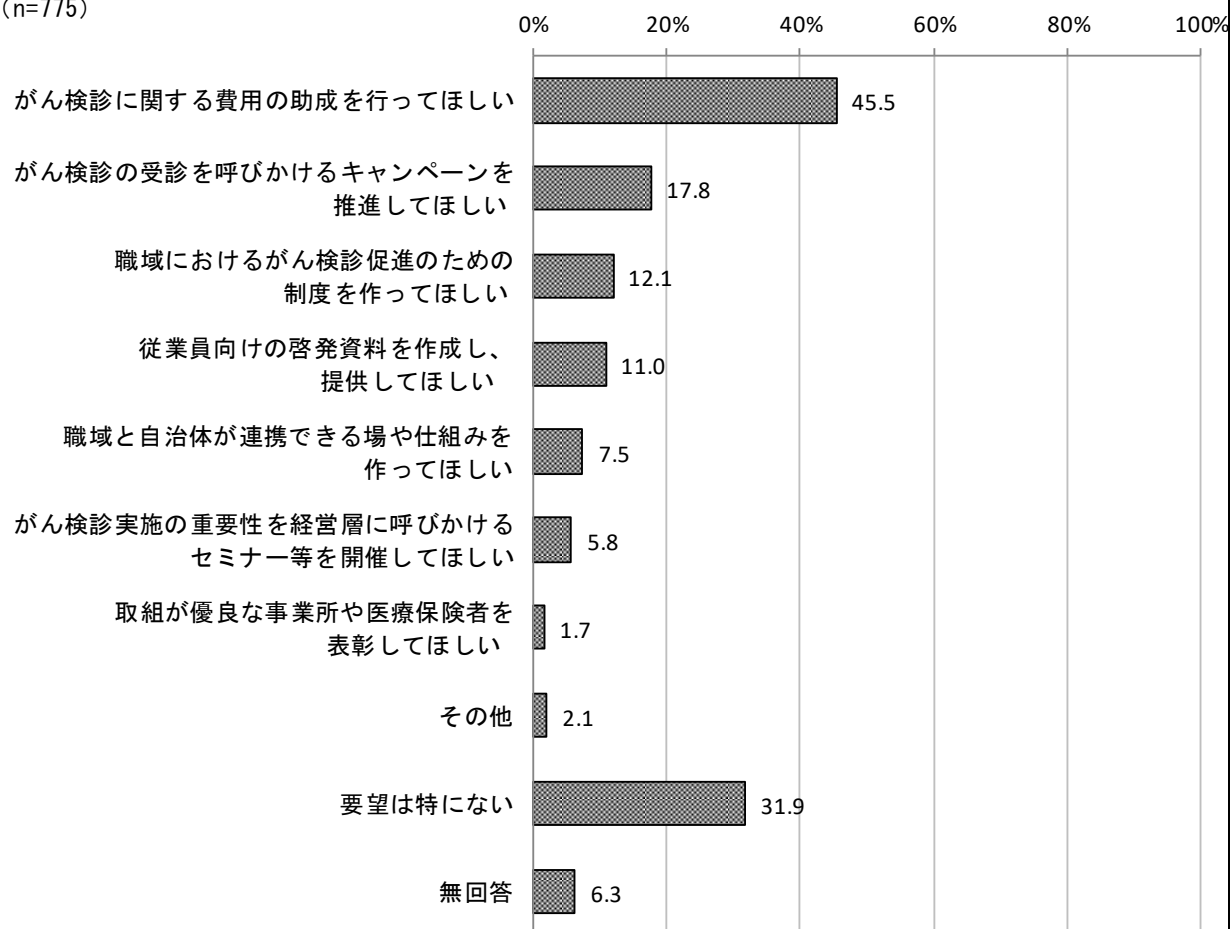
がん検診に関する県や市町村への要望は、「がん検診に関する費用の助成を行ってほしい」が45.5%で最も多く、次いで「がん検診の受診を呼びかけるキャンペーンを推進してほしい」が17.8%、「職域におけるがん検診促進のための制度を作ってほしい」が12.1%などとなっている。

「要望はとくにない」は31.9%となっている。

問10 がん検診に関する県や市町村に対する要望についてお答えください。

(1) がん検診に関する県や市町村に対する要望についてお答えください（該当すべてに○）

(n=775)



11 埼玉県のがん検診受診率

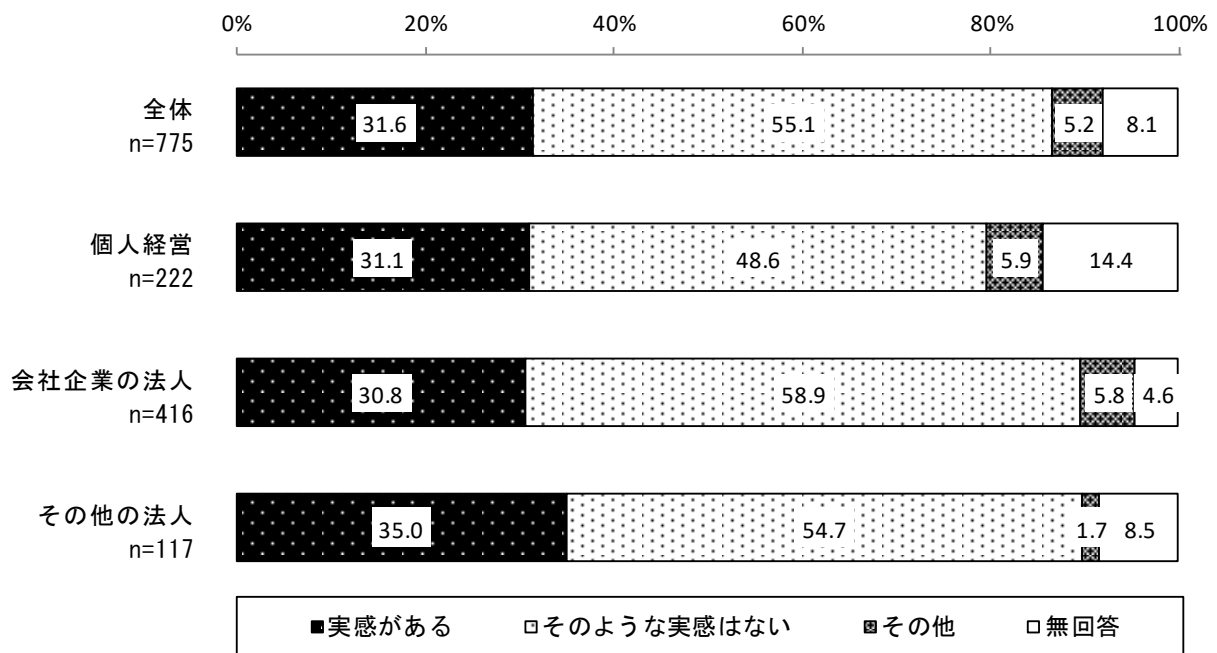
問 11 埼玉県のがん検診受診率についてお答えください。

(1) 埼玉県のがん検診受診率について

【全体の傾向】

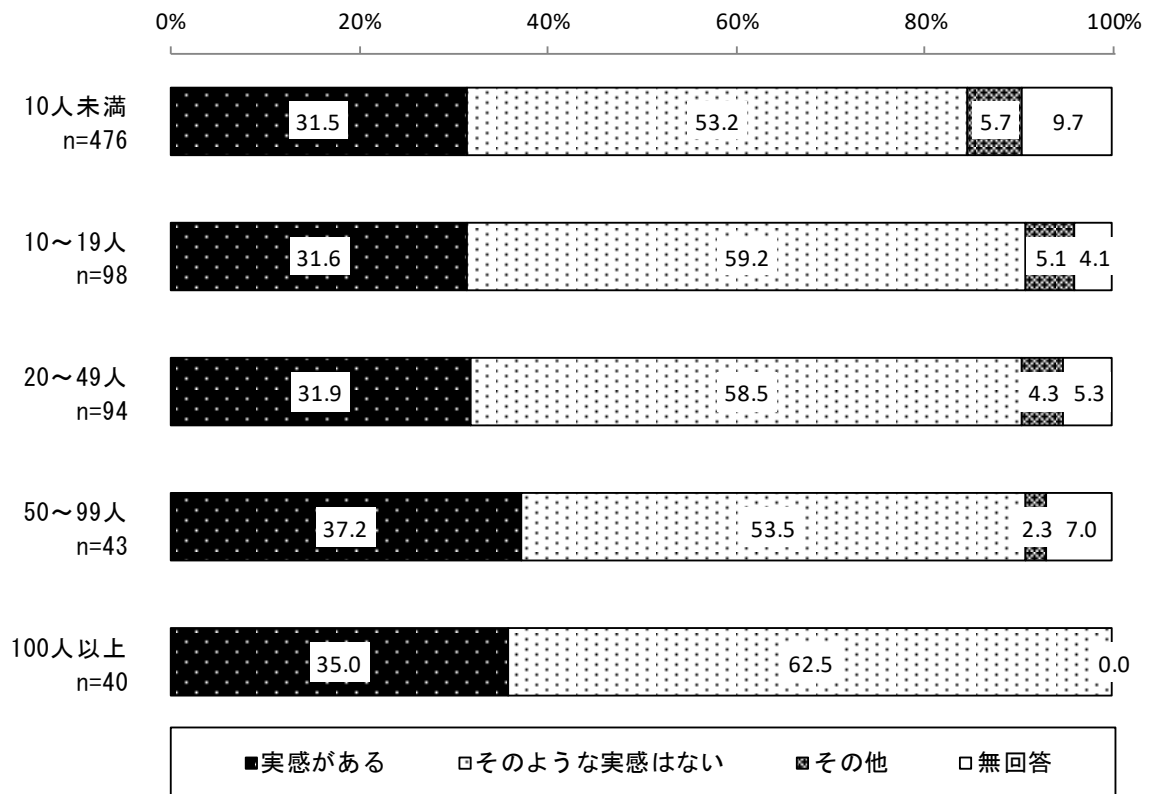
埼玉県のがん検診受診率は全国平均を下回っていること、特に40歳代男性が低い傾向にあることについて「実感がある」事業所は31.6%となっている。「そのような実感はない」が55.1%と半数以上となっている。

問 11 (1) 埼玉県のがん検診受診率は全国平均を下回っています。特に40歳代男性が低い傾向にあります。このことについてどのように感じるかお答えください。(該当1つに○)



【経営組織別の傾向】

経営組織別でみると、すべての経営組織で「実感がある」は3割台となっている。



【従業員規模別の傾向】

従業員規模別でみると、「実感がある」はすべての従業員規模で3割台となっている。

(2) 埼玉県で40歳代男性のがん検診率が低い理由

【全体の傾向】

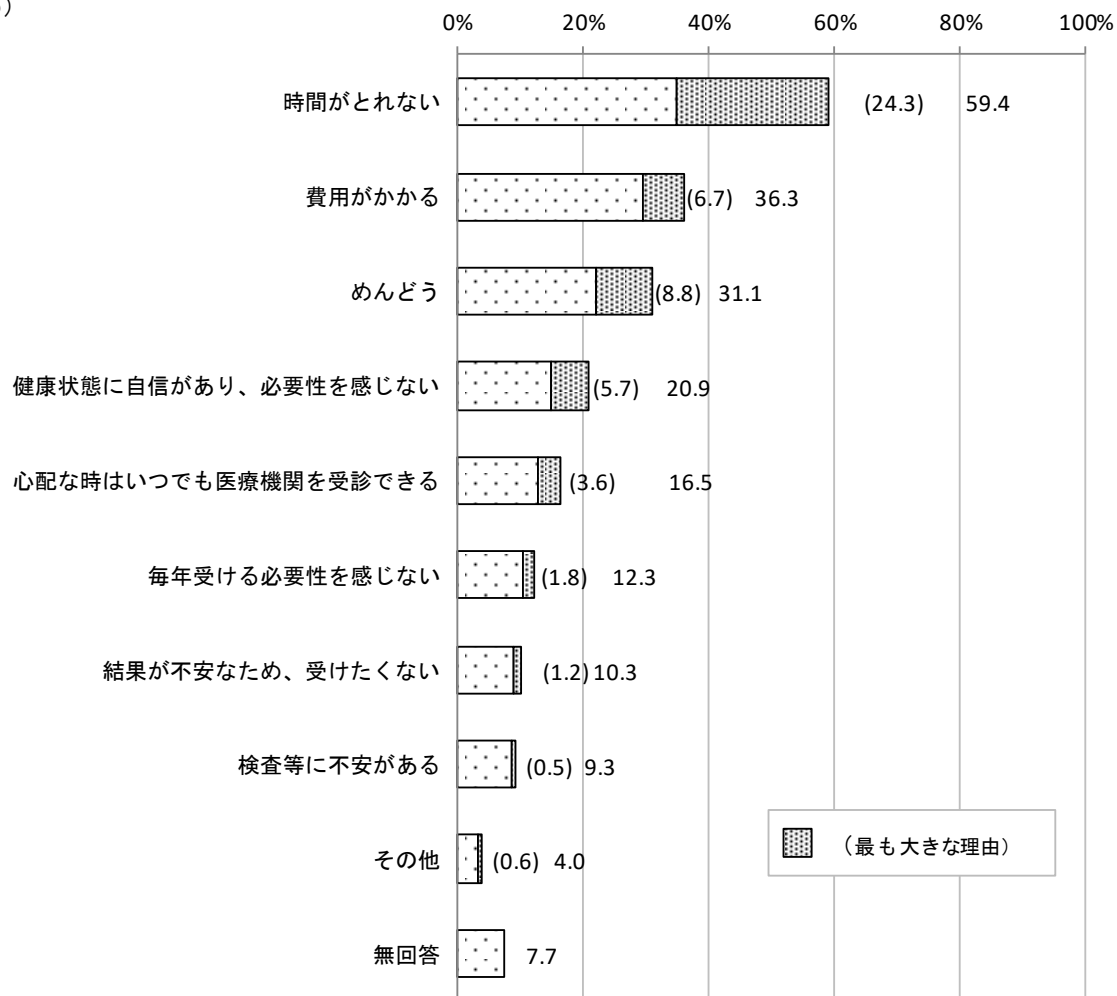
埼玉県で40歳代男性のがん検診率が低い理由は、「時間がとれない」が59.4%で最も多く、次いで、「費用がかかる」が36.3%、「めんどろ」が31.1%などとなっている。

問11(2) 埼玉県で40歳代男性のがん検診受診率が低い理由についてお答えください。

(該当すべてに○)

そのうち最も大きな理由と思われるものに1つ◎をつけてください。

(n=775)



12 「その他」の欄の記述集計

(1) その他記述集計表

(集計にあたって) 同じ記載内容に該当するものは、同一項目として件数カウントした。

1) 事業所の概要

ア) 加入している医療保険の種類

その他の回答	件数
私学共済	6
未加入	2
社会保険	2
共済制度	2
該当なし、なし	2
日本郵政共済組合	1
市町村共済組合(退職者)	1
パートのため、各個人が加入している	1
埼玉県後期高齢者医療広域連合	1
後期高齢者医療	1

2) がん検診の実施状況

【問2 貴保険者のがん検診の実施状況についてお答えください。】

ア) 検診を受診できる範囲について(問2(1))

その他の回答	件数
事業主の妻	2
正社員の妻のみ	1
社会保険加入者	1
社会保険加入の従業員全員	1
協会けんぽに加入している職員	1
パートの社会保険対象者。	1
健保加入のパートアルバイト	1
専従者	1
出向(受)者	1
希望者 マーカー検査のみ	1
協会けんぽのがん検診対象者	1
組合健保に加入している35歳以上の者は人間ドック時にオプションで受診可能	1
健保の成人病健診を受診(がん健診としては受診していない)	1
家内とパートの従業員は市から来る成人検診を受けていると思います	1
個人経営 夫 手伝い 妻←午前中は他へパート午後手伝い	1
個人経営なので夫婦だけ従事	1
女性の乳がん・子宮頸がん検診は隔年実施、一般検診時に	1

イ) (実施していないがん検診について) がん検診を実施していない理由 (問2 (6) 正社員)

その他の回答	件数
(乳がん、子宮頸がん検診) 対象者 (女性) がいないため	14
本人が希望しないため	2
1人 消防団員 1人 20歳代は何も受診していません。	1
従業員は経営者本人のみ 自分自身で検診	1
そろそろやった方が良いと思いつつ、まだやってない。	1
会社で行える基本の健康診断にオプションとしてがん検査を追加できる。自己負担。	1
健保の「一般検診」を活用している 追加検診は個人で対応	1
健診のオプション項目なので自己の意志にまかせている	1
本人受診希望により実施	1
健診時に個人的に、申し出があれば、別途対応している。	1
オプション検査として自己負担	1
(肺がん検診) 定期健康診断のX線検査は実施	1
健保の項目にないから。個人で希望する場合はオプション扱い	1
検診をしているクリニックでは、乳がん検診をしていないから。	1
希望者のみ自己負担で行う。	1
2年に1回のため	1
数年ごとに実施	1

ウ) (実施していないがん検診について) がん検診を実施していない理由 (問2 (6) 正社員以外)

その他の回答	件数
(乳がん、子宮頸がん検診) 対象者 (女性) がいないため	3
健康保険組合にて決定するため理由不明	2
該当者なし	2
補助金の対象の年齢でない	1
パートのため	1
個人事業主の為、一般検診以外は本人の希望により実施 (自己負担)	1
会社で行える基本の健康診断にオプションとしてがん検査を追加できる。自己負担。	1
健保の「一般検診」を活用している 追加検診は個人で対応	1
本人受診希望により実施	2
健診時に個人的に、申し出があれば、別途対応している。	1
オプション検査として自己負担	1
(肺がん検診) 定期健康診断のX線検査は実施	1
年に一度の定期健康診断提携病院での対応がない為。契約未締結の健診になっています。	1

エ) (実施していないがん検診について) 他の機会でのがん検診受診を促す取り組み (問2 (7))

その他の回答	件数
協会けんぽ 生活習慣病予防健診のご案内。	1

消防団で検診有り・受診している。	1
凸版印刷より契約医療機関での受診を促している。	1
個人各家庭にまかせている。相談があれば都度対応	1
別の病院で行なっている。	1
検診時にて各自オプションによる申し込み。	1
※大腸がんは、人間ドック受診者のみ（便潜血検査）肺がんは、健康診断・人間ドック受診者（X線検査）です。胃がんは、人間ドック受診者のみ	1
補助金制度あり、個人に受診の可否を任せている	1
健康保険組合の会報で促している	1

2) 各がん検診の実施方法及び実施状況

【問3 貴事業所で実施した各がん検診の検査実施方法及び実施状況についてお答えください。】

ア) 胃がんの検査方法（問3. 1（1）正社員）

その他の回答	件数
「1 胃X線検査」か「2 胃内視鏡検査」か選択。「2 胃内視鏡検査」はプラス5千円ほど。	1
血清PGI、PGII測定および血清抗H、pylorilgG（HP）抗体測定	1
把握していない	1
バリウムor胃カメラです。「2 胃内視鏡検査」、「4 ヘリコバクターピロリ菌抗体検査」は、希望者の実費	1
成人病健診の範囲で	1

イ) 胃がんの検査方法（問3. 1（1）正社員以外）

その他の回答	件数
血清PGI、PGII測定および血清抗H、pylorilgG（HP）抗体測定	1
把握していない	1
成人病健診の範囲で	1

（「1 胃X線検査」または「2 胃内視鏡検査」について）

ウ) 受診対象者の決め方（問3. 1（2）正社員）

その他の回答	件数
全員	14
特に対象年齢は定めていない	3
30歳以上	3
希望者	3
特になし	3
35歳以下は、3年に1度	1
※50歳・55歳・60歳	1
毎年実施	1
協会けんぽで決定	1

女性は希望者	1
40歳以上と希望制（年齢関係なく）	1
35歳と40歳以上の偶数年。経営職は毎年	1
ペプシノゲンの結果による	1
40、45、50、55歳	1
協会けんぽの加入者のみ	1
体調が悪いと感じたら	1
不明	1

エ) 受診対象者の決め方（問3. 1（2）正社員以外）

その他の回答	件数
希望者	4
特に対象年齢は定めていない	3
全員	2
30歳以上	2
35歳と40歳以上の偶数年。フルタイム。	1
40、45、50、55歳	1
40歳以上と希望制	1
※50歳・55歳・60歳	1
会社の健康保険に加入している従業員。	1
協会健保加入者全員	1
社会保険加入者のみ	1
社会保険対象者	1
週30時間以上勤務している従業員	1
女性は希望者	1
派遣社員以外	1
特になし	1
不明	1

オ) 大腸がんの検査方法（問3. 2（1）正社員）

その他の回答	件数
把握していない	1

カ) 大腸がんの検査方法（問3. 2（1）正社員以外）

その他の回答	件数
把握していない	1

（「1 便潜血検査」について）

キ) 受診対象者の決め方（問3. 2（2）正社員）

その他の回答	件数
全員	20
希望者	11

特になし	5
30 歳以上	5
35 歳以上の社会保険適用者	2
特に対象年齢は定めていない	2
商工会での成人病検診は、便潜血検査のみ。	1
35 歳以下は、3 年に 1 度	1
協会けんぽ加入者の希望者	1
医師にすすめられて	1
45 歳以上の希望者	1
40 歳以上と希望制	1
35 歳以下は 3 年に 1 度	1
35・38 歳、40 歳以上を除く希望者	1
30 歳以上任意 35 歳、40 歳以上	1
18 歳以上	1
不明	1

ク) 受診対象者の決め方 (問 3. 2 (2) 正社員以外)

その他の回答	件数
希望者	10
全員	7
30 歳以上	3
特になし	3
特に対象年齢は定めていない	2
社会保険加入者	2
35 歳以上の社会保険適用者	2
週 30 時間以上勤務している従業員	1
健診対象者、全員	1
協会健保加入者全員	1
会社の健康保険に加入している従業員。	1
45 歳以上の希望者	1
40 歳以上と希望制	1
35・38 歳、40 歳以上を除く希望者	1
30 歳以上任意 35 歳、40 歳以上	1
18 歳以上	1
不明	1

ケ) 肺がんの検査方法 (問 3. 3 (1) 正社員)

その他の回答	件数
検診扱い	1
シラフ	1

コ) 肺がんの検査方法 (問 3. 3 (1) 正社員以外)

その他の回答	件数
シラフ	1

(「1 胸部 X線検査」について)

サ) 受診対象者の決め方 (問 3. 3 (2) 正社員)

その他の回答	件数
全員	56
特になし	5
希望者	2
社会保険適用者	2
全年齢	1
対象者全員	1
年齢の対象なし	1
商工会での成人病検診内容は X線検査のみ。	1
自主的	1
健保加入者	1
健診に含まれている	1
胸 C T は 40、45、50、55 歳※任意	1
35 歳以上、35 歳未満どちらも実施	1
35 歳以下は 3 年に 1 度	1
30 歳以上	1
18 歳以上	1
不明	1

シ) 受診対象者の決め方 (問 3. 3 (2) 正社員以外)

その他の回答	件数
全員	38
特になし	2
社会保険加入者	2
社会保険適用者	2
特に対象年齢は定めていない	1
希望者	1
週 30 時間以上勤務している従業員	1
健保加入者	1
胸 C T は任意 40、45、50、55 歳	1
フルタイム全員	1
35 歳以上、35 歳未満どちらも実施	1
30 歳以上	1
18 歳以上	1
対象者全員	1

役員であること	1
不明	1

ス) 乳がんの検査方法 (問3. 4 (1) 正社員)

その他の回答	件数
職員の選択した医療機関による受診の為不明	1
腫瘍マーカー	1
自費によるオプション	1
マンモグラフィ検診にオプションで乳房超音波 (エコー) 検査をプラス	1
個人	1

セ) 乳がんの検査方法 (問3. 4 (1) 正社員以外)

その他の回答	件数
職員の選択した医療機関による受診の為不明	1
腫瘍マーカー	1
個人	1

(「1 マンモグラフィ検査」について)

ソ) 受診対象者の決め方 (問3. 4 (2) 正社員)

その他の回答	件数
希望者	6
35歳以上の女子被保険者 (本人)	5
全員	4
偶数年齢	4
30歳以上の社会保険適用者	2
30歳以上	2
協会けんぽ生活習慣予防健診偶数年齢の方	1
40歳以上で、人間ドックを希望し、乳がん検診も一緒に受けた場合。	1
35歳以上女性	1
35歳40歳以上の偶数年 経営職階全員毎年	1
35歳以下は3年に1度	1
40歳以上希望者に実施・40歳未満希望者は自費で受診	1
昨年度は健保の補助が20歳以上でした。	1
女性	1
人間ドックのみ。	1
婦人科検診受診者	1
なし	1

タ) 受診対象者の決め方 (問3. 4 (2) 正社員以外)

その他の回答	件数
希望者	5
35歳以上の被扶養者である配偶者(妻)	5
30歳以上の社会保険適用者	2
30歳以上	2
偶数年齢	2
全員	2
なし	2
昨年度は健保の補助が20歳以上でした。	1
健康保険に加入している従業員かつ、正社員と同じ基準に該当。	1
偶数年齢 社会保険加入者のみ	1
協会けんぽ生活習慣予防健診偶数年齢の方	1
婦人科検診受診者	1
35歳、40歳以上の偶数年 フルタイム	1
40歳以上希望者に実施・40歳未満希望者は自費で受診	1

チ) 子宮頸がんの検査方法 (問3. 5 (1) 正社員)

その他の回答	件数
把握していない、不明	2
乳がん検診と同様	1
内診	1
女性	1
個人	1
血液検査	1
エコー検査	1
SCC	1
35歳以上の女性	1

ツ) 子宮頸がんの検査方法 (問3. 5 (1) 正社員以外)

その他の回答	件数
把握していない、不明	2
乳がん検診と同様	1
内診	1
個人	1
エコー検査	1
SCC	1

(「1 細胞診 (医師による採取)」について)

テ) 受診対象者の決め方 (問3. 5 (2) 正社員)

その他の回答	件数
希望者	8
偶数年齢	5
35歳以上の女子被保険者 (本人)	5
全員	2
婦人科検診受診者	1
健診対象者 2年に1回、希望者。	1
人間ドック、地域検診のみ	1
自主的	1
35歳以上	1
35歳、40歳以上の偶数年。経営職階全員毎年	1
35歳以上 以下は3年に1度	1
30歳以上	1
30歳以上の希望者	1
20歳以上の希望者	1
年齢制限なし	1

ト) 受診対象者の決め方 (問3. 4 (2) 正社員以外)

その他の回答	件数
希望者	7
35歳以上の被扶養者である配偶者 (妻)	5
偶数年齢	4
婦人科検診受診者	1
健診対象者 2年に1回、希望者。	1
健康保険加入者かつ希望者	1
35歳以上	1
35歳、40歳以上の偶数年。	1
35歳以上の女性被保険者 (被扶養者)	1
35歳以上 以下は3年に1度	1
30歳以上	1
30歳以上の希望者	1
20歳以上の希望者	1
年齢制限なし	1
なし	1

3) がん検診の周知・把握

ア) がん検診の周知方法

その他の回答	件数
口頭にて通知	4
定期健康診断と同時期に実施	3
本社より健診のお知らせがくる	2
商工会から周知	2
役所から通知	2
年1回、会社でやっている	1
当事業所が医療機関なので毎年5月に検診を実施し、採血による腫瘍マーカーも実施している	1
土建組合に申し込み実施1人なので直接	1
毎年協会けんぽの健康診断を実施している。	1
人間ドック受診が必須で、本人にオプションはまかせています。	1
自主的に行なうようにしている。	1
健保協会からの案内をそのまま本人に渡し、通知して居る。	1
健康保険組合の健康診断の中で行っている	1
健康診断時にメールにて連絡。	1
健康診断オプションとして、健診日程を決める際アンケートをとっている。	1
掲示と保健担当者より連絡	1
会社の健康診断	1
一般健診で対応	1
オプション項目のため自己判断としている	1
あんしん財団（人間ドック）	1

イ) 結果の把握方法

その他の回答	件数
本人のため	1
全従業員の検診結果をまとめて、上の部分に提出を義務づけられている	1
事業所にてがん検診を行っているため。	1
検診結果を提出、会社保管している。	1
1人で事業しています。	1

ウ) 結果を把握していない理由

その他の回答	件数
本社で結果を管理しているので	1
今回の対象期間内の受診が出来ない為。	1
行なっていない	1
個人、一人の為	1

各自での自己管理としているため、仕事に不都合がでることがあれば、自己申告してくるので把握していない。がん自体、どうしてなるかもわからないし、体調の管理は自己管理をしているため。	1
パートのため	1

エ) 要精検者の把握方法

その他の回答	件数
要精検者に該当した者がいない	1
本社の総務人事部から連絡がくる	1
事業所にてがん検診を行っているため。	1
産業医より要精検者へメール通知のうえ面談し、再検査を促している。(紹介状も発行)	1
産業医の指示	1
検診結果を見て、再検指示、結果を本人より報告	1
2次検査をするかしないかは本人任せ。	1

オ) 要精検者を把握していない理由

その他の回答	件数
報告がないので	1
自己管理との認識のもと、自己申告であるため。	1
今のところいないので	1
個人、一人の為	1

カ) 精密検査受診の勧奨方法

その他の回答	件数
本人に直接声がけをする。	3
本人1人なので自分で決める	1
本社からの受診案内を個別に周知	1
自主判断	1
産業医からの通知	1
検診結果を見て個々に指示。	1
お互いに声かけ検査を実施する	1

キ) がん検診の受診者を増やす取組方法

その他の回答	件数
定期健診、指定ドックの100%実施。健保の任意ドックの情宣。	1
全員に口頭で	1
実際に健診でがんが見つかり完治した人(個人名は伏せて)の体験談を共有し、受診を推奨している	1
自分の身体・家族の事を考える。	1
義務化。強制力で実施すべき。	1
さいたま市の特定健診、がん検診を受けるようにすすめている。	1

4) がん患者への支援の取組

ア) がん患者への支援の取組

その他の回答	件数
前例がない。事例が出た際に考える。	29
わからない、不明	3
町の検診制度の利用	1
年1度の人間ドック検診のみ	1
民間生保「がん保険」の加入（保険料会社負担）	1
加入している法人会より健康診断の受診を促す案内がある	1
家族経営の為事業所としてなし。出来る事に○をしました。	1
勤務時間の決まりはなく、その時、その場に応じた対応をしてもらっている	1
検便を年に数回と下痢等のチェック問診。	1
個人的には受診者は半分位。	1
市の特定健康診断で個別に受診	1
治りようをしたがらないので、月1回病院へ行きました	1
上記内容はがん患者に特化したものではない	1
専従者（妻）なので本人の体調の申告により仕事を調整	1
体調戻るまで、安静にする	1
「4」以外の事を本人との面談を重ね実施していました。産業医の協力のもとに。	1

5) 県や市町村への要望

ア) 県や市町村への要望

その他の回答	件数
個人の意思にまかせている、自分の体は自分で守る	2
有休休暇の取得のように人手不足の対策がされないまま制度だけきまりみんなが苦しむというような制度の策だけはやめてほしい	1
本などでがん検診を受けたリスクが大きいとの事が書かれているが？	1
秩父市においては前立腺がんの検診率が低いと聞くので重点的な検診促進をお願いしたい。	1
人間ドック等の時に、受診出来るような仕組みにしてほしい。市町村での検診だと、2重に受けに行く必要があり、負担になるので行きたがらない。	1
従業員の少ない事業所に対し、検診が受けやすい対応を考慮してほしい。（日曜日の検診）	1
社内での禁煙の重要性。喫煙者は外で！肺がん予防になる	1
社会保険に変わってからどの用に受検していいかわからない。	1
自分の健康に関心を持つよう呼びかける	1
市で行う、胃カメラと乳がん検診の団体検診が期間が決まっていたりハガキ送ったりで、受診しづらい。	1
妻から→乳がんと子宮がん検診が1年おきになってしまったのが納得いかない。私のまわり 50~60 歳の友人は何人も乳がんになり、そのうち数人は亡くなっている。	1

個人経営で国保加入なので市町村の検診は続けてほしい。	1
強制的に受診させる制度があつて良いと思います	1
すべての検査が、1 医療機関でできるところが少ない。例) 婦人科が別日とか、別医療機関とかがないように。	1
がん検診も悪いとは思わないが、がんになる大きな要因となるストレスをなくす社会にしないといけない。育休も取りにくかったり、残業の多い働らせ方をさせないように企業を指導すべきだし、自治体として保育園の充実をはかってほしい。また、公共施設での農薬・殺虫剤・殺菌剤の使用をやめてほしい。そのような抜本的な対策もせず「がん検診」と言われてもしらけるばかりである。	1

6) 埼玉県のがん検診の受診率

ア) 埼玉県のがん検診受診率が全国平均を下回っていることについて

その他の回答	件数
わからない	6
忙しすぎて行く時間がないと思う	2
特に考えたことがない	2
中小企業が多いせいではないでしょうか。	1
男性の方が、事業所で行う検診以外では、仕事をもっていたりすると、休みとか取りづらいのではと感じる。	1
対象年齢の社員がいない	1
全国平均と比較すると下回っていますが、この調査を見ただけではわかりません。	1
全国と比較することに何の意味があるのか。がんは、国民の大半になると言われているので、低いからいいと高いと悪いとかの問題でないと思う。県単位の取組とかいうことより、全国一律でのがん予防対策、がん治療への負担軽減などをもっと取り組んでほしいので、この数字になにがこういうことに関係しているのかわからない。	1
上記の受診率により、改めて、40 歳代男性が低いことを認識した。	1
女性より男性は痛い事や不安な事は遠ざける方が多い様に思います	1
受診対象者が少ない (アルバイト (短期) 勤務が多いため。答え様がないです。	1
自分は検診を受けているので……	1
自治体からの通知はきていますが、多忙などで機会を失っているのではないかと推察します。東京と比べ、病院も少なく、国立大学に医学部がないことも残念です)	1
事業所での健康検診で十分と考えているのでは？ (義務として制度付けるしか無いのでは？)	1
事業主 (企業) の取組み意欲不足、周知については従来どおりでよい。(十分である)	1
私達夫婦は、60 代ですので、今後、がん検診を受診したいと考えています。40 歳の男性は、忙しく、時間がとれなかったり、子供にお金もかかり、また、健康にも自信もあり、特別必要性を感じないのではないかと思います。	1
仕事が忙しい年代なのか？まだ若いと思っているのか？できれば受診して欲しいと	1

思います	
仕事が安定し身体も何事の心配もない年代なので健康に興味なし	1
今まで考えたこともなかったが、検診受診率が上がった方がよいと思う事業所内に40代男性がおらず実感なし	1
健康保険組合で対象としていない	1
会社勤務の人は福利厚生で行なう所が多いだろうが、個人では行わないのか？都市とそれ以外の差はあるのか？	1
課題を分離して考える必要があるでしょう。がんへの恐れのある人無い人、仕事が忙しくて意識が低い人など人それぞれですから、予防の学習を促す必要があると思います。	1
その世代は働らきすぎで時間がないのではないですか？夜間検診などの方法を考えないと難しいかも	1
そこまで理解する様な情報がそもそも無い。もっと周知すべき。	1
このデータを初めて見ました。皆さん知らないのではと思います。	1
がん検診受診率について興味がありません。	1
お金がかかるとなると受診したくないのではないかと。市より、会社指示だと思う。	1
30代後半から40代は仕事の量が多いのではないのでしょうか	1

イ) 埼玉県で40歳代の男性のがん検診受診率が低い理由

その他の回答	件数
わからない、不明	8
毎年がん検診を受ける事に決めているので本年度で40年に成ります	1
平日にしか受けられないところが多い（医療機関）	1
不安であれば受診するべきです。低い理由はわかりません。	1
町民健診ですべて受けている	1
生き方に対する一人一人の考え方を統一するのは難しいけれども、キャンペーンをどんどんやって、心を変えなければどうしようもないでしょう。	1
正社員ではない人が多いのでは？	1
申し込んでも、順番待ちの時間がありすぐ受診する事ができない。（希望した日にできない）	1
職場の健診に組み込まれていない	1
受診対象者が少ない（アルバイト（短期）勤務が多いため。答え様がないです。	1
自分で予約して行く事と病院によって評判が良い悪いがあり、どこで受けたら安心なのか分からないから。お金を払って受けるのだからしっかりとした所で受けたいし、対応のきちんとしている所で受けたいので、病院一覧表といっしょに医療機関と関係のない人の評価表もつけてほしい。安心して受診したい。	1
事業主（企業）の取組み意欲不足、周知については従来どおりでよい。（十分である）	1
仕事が忙しい年代なのか？まだ若いと思っているのか？できれば受診して欲しいと思います	1
検診のメリットを感じない。	1

経営責任者が責任をもって（強制的に）従業員にがん検診を受診させる様なしくみを作る事をしていない。	1
各人の考え方だと思う	1
会社の健康診断に組みこまれていないので、会社の健康診断を受けず個人的に受けている人がいます。がん検診も会社の健康診断に組み込めば良いと思います。	1
会社（組織）及び従業員の健康管理についての意識付けをするとともに、会社として受診を義務付ける。	1
何とも言えない	1
一般的な健診に含まれれば受診者は増えると思う	1
がん検診の案内が40歳からのためではないかと思われます	1